

# 自己点検・評価報告書

平成22 ( 2010 ) 年 6月

静岡英和学院大学短期大学部

# 目次

<b>* &lt;&lt;静岡英和学院大学短期大学部の特色等&gt;&gt;の記述について</b>	<b>1</b>
<b>I 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標</b>	<b>6</b>
建学の精神、教育理念について	6
教育目的、教育目標について	7
定期的な点検等について	8
特記事項について	9
<b>II 教育の内容</b>	<b>10</b>
教育課程について	10
授業内容・教育方法について	22
教育改善への努力について	23
特記事項について	24
<b>III 教育の実施体制</b>	<b>27</b>
教員組織について	27
教育環境について	29
図書館・学習資源センター等について	36
特記事項について	39
<b>IV 教育目標の達成度と教育の効果</b>	<b>40</b>
単位認定について	40
授業に対する学生の満足度について	48
退学、休学、留年等の状況について	50
資格取得の取組みについて	52
学生による卒業後の評価、卒業生に対する評価について	53

特記事項について	56
<b>V 学生支援</b>	<b>57</b>
入学に関する支援について	57
学習支援について	59
学生生活支援体制について	60
進路支援について	64
多様な学生に対する支援について	67
特記事項について	69
<b>VI 研究</b>	<b>71</b>
教員の研究活動全般について	71
研究のための条件について	72
特記事項について	74
<b>VII 社会的活動</b>	<b>75</b>
社会的活動（国際的活動は別項で記述）への取組みについて	75
学生の社会的活動について	79
国際交流・協力への取組みについて	80
特記事項について	81
<b>VIII 管理運営</b>	<b>82</b>

法人組織の管理運営体制について	82
教授会等の運営体制について	91
事務組織について	95
人事管理について	97
特記事項について	99
<b>区財務</b>	<b>100</b>
財務運営について	100
財務体質の健全性と教育研究経費について	102
施設設備の管理について	103
特記事項について	104
<b>X改革・改善</b>	<b>105</b>
自己点検・評価について	105
自己点検・評価の教職員の関与と活用について	106
相互評価や外部評価について	106
第三者評価（認証評価）について	107
特記事項について	107
<b>** 将来計画の策定（自由記述）</b>	<b>108</b>

《静岡英和学院大学短期大学部の特色について》

(1) 短期大学を設置する学校法人(以下「法人」という。)の沿革(概要)及び短期大学の沿革(概要)

明治20	(1887)年			静岡女学校を静岡市西草深町の現在地に開設する。
昭和25	(1950)年	12月	7日	学校法人静岡英和女学院に改組する。
昭和39	(1964)年	7月	16日	理事会短期大学設置を議決する。
昭和41	(1966)年	1月	25日	静岡英和女学院短期大学 英文科(100名)・国文科(50名)設立認可を受ける。 教員養成課程認定される。
昭和41	(1966)年	4月	16日	同上英文科・国文科を開設する。
昭和44	(1969)年	1月	23日	栄養士養成施設の認可を受ける。
昭和44	(1969)年	2月	8日	英文科を英文学科に、国文科を国文学科に改称することの認可を受ける。 食物学科(80名)増設置の認可を受ける。
昭和44	(1969)年	4月	1日	同上食物学科を開設する。
昭和47	(1972)年	1月	28日	専攻科英文学専攻(15名)・専攻科国文学専攻(10名)増設置の認可を受ける。
昭和47	(1972)年	4月	1日	同上専攻科を開設する。
昭和51	(1976)年	2月	12日	学生入学定員を英文学科150名、国文学科100名に変更する。
昭和52	(1977)年	3月	30日	聴講生教員養成課程認定される。
平成元	(1989)年	12月	22日	国際教養学科(100名)増設置の認可を受ける。
平成2	(1990)年	4月	1日	同上国際教養学科を開設する。
平成2	(1990)年	3月	26日	教員養成課程再認定される。
平成7	(1995)年	4月	1日	専攻科国文学専攻が学位授与機構(文部省)の認定を受ける。
平成8	(1996)年	4月	1日	専攻科英文学専攻が学位授与機構(文部省)の認定を受ける。
平成9	(1997)年	12月	29日	専攻科国際教養専攻(10名)増設置の認可を受ける。
平成10	(1998)年	4月	1日	同上専攻科を開設する。
平成12	(2000)年	3月	27日	教員養成課程再認定される。
平成13	(2001)年	8月	1日	現代コミュニケーション学科(100名)設立認可を受ける。
平成14	(2002)年	2月	25日	短期大学名を静岡英和学院大学短期大学部とする名称変更認可を受ける。
平成14	(2002)年	3月	31日	英文学科、国文学科、国際教養学科募集停止する。 専攻科英文学専攻、専攻科国文学専攻、専攻科国際教養専攻廃止する。

教員養成課程認定取下げ。（平成14年度入学生より取り下げる）

平成14（2002）年 4月 1日 静岡英和学院大学短期大学部を開設する。現代コミュニケーション学科を開設する。

平成15（2003）年 3月 31日 英文学科、国文学科、国際教養学科を廃止する。

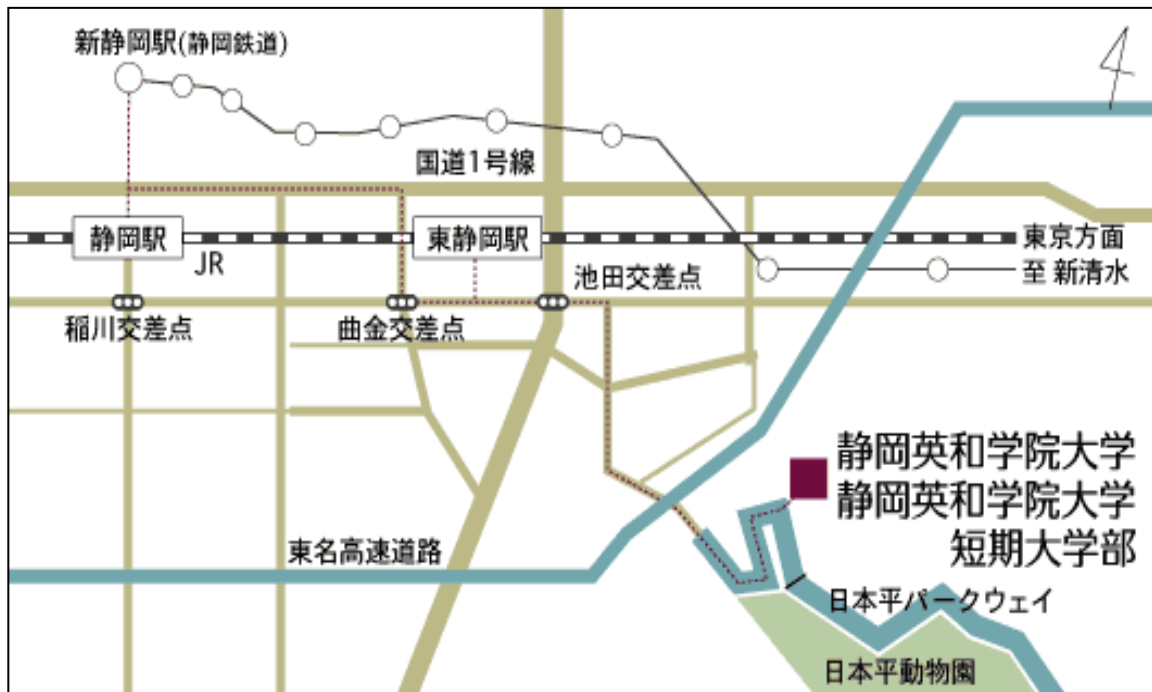
**(2) 短期大学の所在地、位置（市・区・町・村の全体図）、周囲の状況（産業、人口等）等。**

所在地：〒422-8545 静岡県静岡市駿河区池田 1769 番地

位置：下図に示す。

周囲の状況： 本学は静岡県中部の政令市である静岡市（人口約73万人）の駿河区にあり、日本平（日本の観光百選、国の名勝、県自然公園に指定された標高307mの丘陵地）の西側の麓に位置する。静岡市は、産業面から見ると商業都市であり、貿易港の清水港を擁している。現在、新東名高速道路や中部横断自動車道、清水港の整備も進んでいる。

校舎は、JR静岡駅から4km、また最寄の駅であるJR東静岡駅からは2kmの場所にある。校舎の周りは、茶畑や、動物園、住宅地に囲まれている。また、丘陵地のため、静岡市を一望できる自然豊かな環境となっている。



(3) 法人理事長、学長の氏名、連絡先及びその略歴、AL Oの氏名、連絡先及びその略歴。なお、連絡先としては、TEL、FAX、E-Mail等を記載して下さい。

**【理事長】** 富田 多嘉子 (とみた たかこ)  
連絡先 Tel 054-253-5240 Fax 054-251-4720

略 歴

昭和 37 年	3 月	大阪大学大学院薬学研究科博士課程修了
昭和 37 年	12 月	Iowa State University 研究員
昭和 40 年	1 月	State University of New York 研究員
昭和 42 年	10 月	静岡薬科大学助手 (昭和 43 年 3 月まで)
昭和 43 年	4 月	静岡薬科大学講師 (昭和 52 年 3 月まで)
昭和 52 年	4 月	静岡薬科大学助教授 (平成元年 3 月まで)
平成元年	4 月	静岡県立大学助教授 (平成 2 年 3 月まで)
平成 2 年	4 月	静岡県立大学教授 (平成 13 年 3 月まで)
平成 13 年	4 月	静岡英和女学院中学校・高等学校校長に就任 (現在に至る)
平成 13 年	4 月	学校法人静岡英和女学院理事・評議員に就任 (現在に至る)

**【学 長】** 武藤 元昭 (むとう もとあき)  
連絡先 Tel 054-261-9201 Fax 054-263-4763  
E-Mail presi-room@shizuoka-eiwa.ac.jp

略 歴

昭和 39 年	3 月	京都大学文学部卒業
昭和 41 年	3 月	東京大学大学院人文科学研究科国語国文学専門課程 修士課程修了
昭和 45 年	3 月	同上博士課程単位取得済退学
昭和 45 年	4 月	青山学院大学文学部日本文学科専任講師 (昭和 49 年 3 月まで)
昭和 49 年	4 月	同上助教授 (昭和 58 年 3 月まで)
昭和 58 年	4 月	同上教授 (平成 20 年 3 月まで)
平成 10 年	4 月	同大学文学部長 (平成 14 年 3 月まで)
平成 14 年	4 月	同大学学生部長 (平成 15 年 11 月まで)
平成 15 年	12 月	同大学学長 (平成 19 年 12 月まで)
平成 21 年	11 月	静岡英和学院大学大学学長・同短期大学部学長 (現 在に至る)

【AL0】 大洋 和俊（たいよう かずとし）

連絡先 Tel 054-261-9201 Fax 054-263-4763

E-Mail taiyokazutshi@yahoo.co.jp

略 歴  
 昭和46年 4月 國學院大学大学院文学研究科（修士課程）入学  
 昭和51年 3月 國學院大学大学院文学研究科（博士課程）単位取得満期退学  
 昭和51年 4月 國學院大學栃木高等学区専任教諭（昭和53年3月まで）  
 昭和53年 4月 静岡県立川根高等学校専任教諭（昭和57年3月まで）  
 昭和57年 4月 静岡県立裾野高等学校専任教諭（昭和59年3月まで）  
 昭和59年 4月 静岡県立伊東高等学校専任教諭（昭和61年3月まで）  
 昭和61年 4月 静岡英和女学院短期大学専任講師（平成3年3月まで）  
 平成3年 4月 静岡英和女学院短期大学助教授（平成8年3月まで）  
 平成8年 4月 静岡英和女学院短期大学教授（現在に至る）

**（4）平成16年度から22年度までの学科・専攻ごと（通信による教育を行う学科（以下「通信教育学科」という）、専攻科を含み、以下「学科等」という）の入学定員、入学者数、在籍者数、収容定員、収容定員充足率（%）を次ページの表を例に入学定員充足率（%）作成して下さい。廃止、募集停止等の学科を含む、該当する期間内に設置されたすべての学科について作成して下さい。なお、在籍者数は毎年度5月1日時点とします。**

学科等の名称		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	備考
現代コミュニケーション学科	入学定員	100	100	100	100	100	100	100	
	入学者数	115	73	57	71	85	88	101	
	入学定員充足率（%）	115%	73%	57%	71%	85%	88%	101%	
	収容定員	200	200	200	200	200	200	200	
	在籍者数	202	183	130	130	158	175	188	
	収容定員充足率（%）	101%	91%	65%	65%	79%	87%	94%	
食物学科	入学定員	80	80	80	80	80	80	80	
	入学者数	76	63	59	64	47	33	89	
	入学定員充足率（%）	95%	78%	73%	80%	58%	41%	111%	
	収容定員	160	160	160	160	160	160	160	
	在籍者数	140	132	120	122	113	77	121	
	収容定員充足率（%）	87%	82%	75%	76%	70%	48%	75%	



(5) 平成19年度～21年度に入学した学生（この事項においては通信教育学科の学生を除く）の出身地別人数及び割合（10程度の区分）を毎年度5月1日時点で作成して下さい。なお、短期大学の実態に沿って地域を区分して下さい。

出身地別学生数（平成19年度～21年度）

地域	19年度		20年度		21年度	
	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）
総数	135	100%	132	100%	121	100%
北海道	1	1%	0	0%	0	0%
東北	0	0%	0	0%	0	0%
関東	1	1%	0	0%	1	1%
中部	125	93%	121	92%	107	88%
近畿	0	0%	0	0%	0	0%
中国	0	0%	0	0%	0	0%
四国	0	0%	0	0%	0	0%
九州	0	0%	0	0%	0	0%
沖縄	0	0%	0	0%	0	0%
外国・大検等	8	6%	11	8%	13	11%

(6) 法人が設置する他の教育機関の名称、所在地、入学定員、収容定員及び在籍者数の表をそれぞれ平成22年5月1日時点で作成して下さい。

法人が設置する他の教育機関の現状

(平成22年5月1日現在)

教育機関名	所在地	入学定員	収容定員	在籍者数
静岡英和学院大学	静岡県静岡市駿河区池田1769	260名（3年次編入10名含む）	1020名	850名
静岡英和女学院中学校	静岡県静岡市葵区西草深町8番1号	120名	360名	337名
静岡英和女学院高等学校	静岡県静岡市葵区西草深町8番1号	120名	360名	319名

(7) その他

評価員が誤解しないように事前に知ってもらいたい事項や事情があれば、記述して下さい。

平成22(2010)年度までは、収容定員充足率は100%に満たないものの、平成22(2010)年度より入学定員充足率は100%を超えている。

平成22(2010)年度より、教務課と学生課が統合され、学務課となった。

## 《Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標》の記述及び資料等について》

### 【建学の精神、教育理念について】

**(1) 建学の精神・教育理念を記述し、その意味するところ及び建学の精神・教育理念が生まれた事情や背景をできるだけ簡潔に記述して下さい。**

本学は、明治初頭、日本社会における女子教育の必要性を強く感じていた日本人有志がカナダ・メソジスト教会婦人宣教師との協力によって、静岡県における最初の女子教育機関として明治 20 (1887) 年に創立した静岡女学校を母体としている。本短期大学は、学院の長い歴史と伝統を生かした女子高等教育を行い、もって地域の要請に応えるため、学院創立 80 周年記念事業の一貫として昭和 41 (1966) 年に創立された。

学院には創立以来、大切にされてきた聖句がある。「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神であるある主を愛しなさい。また隣人を自分のように愛しなさい。」(「ルカによる福音書」10 章 27 節) である。本学開学時には、その学院聖句の「隣人を自分のように愛する」という教えから、本学の果たすべき役割を定め、それを表わすために独自の大学聖句が制定された。それは、「愛の実践を伴う信仰こそ大切です。」(「ガラテヤの信徒への手紙」5 章 6 節) である。初代学長松本卓夫はこの聖句を「愛と奉仕の実践」という言葉に凝縮し、これこそが本学の建学の精神である。それは学院聖句とともに本学のスクールモットーとして創立 43 年を迎えた現在も脈々と継承されている。

本学の教育理念は、本学が 4 年制大学人間社会学部と短期大学部に改組転換した折に、時の学長大曾根良衛が UI (University Identity) として両学部に提示したものである。即ち、①キリスト教精神に基づく人間教育、②小規模ながら個性をもった大学、③地域社会に貢献する大学、④学問研究・教育の一体化。以上 4 項目からなる教育理念は、4 年制大学と本短期大学部の進むべき方向を明確にしたものと言える。

**(2) 現在は建学の精神・教育理念をどのような形や方法で学生や教職員に知らせているかを記述して下さい。**

本学の建学の精神と教育理念は、前述のごとく学院聖句、大学聖句、University Identity として本学が発行する刊行物(『大学案内』、『キャンパスガイド』、宗教委員会機関誌『Community』等)には必ず掲載している。また年間を通して様々な行事・プログラムの中で周知する体制をとっている。具体的には、入学式、スチューデント・リトリート(入学当初、新入生を対象とする 1 泊 2 日の研修)、卒業式、新任教職員オリエンテーション、それに毎週行われるチャペルアワーやクリスマス礼拝等で建学の精神や教育理念を含めたキリスト教精神の共有化に努めている。さらに、そうした精神を具体的に体現する場を提供するために、宗教センターや県内大学唯一のボランティアセンターを設置して、ボランティア活動に関する情報提供や相談受付を行っている。1 年次に前期「キリスト教入門」後期「キリスト教と現代」の 2 つの科目を必修とし、本学院の歴史、建学の精神を支えるキリスト教について学ばせている。

- ◆添付資料 1 学則（第 1 条）
- ◆添付資料 2 『大学案内 2011』
- ◆添付資料 3 『キャンパスガイド 2010』 p. 48
- ◇参考資料 1 『学報』 No. 1
- ◇参考資料 2 『学報』 No. 4
- ◇参考資料 3 宗教委員会機関誌『Community』 No. 3
- ◇参考資料 4 『静岡英和女学院百年史』 「短大における建学の精神」  
p. 1, 036～p. 1, 039

### 【教育目的、教育目標について】

(1) 多くの短期大学が複数の学科等を設置しています。その場合、それぞれの学科等では建学の精神や教育理念から導き出された、より具体的な教育目的や教育目標を掲げているものと思います。（例えば、設置認可の際に「設置の趣旨」等で示されたもの等）。ここでは全学的に示された教育目標や教育目的ならびにそれぞれの学科等が設定している具体的な教育目的や教育目標を記述して下さい。

#### 〔短期大学部〕

本短期大学部には、「現代コミュニケーション学科」と「食物学科」の 2 学科がある。両学科とも教育の基軸となっているのは、長い伝統に培われたキリスト教精神であり、このキリスト教精神に基づく人格形成と幅広い教養の涵養、それに実社会で即戦力となる実践的知識と技能の修得こそが本短期大学部の教育目標である。

#### 〔現代コミュニケーション学科〕

現代コミュニケーション学科の教育目的は、学則の第 3 条に示すように「人と人をつなぎ、社会を発展させるコミュニケーションについての教育研究を目的とし、幅広く豊かなコミュニケーション能力と、社会において活躍し得る実務能力を養うための教育を実施すること」を、教育の目的としている。すなわち理論よりも実際に重点を置いた教育の実施を明確に目指している。そのために、専門教育科目の中に、コミュニケーション能力の涵養を目指す「基本科目」「基幹科目」と、実務能力の涵養を目指す「ユニット科目」とを置いている。「基本科目」はコミュニケーションに関わる基礎知識の涵養、「基幹科目」はコミュニケーション基礎力の養成、「ユニット科目」は実務的専門知識と技能の育成を目標としている。

#### 〔食物学科〕

食物学科の教育目標は、学則の第 3 条に示すように、「栄養と健康についての教育を目的とし、科学的な思考力や実践力をもって社会に貢献できる食の専門家を育成すること」である。この目的達成のために、栄養士資格取得のための栄養士法に定められたカリキュラムを配置し、食と健康に関する深い知識と基礎を学び、地域社会に貢献できる深い専門性と指導力を備えた栄養士の養成に努めている。

平成 21（2009）年度より、栄養士資格と共に、「フードスペシャリスト認定資格」と「フードサイエンティスト認定資格（食品科学技術認定証）」を取得できる新たな履修モデルコースを設定し、社会のニーズに迅速に対応できる人材を育成すること目的と

している。

**(2) それぞれの学科等の教育目的や教育目標を、現在はどのような方法で学生や教職員に周知し、またどのような方法で学外に公表しているかを記述して下さい。**

**[現代コミュニケーション学科]**

学科の教育目的、教育目標は学生に配布される『キャンパスガイド』に明記されている。その内容を、新入生へのオリエンテーション期間中にガイダンス、新入生を連れて1泊2日で行われるスチューデント・リトリートにおいて周知している。また1年生担当科目である「キャリアデザイン演習」において、学生個々の事情に即しつつ学習の目標設定を行っている。

**[食物学科]**

食物学科の教育目的、教育目標は学生に配布される『キャンパスガイド』に明記されている。毎年前期オリエンテーションの中で、新入生と保護者を対象とした食物学科ガイダンス並びに食物学科全学生を対象とした食物学科講演会を実施し、教育目標並びに教育目的を明確に学生に提示している。食物学科講演会を通じて、栄養士資格及び栄養士資格を生かした具体的な業種の説明を行い、2年間の中で具体的な目標を持つことができるように工夫している。

- ◆添付資料 1 学則（第3条）
- ◆添付資料 3 『キャンパスガイド 2010』 p.6・7
- ◆添付資料 4 『履修要項・講義内容 2010』
- ◇参考資料 5 『2010年度スチューデント・リトリートの案内』

**【定期的な点検等について】**

**(1) 建学の精神や教育理念の解釈の見直し、教育目的や教育目標の点検が、定期的に行われている場合はその概要を記述して下さい。また点検を行う組織、手続き等についても記述して下さい。**

建学の精神や教育理念は、本学4年制大学と短期大学部に共通するものであり、短期大学部として個別に見直すことはしていない。教育目的や教育目標については各学科のカリキュラム改正と連動して見直しを行うことがある。例えば、平成14(2002)年4月の「現代コミュニケーション学科」発足時の教育目的・目標は、平成19(2007)年度のカリキュラム改正時に現在のものに変更を行った。平成15(2003)年度には北陸学院短期大学と全般的な相互評価を行い、教育理念と教育目標も点検、評価を行っている。

**（２） 建学の精神や教育理念の解釈の見直し、教育目的や教育目標の点検及びそれらを学生や教職員に周知する施策等の実施について、理事会または短期大学教授会がどのように関与しているかを記述して下さい。**

領域Ⅰの【建学の精神・教育理念について】で述べたように、建学の精神や教育理念の解釈を、短期大学部独自に見直すことはない。短期大学部の教育目的の点検を行う際には、学科での検討の後に教授会で審議、議決され、理事会の承認を得るという手続きが必要である。

建学の精神や教育理念の解釈の見直しがあった場合、また短期大学部の教育目的が改定された場合に、その周知の実施について、教授会は理事会の決定を受けて短期大学部の専任教員への趣旨の徹底を図り、そこから学生に周知されることとなる。

◇参考資料 6 『相互点検・評価報告書 平成15（2003）年度版』

#### 【特記事項について】

**（１） この《Ⅰ建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標について努力していることがあれば記述して下さい。また短期大学で独自の使い方や別の語句を使っている場合はその旨記述して下さい。**

領域Ⅰの【建学の精神・教育理念について】で述べたように、本学の建学の精神・教育理念は具体的に 3 つの柱を基軸にして年間のプログラムの中で展開されている。まず、新入生を対象とした 1 泊 2 日のスチューデント・リトリートである。この研修会では、学長をはじめとする教職員と新入生が共に生活し、互いに語り合うことを通して、本学がどのような建学の精神・教育理念のもとで教育を行っているかを理解させる機会となっている。次に、毎週水曜日 2 時限目に行われているチャペルアワーである。ここには 1 年生全員が出席することになっており、本学のクリスチャン教員が自らの体験を語って聞かせるほか、外部から様々な講師を迎えてキリスト教教育を展開し、建学の精神・教育理念について学生に浸透を図っている。さらに、ボランティアセンターである。専従の職員を配置し、静岡県下の様々な施設から様々な要望を募り、それを学生に紹介して活動を促し、実践させている。

**（２） 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。**

特になし。

≪Ⅱ教育の内容≫の記述及び資料等について

【教育課程について】

- (1) 学科等の現在の教育課程を下の表を例に作成して下さい。なお学科等に複数の履修コースを設定し、学生に別の教育課程表として提示している場合はコースごとに記載して下さい。平成22年度に学科改組等を行った場合は、平成21年度の教育課程表を別途作成し、巻末に綴じて下さい。

現代コミュニケーション学科教育課程(2010年度入学生用)

No.1

科目の種別	授業科目		授業形態			単位数			教員配置			前年度の履修 人数(クラス数)	備 考		
			講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任				
基礎教育科目	人間の理解	キリスト教学入門	○			2				○		95 (1)	必修4単位 選択12単位以上		
		キリスト教と現代	○			2				○		88 (1)			
		文学と人間 I	○				2			○		49 (1)			
		文学と人間 II	○				2			○		0 (1)			
		音楽と文化	○				2			○		0 (1)			
		日本文化研究	○				2			○		◆			
		海外文化研究	○				2			○		◆			
	自然と社会	国際社会と日本	○				2			○		47 (1)			
		自然科学	○				2				○	38 (1)			
		生活と法律	○				2				○	64 (1)			
		静岡の経済	○				2				○	68 (1)			
	言語表現力	Active English I		○			1			○		◆			
		Active English II		○			1			○		◆			
		外国の言語と文化(ドイツ語) I		○			1			○		9 (1)			
		外国の言語と文化(ドイツ語) II		○			1			○		9 (1)			
		外国の言語と文化(中国語) I		○			1				○	13 (1)			
		外国の言語と文化(中国語) II		○			1				○	13 (1)			
		外国の言語と文化(ハンブル) I		○			1				○	19 (1)			
	外国の言語と文化(ハンブル) II		○			1				○	19 (1)				
	情報処理	コンピュータ・リテラシー		○			1				○	◆			
		コンピュータ基本演習										◆			
	健康管理	スポーツ実技(エアロビクス I)			○		1				○	57 (2)			
		スポーツ実技(エアロビクス II)			○		1				○	0 (1)			
		健康余暇論	○				2				○	40 (1)			
		健康行動学	○				2				○	0 (1)			
	専門教育科目	基本科目	現代コミュニケーション論	○				2			○			83 (1)	選択必修4単位
			コミュニケーション心理学	○				2			○			73 (2)	
			現代社会論	○				2				○		31 (1)	
基幹科目		日本語文章表現法 I	○				2			○		54 (2)	必修 5単位 選択必修 1単位 選択16単位以上		
		日本語文章表現法 II	○				2			○		16 (2)			
		日本語コミュニケーション I	○				2			○		13 (2)			
		日本語コミュニケーション II	○				2			○		72 (2)			
		メディア読解法 I	○				2			○		28 (1)			
		メディア読解法 II	○				2			○		12 (2)			
		コミュニケーション技法 I	○				2			○		16 (2)			
		コミュニケーション技法 II	○				2			○		51 (2)			
		日本語 I			○		1※			○		9 (1)			
		日本語 II			○		1※			○		7 (1)			
		基礎英語 I			○		1▲			○		74 (2)			
		基礎英語 II			○		1▲			○		10 (1)			
		TOEIC英語		○			2			○		16 (1)			
		英検英語	○				2			○		20 (1)			
		Hospitality English	○				2			○		21 (2)			
		ホスピタリティ論	○				2				○	26 (1)			
		コンピュータ演習		○			1				○	86 (4)			
		心理学入門	○				2			○		24 (2)			
		人間関係論	○				2			○		◆			
		交流分析	○				2			○		8 (1)			
健康心理学		○				2			○		15 (1)				
キャリアデザイン演習			○			1			○		92 (7)				
プレゼンテーション演習			○			1			○		88 (7)				
総合演習			○			2			○		82 (7)				
教養と常識		○				1			○		83 (1)				

現代コミュニケーション学科教育課程(2010年度入学生用)

No.2

科目の種別	授業科目	授業形態			単位数		教員配置			前年度の履修 人数(クラス数)	備考		
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任			兼任	
専門 教 育 科 目	ビジネス・マネジメント・ステージ												
	ビジネス	ビジネス社会と常識	○				2				○	39 (1)	これらのユニット群から 2つを選択のうえ、 ユニットの全科目の履修 を原則とする
		ビジネス英会話		○			2		○			14 (1)	
		ビジネス英語文書	○				2		○			24 (1)	
		上級コンピュータⅠ		○			1			○		22 (1)	
		上級コンピュータⅡ		○			1			○		16 (1)	
		上級コンピュータⅢ		○			1			○		◆	
		簿記Ⅰ	○				2				○	52 (1)	
	簿記Ⅱ	○				2				○	37 (1)		
	マネジメント	経営概論	○				2		○			30 (1)	
		マーケティング	○				2			○		20 (1)	
		会計学	○				2				○	19 (1)	
		経済学	○				2				○	36 (1)	
		民法	○				2			○		24 (1)	
		商法	○				2		○			13 (1)	
	コンシェルジュ・ステージ												
	ステージ共通	観光総論	○				2			○		9 (1)	
		Everyday English I		○			2		○			9 (1)	
		Everyday English II		○			2		○			9 (1)	
	ツーリズム エアライン	日本の観光地誌	○				2				○	24 (1)	
		トラベル実務論	○				2			○		8 (1)	
		テーマパーク研究	○				2			○		10 (1)	
		エアライン・サービス論	○				2			○		8 (1)	
		エアラインの接遇	○				2			○		◆	
	ホテル	ホテル英会話		○			2		○			9 (1)	
		ホテル・サービス論	○				2			○		17 (1)	
		ホテル・マネジメント	○				2			○		16 (1)	
	ヒューマンヘルスケア・ステージ												
	メディカル クラーク	医療事務基礎・コンピュータⅠ	○				2			○		21 (1)	
		医療事務基礎・コンピュータⅡ	○				2			○		21 (1)	
		医療事務基礎・コンピュータⅢ	○				2			○		21 (1)	
		調剤事務基礎	○				2			○		14 (1)	
		介護事務基礎	○				2			○		14 (1)	
	ウェルネス	カウンセリング心理学	♣				2		○			◆	
		ヨガⅠ			○		1				○	◆	
		ヨガⅡ			○		1				○	◆	
		グループエクササイズ理論	○				2			○		2 (1)	
		アロマセラピー	○				2			○		13 (1)	
		音楽セラピー	○				2		○			15 (1)	
		日本茶アドバイザー		○			2			○		◆	
	アートコーディネーター・ステージ												
	ステージ共通	カラー・コーディネート	○				2			○		40 (1)	
	ファッション アンド ビューティ	ファッション文化論	○				2			○		10 (1)	
		ファッションビジネス論	○				2			○		16 (1)	
		メイクアップ基礎概論	○				2			○		9 (1)	
メイク・テクニック			○			2			○		15 (1)		
ネイルケア・ネイルアートⅠ			○			2			○		9 (1)		
ネイルケア・ネイルアートⅡ			○			2			○		9 (1)		
ブライダル	ブライダル・ビジネスⅠ	○				2			○		20 (1)		
	ブライダル・ビジネスⅡ	○				2			○		16 (1)		
	ブライダル・ビジネスⅢ	○				2			○		-		
	ブライダル・ミュージック	○				2		○			16 (1)		
キャリアサポート													
キャリア サポート	フィールドワーク(国内研修)			○		1	★		○		5		
	フィールドワーク(海外研修)			○		1					4 (1)		
	フィールドワーク(インターンシップⅠ)			○		1		○			8 (1)		
	フィールドワーク(インターンシップⅡ)			○		1		○			1 (1)		
	フィールドワーク(インターンシップⅢ)			○		1		○			0 (1)		

2011年度開講

★ 2009年度実施(隔年)  
2010年度実施(隔年)



〔注意〕

1. 実習には実験、実技を含む。
2. 履修人数欄のカッコ書き数字は、履修人数を幾つのクラスに分けているかを示す。
3. 履修人数には短大部の他学科の学生を含む。
4. ♣は2010年度開講しない。
5. ◆は2010年度新設科目。

食物学科教育課程(2010年度入学生用)

No.1

科目の種別	授業科目		授業形態			単位数			教員配置			前年度の履修人数(クラス数)	備考
			講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
基礎 教育 科目	人間の 理解	キリスト教学入門	○			2				○		34 (1)	必修4単位 選択12単位以上
		キリスト教と現代	○			2				○		32 (1)	
		文学と人間 I	○				2			○		49 (1)	
		文学と人間 II	○				2			○		0 (1)	
		音楽と文化	○				2			○		0 (1)	
		日本文化研究	○				2			○		◆	
		海外文化研究	○				2			○		◆	
	自然と 社会	自然科学	○				2				○	38 (1)	
		生活と法律	○				2				○	64 (1)	
		静岡の経済	○				2				○	68 (1)	
	言語 表現 力	Active English I		○			1			○		◆	
		Active English II		○			1			○		◆	
		日本語表現力 I		○			2			○		19 (1)	
		日本語表現力 II		○			2			○		15 (1)	
		英語表現力		○			2			○		21 (1)	
		外国の言語と文化(ドイツ語) I		○			1			○		9 (1)	
		外国の言語と文化(ドイツ語) II		○			1			○		9 (1)	
		外国の言語と文化(中国語) I		○			1				○	13 (1)	
		外国の言語と文化(中国語) II		○			1				○	13 (1)	
		外国の言語と文化(ハンブル) I		○			1				○	19 (1)	
	外国の言語と文化(ハンブル) II		○			1				○	19 (1)		
	情報処理	コンピュータ基本演習		○			2				○	33 (2)	
	健康 管理	スポーツ実技(エアロビクス I)			○		1				○	57 (2)	
スポーツ実技(エアロビクス II)				○		1				○	0 (1)		
健康余暇論		○				2				○	40 (1)		
健康行動学		○				2				○	0 (1)		

食物学科教育課程(2010年度入学生用)

No.2

科目の種別	授業科目	授業形態			単位数			教員配置			前年度の履修 人数(クラス数)	備考	
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任			
専門 教育 科目	必修 科目	公衆衛生学概論	○			2			○			40 (2)	1 (科目等履修生)
		公衆衛生学各論	○			2			○			36 (2)	
		生理学	○			2			○			32 (2)	
		生化学	○			2			○			33 (2)	
		食品学総論	○			2			○			33 (1)	
		食品学各論	○			2			○			32 (1)	
		食品衛生学総論	○			2			○			36 (2)	
		食品学実験			○	1			○			33 (2)	
		基礎栄養学	○			2					○	33 (1)	
		栄養指導論Ⅰ	○			2					○	33 (1)	
		調理学	○			2			○			33 (2)	
		調理学実習Ⅰ			○	1			○			33 (2)	
		調理学実習Ⅱ			○	1			○			32 (2)	
		食物学基礎実験			○	1			○			33 (2)	
		基礎科学Ⅰ	○			2			○			33 (1)	
	キャリアデザイン演習		○		1			○			32 (1)		
	選択 科目	食品衛生学各論	○				1		○			43 (1)	1 (科目等履修生)
		応用栄養学	○				2				○	32 (1)	
		社会福祉概論	○				2			○		42 (1)	
		解剖学	○				2				○	33 (1)	
		病理学	○				2					43 (1)	
		解剖生理学実験			○	1			○			32 (2)	
		生化学実験			○	1			○			43 (2)	
		食品衛生学実験			○	1			○			42 (2)	
		臨床栄養学概論	○				2		○			32 (2)	
		臨床栄養学各論	○				2				○	43 (1)	
		応用栄養学実習			○	1					○	43 (2)	
		臨床栄養学実習			○	1			○			43 (2)	
		栄養指導論Ⅱ	○				2				○	43 (1)	
		公衆栄養学概論	○				2				○	43 (1)	
		栄養指導実習Ⅰ			○	1			○			32 (2)	
	栄養指導実習Ⅱ			○	1			○			42 (2)		
	展 開 科 目	給食計画論	○				1		○			33 (1)	1 (科目等履修生)
		給食実務論	○				2		○			43 (2)	
		調理学実習Ⅲ			○	1			○			43 (2)	
		調理学実習Ⅳ			○	1			○			43 (2)	
給食管理実習Ⅰ				○	1			○			43 (2)		
給食管理実習Ⅱ				○	1			○			40 (2)		
校外実習				○	1			○			1 (1)		
基礎科学Ⅱ		○				1		○			33 (1)		
基礎科学Ⅲ		○				1		○			33 (1)		
運動生理学		○				2				○	43 (1)		
食料経済学		○				1				○	43 (1)		
データ解析論		○				2				○	14 (1)		
食品加工学		♣				1					33 (1)		
品質管理学		○				1		○			42 (1)		
商品開発論		○				1		○			◆		
特別研修(テーブルマナー)		○			1		○			◆			
応用微生物学	○				2		○			◆			
バイオテクノロジー	○				1		○			◆			

[注意]

1. 実習には実験、実技を含む。
2. 履修人数欄のカッコ書き数字は、履修人数を幾つのクラスに分けているかを示す。
3. 履修人数には短大部の他学科の学生を含む。
4. ♣は2010年度開講しない。
5. ◆は2010年度新設科目。

**(2) 教養教育の取組み、専門教育の内容、授業形態のバランス、必修・選択のバランス、専任教員の配置等について特に強調したいことがあれば記述して下さい。**

**①教養教育の取組み**

**[現代コミュニケーション学科]**

「基礎教育科目」は、必修 5 単位、選択 11 単位以上、計 16 単位以上履修することが定められている。平成 21 (2009) 年度必修科目は、建学の理念と直接結びつくキリスト教学の 2 科目 4 単位と、現代のコミュニケーションにおける基本ツールであるコンピュータ科目が 1 科目 1 単位である。選択科目は、「人間の理解」、「自然と社会」、「言語表現力」並びに「健康管理」の 4 分野にわたって、広く教養を身につけることができるように配慮している。

**[食物学科]**

教養科目に、「キリスト教学入門」と「キリスト教と現代」を必修科目として配置し、チャペルアワーと連動させながら、本学の教育理念であるキリスト教精神への理解を図っている。礼拝は、両学科とも 1 年次に週 1 回実施している。分野としては、「人間の理解」、「自然と社会」、「言語表現力」、「情報処理」並びに「健康管理」の 5 分野からなり、幅広い教養が身につけられるようにプログラムを組んでいる。

さらに、食物学科では、学科独自科目として「日本語表現力Ⅰ」、「日本語表現力Ⅱ」並びに「英語表現力」を配置し、コミュニケーション能力の充実を図っている。

**②専門教育の内容**

**[現代コミュニケーション学科]**

専門教育科目の中に、コミュニケーション能力の涵養を目指す「基礎科目」「基幹科目」と、実務能力の涵養を目指す「ユニット科目」とを置いている。中でも「ユニット科目」は、「ビジネス・マネジメント」、「コンシェルジュ」、「ヒューマン・ヘルスケア」並びに「アート・コーディネーター」の 4 つのステージのもとに、「ビジネス」、「マネジメント」、「ツーリズム」、「エアライン」、「ホテル」、「メディカル・クラーク」、「ウェルネス」、「ファッション&ビューティー」並びに「ブライダル」の 9 つのユニットを置いている (平成 21 (2009) 年度)。各ユニットに配置された科目の多くは、実際にその分野で活躍している専門家を講師に招いており、専門知識の養成とともに、学生への資格取得の支援も行っている。学生には 2 つのユニットを選択して履修するよう指導している。

授業形態のバランスについては、講義の比率が高いが、講義科目の中に演習的、実習的な内容も盛り込まれている。

必修・選択のバランスについては、選択科目の比率を高くして学生の選択幅を広げるように留意している。

**[食物学科]**

食物学科では、栄養士資格取得に必要とされる専門科目を中心にバランス良く配置されている。特に、平成 21 (2009) 年度から新たな履修モデルコースを立ち上げるのに伴い、これまでの授業形態を改め、各資格取得にそったカリキュラム改正を実施し、専門必修、専門選択並びに専門展開科目に再編成した。栄養士養成に必要な科目を主

として、専門必修並びに専門選択科目に、フードスペシャリスト認定資格並びにフードサイエンティスト認定資格に必要な科目を専門必修科目と専門選択科目に加えて、専門展開科目に配置している。

教員の配置では、栄養士法に定められている最低限の専任教員数を確保している。新たな履修モデルコースの運用に伴い、兼任教員の担当科目が増加している。この点については、今後検討・改善を行う必要があると考えている。

**(3) 当該教育課程を履修することによって取得が可能な免許・資格を示して下さい。  
また教育課程に関係なく免許・資格等を取得する機会を設けている場合は、その  
免許・資格名とどのような履修方法であるかを記述して下さい。**

[現代コミュニケーション学科]

現代コミュニケーション学科では、専門教育科目に4つのステージを配置し、それぞれのステージ（ユニットを各2つずつ設定）において、具体的な資格取得や検定試験に向けて支援するカリキュラムを組んでいる。さらに、専門教育科目の基幹科目においても、例えば、日本語コミュニケーションⅡAでは、漢字検定2級を目指すため、漢字検定2級の問題に取り組む等、勉学の目標を具体的に見据えられるよう配慮している科目も少なくない。

現代コミュニケーション学科資格取得可能科目一覧

資格名称	授業科目名
漢字検定	日本語コミュニケーションⅡA
ニュース時事能力検定	メディア読解法Ⅱ
日本語検定	コミュニケーション技法Ⅱ
色彩技能パーソナルカラー検定	ファッション文化論
TOEICテスト	TOEIC英語Ⅰ
実用英語技能検定	英検英語A. B
秘書検定	ビジネス社会と常識 ビジネス実務演習
日商PC検定 (Word)	上級コンピュータⅠ
MCAS検定 (Excel)	上級コンピュータⅡ
簿記検定	簿記Ⅰ・Ⅱ
旅行業務取扱管理者	日本の観光地誌 トラベル実務基礎
医療事務管理士技能検定	医療事務コンピュータⅠ・Ⅱ・Ⅲ 調剤事務基礎 介護事務基礎
メンタルヘルスマネジメントⅢ種	健康心理学
交流分析応用心理士補	交流分析
グループエクササイズインストラクター	スポーツ実技 (エアロビクスⅡ) グループエクササイズⅠ・Ⅱ グループエクササイズ理論
アロマセラピー検定	アロマセラピー
色彩検定	カラーコーディネート
ファッションビジネス能力検定3級	ファッションビジネス論
メイクアップ技術検定4級	メイクアップ基礎概論
メイクアップ技能検定3級	メイクテクニック
ネイルスペシャリスト技能検定A級	ネイルケア・ネイルアートⅠ・Ⅱ
アシスタント・ブライダル・コーディネーター	ブライダル・ビジネスⅠ・Ⅱ
サーティファイWebクリエイター能力認定試験	上級コンピュータⅣ

注) 上記開設科目によって、受験資格が得られる、あるいは受験のための支援を行う。複数科目にまたがる資格は、両科目を履修する必要がある。

〔食物学科〕

食物学科では、専門教育科目を必修科目、選択科目並びに展開科目に分けて配置している。栄養士資格については、厚生労働省から栄養士養成施設として認可されており、栄養士資格取得に必要な科目を配置している。フードスペシャリスト認定資格の受験資格取得に関する科目として18科目及びフードサイエンティスト認定資格取得に関する科目17科目を食物学科専門教育科目の中に配置し、栄養士資格とともにフードスペシャリスト受験資格あるいはフードサイエンティスト資格を同時に取得できるように配慮されている。

食物学科資格取得可能科目一覧

取得資格	取得に必要な科目等
栄養士資格	<b>必修科目：</b> 公衆衛生学概論、公衆衛生学各論、生理学、生化学、食品学総論、食品学各論、食品衛生学総論、食品学実験、基礎栄養学、栄養指導論Ⅰ、調理学、調理学実習Ⅰ、調理学実習Ⅱ、食物学基礎実験 <b>選択科目：</b> 応用栄養学、社会福祉概論、解剖学、病理学、解剖生理学実験、生化学実験、食品衛生学実験、臨床栄養学概論、臨床栄養学各論、応用栄養学実習、臨床栄養学実習、栄養指導論Ⅱ、公衆栄養学概論、栄養指導実習Ⅰ、栄養指導実習Ⅱ、給食計画論、給食実務論、調理学実習Ⅲ、調理学実習Ⅳ、給食管理実習Ⅰ、給食管理実習Ⅱ
フードスペシャリスト認定資格	<b>必修科目：</b> 食品学総論、食品学各論、食品衛生学総論、食品学実験、基礎栄養学、調理学、調理学実習Ⅰ、調理学実習Ⅱ <b>展開科目：</b> 運動生理学、食料経済学、データ解析論、消費流通論、フードスペシャリスト論、フードコーディネート論、テーブルマナージメメント、食品鑑別演習、品質管理学、特別研修（テーブルマナー）
フードサイエンティスト認定資格（食品科学技能認定証）	<b>必修科目：</b> 食品学総論、食品学各論、食品衛生学総論、食品学実験、食物学基礎実験 <b>選択科目：</b> 食品衛生学各論、解剖生理学実験、食品衛生学実験、調理学実習Ⅳ <b>展開科目：</b> データ解析論、食品鑑別演習、食品加工学、品質管理学、商品開発論、応用微生物学、バイオテクノロジー

**（４） 選択科目を学生が適切に判断して選択できるように、学生便覧やガイダンス等でどのように指導しているか、また学生が希望する選択科目を履修しやすいように、時間割上どのような工夫を施しているか等について記述して下さい。**

**[現代コミュニケーション学科]**

毎年度発行する『履修要項・講義内容』に加え、前期・後期のオリエンテーションにおいては履修登録指導用プリントを用いて、適切な選択ができるように指導している。

「ユニット科目」については、ユニット単位で履修するように指導している。時間割では、必修科目と選択科目が重ならないように配慮しているほか、同一ステージに属するユニットの科目は重なることがないようにしている。

**[食物学科]**

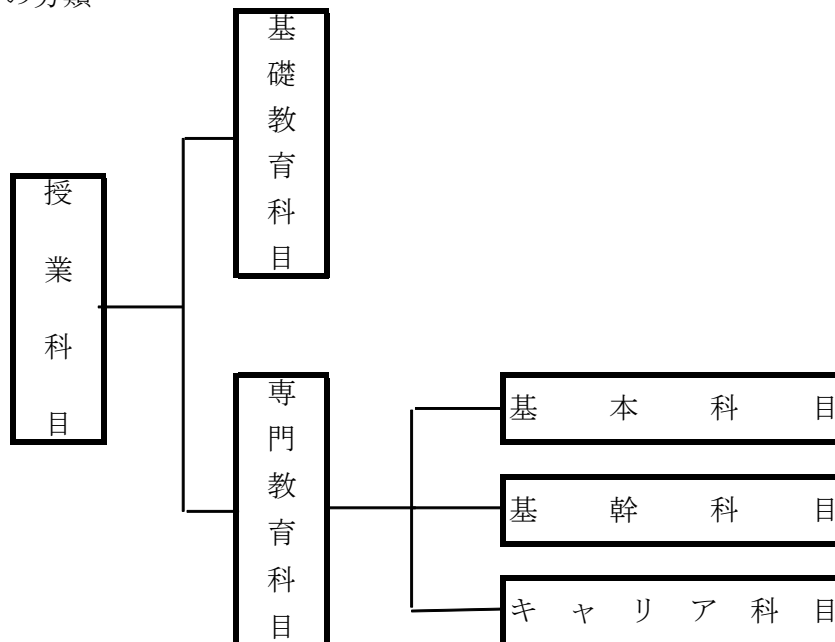
入学時のオリエンテーションにおいて、『キャンパスガイド』並びに『履修要項・講義内容』について、詳細に説明している。また、各学期の初め、学年の初めの履修説明並びに履修相談において、履修モデルとなる科目毎の説明並びに指導を行っている。時間割作成にあたっては、栄養士資格取得に向けて最大限の配慮を心がけている。栄養士資格取得に必要な科目（栄養士必修科目）について、2年次においても、1年次科目が再履修できるように配置している。

(5) 卒業要件単位数及びその他の卒業要件（必修単位の修得、学生納付金の納付等）を示して下さい。また学生にはどのような方法で卒業要件を周知させているかを記述して下さい。

[現代コミュニケーション学科]

卒業要件単位表 2010年度

授業科目の分類



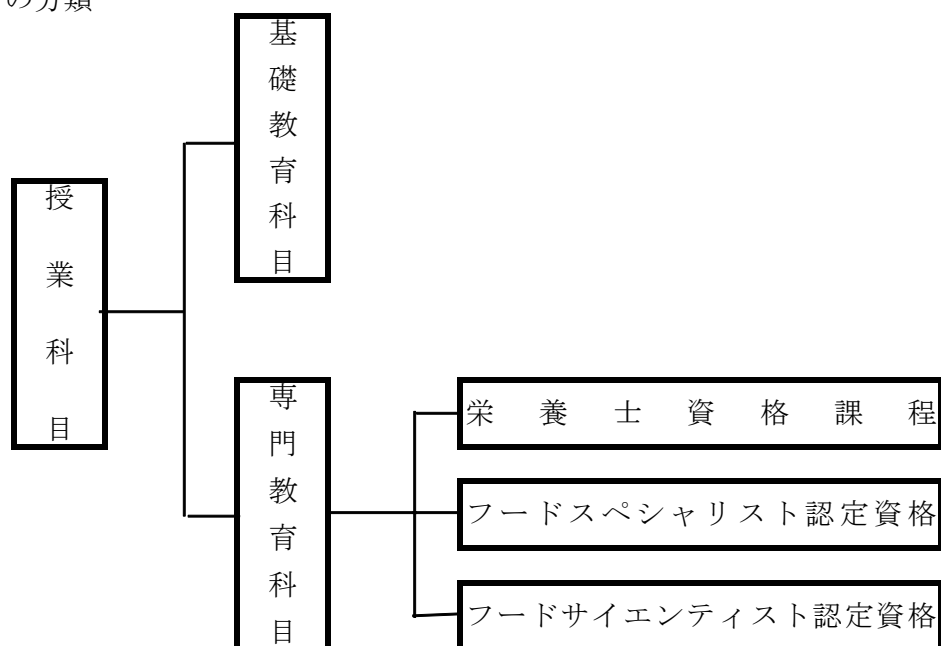
卒業要件単位数

		必修	選択必修	選択	
基礎教育科目	人間の理解	4	—	12	16単位以上
	自然と社会	—	—		
	言語表現力	—	—		
	情報処理	—	—		
	健康管理	—	—		
専門教育科目	基本科目	—	4	—	46単位以上
	基幹科目	5	1	16	
	キャリア科目	—	—	20	
合計		9	5	48	62単位以上

[食物学科]

卒業要件単位表 2010 年度

授業科目の分類



各種履修モデルにおける要件単位数

卒業要件単位数

	必修	選択	展開	
基礎教育科目	4	12	-	16単位
専門教育科目	27	18	4	49単位
合計	31	30	4	65単位

栄養士資格

	必修	選択	
基礎教育科目	4	12	16単位
専門教育科目	24	30	54単位
合計	28	42	70単位

栄養士資格とフードスペシャリスト認定資格

	必修	選択	展開	
基礎教育科目	4	12	-	16単位
専門教育科目	24	30	13	67単位
合計	28	42	13	83単位

栄養士資格とフードサイエンティスト認定資格

	必修	選択	展開	
基礎教育科目	4	12	-	16単位
専門教育科目	24	31	9	64単位
合計	28	43	9	80単位



## 卒業要件の周知方法

卒業要件の単位数は『履修要項・講義内容』に記載しているが、学生には年度当初における履修説明及び履修相談で説明し、特に新入生に対しては、スチューデント・リトリートを使って周知徹底を図っている。

**(6) 教育課程の見直し、改善について、学科等の現状を記述して下さい。なおこの項はできれば学科等の責任者(学科長、学科主任等。以下「学科長等」という。)が記述して下さい。**

### [現代コミュニケーション学科]

教育課程の見直し、改善については、ほぼ毎週行われる学科会において検討している。問題等が生じた際、すみやかに、学科会を開催し、学生の様子、授業の状況について報告がなされ、場合によってはカリキュラム検討委員会を開催し、具体的な改善策を講ずるよう努めている。

「キャリアデザイン演習」、「プレゼンテーション演習」並びに「総合演習」については、学科会でその内容、テキストの選定、授業実施上の工夫等について検討を加えている。

ユニット科目制が発足して、3年目を迎え、「基礎教育科目」、「基幹科目」並びに「ユニット科目」についての見直しを行った。全体に必修科目を減らし、学生の選択の幅を広げ、かつコミュニケーション能力と実務能力の育成という、学科の教育目標に合致する方向で検討した。その結果は平成 22 (2010) 年度からの新カリキュラムとして実施することとなった。

### [食物学科]

食物学科では、栄養士養成に特化したカリキュラムを設置し、これまで栄養士養成を実施している。栄養士に対する地域社会の要望に答えるために、平成 21 (2009) 年度に、新たにフードスペシャリスト認定資格並びにフードサイエンティスト認定資格を得られるように専門教育科目の見直しを実施したところである。

本短期大学部は平成 23 (2011) 年度に共学化することとなった。それを踏まえたカリキュラムの改訂を両学科とも検討中である。

- ◆添付資料 3 『キャンパスガイド 2010』 p. 46・47
- ◆添付資料 4 『履修要項・講義内容 2010』 p. 15、p. 27
- ◇参考資料 7 現代コミュニケーション学科 履修登録指導用プリント (2年)
- ◇参考資料 8 現代コミュニケーション学科 履修登録指導用プリント (1年)
- ◇参考資料 9 食物学科 履修登録指導用プリント (2年)
- ◇参考資料 10 食物学科 履修登録指導用プリント (1年)

## 【授業内容・教育方法について】

### (1) シラバスあるいは講義要項を作成・配布する際に配慮していることや学生への周知方法等を記述して下さい。

本学のシラバスは、第1章履修要項、第2章講義内容の2章から構成され、『履修要項・講義内容』として全学生に配布されている。第1章では、教務上の規則をはじめ履修登録方法、評価方法等について説明している。第2章では、それぞれの授業科目の講義内容ばかりでなく、履修登録上の注意事項を学科ごとに述べている。また、修得できる資格の一覧表や、食物学科においては、栄養士資格取得のための手続きについても解説している。

シラバスは、学内においてもパソコンで検索・閲覧できるようになっている。大学での科目履修の仕方や教務上の約束事等については、新入生に対して、1泊2日の日程で行われるスチューデント・リトリートのプログラムの一環として、シラバスをテキストとしてガイダンスを行ってきたが、平成22(2010)年度は、入学式の翌日から始まるオリエンテーションの中に学務課ガイダンスの時間を設定して説明することとした。また、全学年に対する科目履修の詳細については、学科・学年ごとそれぞれオリエンテーションの別の時間帯で、教務委員が中心となって詳しく説明・指導している。

シラバスの作成については、学生が理解しやすいよう、書式・内容の統一化を進めている。配布は各学科のオリエンテーションの期間に、教室において教員が行っている。内容について、単位の取り方や科目選択の条件など注意すべき点については、同じくオリエンテーション期間中に、各学科の説明会で周知を図っている。

各科目において、初回時に講義スケジュールならびに評価方法について授業担当教員が説明を行っている。

### (2) 学生の履修態度、学業への意欲等について、学科長等どのように把握し受け止めているか記述して下さい。

#### [現代コミュニケーション学科]

学生の履修態度には個人差が大きいですが、全体的な傾向として、ユニット科目制を取り入れて以降、学生の学習意欲は全体として高まり、授業態度も熱心になっている。特に学生の興味に合致した実習的な内容の科目では、履修態度も良好である。一方で、多人数の講義科目では私語が目立つようになり、学科としてもその対応を検討している。具体的にはクラスを分けて、相対的に少人数化していくこと、講義であっても学生に課題を与え、飽きさせないこと等である。

留学生についても、学習意欲が高く、履修態度でも他の学生の見本となるような者がいる一方で、欠席が目立つ学生も多くみられ、日本語能力がなかなか伸びずに意欲を失っていくなどの問題を抱えた学生もいる。こういった留学生への対応として平成22(2010)年度よりチューター制を導入した。

## [食物学科]

ほとんどの学生は栄養士資格取得を目指しており、出席状況は良好である。年々少しずつではあるが、資格に対するモチベーションの低い学生が散見されるようになってきている。入学後、数名ではあるが、卒業はするが資格が取得できない学生が出てきているのが現状である。食物学科では、担任制を取り入れており、1年次から卒業まで同じ担任のもとで、きめ細やかな学生の指導に努めており、こうした学生の把握・指導を学科全教員で対応している。

### 【教育改善への努力について】

**(1) 学生による授業評価を行っている場合はその概要を記述して下さい。行っていない場合にはその事由等を記述して下さい。**

短期大学部としては平成 14 (2002) 年度に初めて授業評価アンケートを実施した。その後、2004 年度に同一キャンパスにある静岡英和学院大学人間社会学部と共同で、「学生による授業改善のためのアンケート」を実施した。以後、平成 17 (2005) 年度、平成 20 (2008) 年度、平成 21 (2009) 年度に同名のアンケートを実施している。平成 21 (2009) 年度は前期と後期にアンケートを実施し、前期は教員がアンケートを実施する科目を 1 つ選ぶ方法をとったが、後期は原則としてすべての科目でアンケートを実施している。

アンケート内容は、学生の受講態度を問う 3 項目の質問と、教員の教え方を問う 9 項目の質問、そして自由記述欄からなっている。アンケート実施期間は、各学期の後半の 2 週間である。アンケートは無記名で実施され、教員が学生の中から適宜指名してアンケート用紙の配布と回収を任せる方法をとっている。アンケートの結果は実施後 1 カ月ほどで各教員に配布され、教員はそれに対して、改善の工夫などのコメントを書いて提供することとなっている。

**(2) 短期大学全体の授業改善（ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動等）への組織的な取組み状況について記述して下さい。また短期大学の責任者（以下「学長等」という。）は授業改善の現状について、どのように受け止めているかを記述して下さい。**

平成 14 (2002) 年の短期大学改組以前から不定期ながら FD 活動が進められてきている。現在は 1 年に 2 回 (9 月と 3 月)、静岡英和学院大学人間社会学部を合わせた専任教職員全員が参加する「教職員研修会」で FD、SD 活動を実施している。また現代コミュニケーション学科においては、毎年専任教員と兼任教員との懇談会を開催して、兼任教員から授業全般に関する意見を吸い上げている。また、専任教員と兼任教員全員を対象とした学生による授業評価アンケートを実施して、その結果を各授業担当者にフィードバックし、教員各自が授業に生かしている。平成 21 (2009) 年度後期には、教員相互の授業見学を実施した。

SD 活動については、必要に応じて諸機関が開催する研修会等に職員を出席させ、能

力の開発を図っている。さらに、毎月行われる事務連絡会議では、各セッションがどのようなことを行っているか輪番で発表し合い、討論を重ねている。

FD、SD 活動とも、教員、職員の自発的、実践的活動としてはまだ至らないところがある。学生や地域にも分かりやすい活動として、さらに活発に進める必要があると認識している。

**(3) 担当授業について教員間の意思の疎通や協力体制、または兼任教員との意思の疎通について、学科長等は現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。**

**[現代コミュニケーション学科]**

ほぼ毎週開かれる学科会において、担当授業における個々の学生の履修態度や出席状況について情報を交換している。また専任教員の多くが共通して担当している「キャリアデザイン演習」、「プレゼンテーション演習」、「総合演習」については、授業の進捗や学生の学習状況について頻繁に情報を交換し、課題があれば協議して解決を図るように取り組んでいる。

兼任教員とは毎年度末に懇談会を持ち、当年度の問題点や要望を聞く意見交換の場を設けている。また学期中にも直接学科長や、学務課を経由する方法で兼任教員からの要望を聞いたり、当方からの要望を伝えたりしている。

**[食物学科]**

学科会において、担当授業における個々の学生の履修態度や出席状況において情報を交換している。食物学科では担任制を導入しており、学生に関する情報の共有と指導を行っている。

平成 22 (2010) 年度 5 月、兼任教員・専任教員の意見交換会を実施し、学科長並びに教務委員を通して、随時意見交換を行っている。

◇参考資料 11 「学生による授業改善のためのアンケート」

◇参考資料 12 「静岡英和学院大学短期大学部 自己点検・評価実施規程」

◇参考資料 13 教職員研修会資料

**【特記事項について】**

**(1) この《Ⅱ教育の内容》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば、他の教育機関との単位互換制度、習熟度別授業、情報・メディア教育、国際理解教育、海外研修制度、インターンシップ、女子教育の伝統継承と発展への取組み等、学科等において努力していることがあれば記述して下さい。**

**①単位互換制度**

平成 21 (2009) 年度より同一法人の静岡英和学院大学人間社会学部との間に単位互換制度を設け、スポーツ実技の科目及びフランス語の単位互換を実施している。

平成 21 年度 (2009) 年度、短期大学部から人間社会学部のスポーツ実技Ⅰを履修した学生は 32 人、スポーツ実技Ⅱを履修した学生は 43 人であった。人間社会学部から短期大学部のスポーツ実技 (エアロビクスⅡ) を履修した学生は 2 人であった。

## ②習熟度別授業

現代コミュニケーション学科では、基礎英語とコンピュータ科目に習熟度別授業を取り入れている。これらについては、履修前に学生に十分説明して、自分で選択する形式をとっている。食物学科では実施していない。

## ③情報・メディア教育

現代コミュニケーション学科ではコンピュータ・リテラシー教育を重視し、平成 14 (2002) 年開学時より「コンピュータ基本演習」「コンピュータ演習」を必修科目としてきた。学生は保有するノート・パソコンで学内の LAN に接続し、インターネットの利用、プリントアウト、LAN 上でのファイルの受取、提出等を行うことができる。演習科目でのパソコンの利用にも留意し、日商 PC 検定も学内会場において実施してきた。しかしながら、ユニット科目制度の導入により、必ずしもコンピュータを利用しないユニットも出てきたため、平成 22 (2010) 年度からコンピュータ科目はすべて選択とすることになった。しかし、希望する学生にはこれからも十分なコンピュータ関連授業を用意する予定である。

食物学科では 1 年生全員に「コンピュータ基本演習」の受講を勧めており、基本的な使い方と情報発信（メール等）について理解を深めるための取組みを行っている。

## ④海外研修制度

カナダ・バンクーバーにあるバンクーバー神学院とのカナダ留学制度(4 か月、7 か月)を長期に渡って実施し、かなりの成果を挙げてきたが、留学希望者の減少により平成 20 (2008) 年度をもって提携関係を終了した。平成 21 (2009) 年度より新たにウォータールー大学セントポールズ・ユニバーシティ・カレッジとの提携による留学制度を実施している。平成 21 (2009) 年度には短期大学部からの参加者はいなかったが、平成 22 (2010) 年度は 1 名が参加した。

現代コミュニケーション学科では、「フィールドワーク(海外研修)」という授業を設け、イギリス、フランスへの 1 週間程度の研修旅行を隔年で実施している。参加者には旅行の準備段階から継続的に課題を与え、旅行後のレポート提出を経て単位認定(1 単位)をしている。

## ⑤インターンシップ

現代コミュニケーション学科では、「フィールドワーク(インターンシップ I・II・III)」という授業を設け、県内の新聞社・放送局、ホテル、旅行者、県外の航空会社へのインターンシップを実施している。航空会社の場合はインターンシップ生には採用されないこともあるが、県内各社には毎年計 6~8 名程度が参加している。参加者に対しては、各社から出される評価と、学生から提出されるレポートによって単位認定(1 単位)がなされている。

## ⑥キャリア教育

現代コミュニケーション学科では、1 年生前期に必修の「キャリアデザイン演習」を設け、短期大学 2 年間で何を学ぶのか、それは将来にどうつながってゆくのかという意識づけを行っている。

食物学科では、1 年生後期後半に必修の「キャリアデザイン演習」を設け、2 年生か

らのフードスペシャリストコース及びフードサイエンティストコースのどちらかへのコース選択を、将来の就職を見据えながら選択できるように動機づけを行っている。

食物学科では、新入生に対して、基礎学力向上を目的として、入学前に、高校理科（主として、「化学Ⅰ」と「生物Ⅰ」）の基礎学力向上を目的として、入学前に、問題集の購入と解答の提出を課している。さらに、前期オリエンテーション期間中において、理科科目理解度試験を実施し、本試験の結果を踏まえて、専門選択科目である「基礎科学Ⅱ」「(化学Ⅰ(有機化学))分野担当)並びに「基礎科学Ⅲ」「(生物Ⅰ)分野担当)の履修上の判断基準としている。全1年生に対して、専門必修科目として、「基礎科学Ⅰ」「(化学Ⅰ)(化学一般)」を履修させ、理科科目の理解度向上を目指している。

新入生に対して、毎年、9月から11月中に卒業生を対象にした、「管理栄養士国家試験受験準備講座」を実施している。

社団法人全国栄養士養成施設協会が毎年実施している栄養士実力認定試験に、栄養士資格を希望する学生を対象に受験させている。

テーブルマナー並びに工場見学に学生を参加させ、幅広い教養と知識を身につけられるようにしている。

毎年、学科の教育内容に関するテーマを設定して、食物学科全学生を対象にした食物学科特別講演会を前期オリエンテーション期間中に実施している。平成19(2007)年度は「高齢者の歯と健康－8020運動－」、平成20(2008)年度は「おいしいQ食」、平成21(2009)年度は「開業栄養士の仕事」と題した講演会を実施し、学生からも高い評価を得ている。

食品の製造・加工技術について理解を深めることを目的に、「工場見学」の実施、料理・作法を理解するために「テーブルマナー」等の取り組みを行っている。

#### ⑦兼任教員との打ち合わせ会

現代コミュニケーション学科・食物学科ともに兼任教員と打ち合わせ会を実施し、授業の形態・内容・評価の方法などについて連絡を密にし、授業改善を行っている。

**(2) 特別の事由や事情があり、この《Ⅱ 教育の内容》の評価項目や評価の観点を求めることが実現(達成)できないときはその事由や事情を記述して下さい。**

特になし。

- ◆添付資料 4 『履修要項・講義内容 2010』 p. 25、p. 35
- ◇参考資料 14 「在学中における提携校への留学に関する規程」  
p. 256・257
- ◇参考資料 15 『日本－カナダ研修プログラム』
- ◇参考資料 16 現代コミュニケーション学科リーフレット
- ◇参考資料 17 食物学科リーフレット
- ◇参考資料 18 現代コミュニケーション学科共同研究会
- ◇参考資料 19 食物学科新カリキュラム(コース制)説明会

《Ⅲ 教育の実施体制》の記述及び資料等について

【教員組織について】

(1) 現在の専任教員数を下表を例にして作成して下さい。

専任教員表 (平成22年5月1日現在)

学科名	専任教員数					設置基準で定める教員数		助手	[ハ]	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	[イ]	[ロ]			
現代コミュニケーション学科	5	2	1	0	8	5 (2)	—	1		文学関係
食物学科	2	3	1	0	6	5 (2)	—	2	1	家政関係
(小計)	7	5	2	0	14	10 (4)	—	3	1	
[ロ]						—	4 (2)			
(合計)	7	5	2	0	14	10 (4)	4 (2)	3	1	

(2) 短期大学の教員にふさわしい資格と資質の有無については、訪問調査の際に、教員の個人調書(①履歴書、②研究業績書、③担当授業科目名、④その他)を提示していただきます。したがって個人調書をこの報告書に添付する必要はありません。

(3) 教員の採用、昇任が適切に行われている状況を記述して下さい。その際、選考基準等を示した規程等があれば訪問調査の際にご準備をお願いいたします。

本学教員の採用と昇任については、いずれも「静岡英和学院大学短期大学部教員の任用に関する規程」「静岡英和学院大学短期大学部人事委員会規程」「静岡英和学院大学短期大学部人事委員会内規」及び「静岡英和学院大学短期大学部教員任用基準」により適格に行われている。

(4) 教員の年齢構成について下表を例に現状を記載して下さい。

専任教員等の年齢構成表 (平成22年4月1日現在)

区分	年齢ごとの専任教員数 (助教以上)							平均年齢	助手等の平均年齢	備考
	70以上	60~69	50~59	40~49	30~39	29以下				
合計人数 (14人)	0	4	5	3	2	0	51.7	51.3		
割合 (%)	0%	29%	36%	21%	14%	0%				

(5) 専任教員は、(a)授業、(b)研究、(c)学生指導、(d)その他教育研究上の業務に対して意欲的に取り組んでいるか。また上記4つの分野の業務取り組み状況にはどのような傾向があるかを学長等が記述して下さい。その際、過去3ヶ年(平成19年度～21年度)程度の教員の担当コマ数(担当コマ基準、平均担当コマ数等を含む)、教員の研究業績、教員が参画する学生指導の業務、教員が参画するその他の教育研究上の業務概要を示して下さい。

本学の専任教員に課せられた最大の任務は、授業、研究、学生指導、その他教育研究上の業務を通して、入学した学生一人一人が、学生生活に喜びと満足感の得られる教育環境を整備し、提供することにあると認識している。

(a) 授業：大学の核である授業は、各学科ともに教員が全力で当たっている。担当コマ数は、前期、後期各6コマを基準にし、実験系担当の教員の場合、基準以上を担当するほか、授業以外でも学外実習時には学外の実習期間を訪問指導している。

半期15回の授業数の確保と、シラバスに合わせた学習内容と進度を守り、充実した授業実施に努めている。

(b) 研究：各教員の研究活動は、活発に行われており、毎年3月末にその年度の研究業績を学長に報告し、研究テーマを公表している。また学内の教員が共通テーマを設置し、共同研究にも意欲的に取り組んでいる。

(c) 学生指導：学生の直接の授業の他に、学生のカリキュラムや履修上の指導、相談、進路指導、学生の学園生活や日々の活動の相談・アドバイス等を全教員が行っている。また、学生のクラブ活動やサークルの顧問として、教員が分担して学生に対するきめ細かい指導を行っている。

(d) その他教育研究上の業務：ゼミあるいはクラスで小人数の学生を教員が指導する体制を整え、それらを通して教育指導も含めた業務を遂行している。

平成19年度～21年度の専任教員の担当コマ数等

学科	氏名	職名	担当コマ数			備考
			19年度	20年度	21年度	
現代コミュニケーション学科	柴田 敏	教授	6	5	7	短大部部長
	小嶋 善行	教授	4	4.5	3.5	平成21年度で退職
	菊池 みち子	教授	4.5	5	6	学生部長
	大洋 和俊	教授	6	6.5	6.5	
	高橋 清隆	教授	6	6	7	学科長
	芦澤 久江	教授	6	5.5	6.5	
	磯部 隆	准教授	6	6	6.5	
	K. M. アイザット	准教授	6	5.5	6.5	
	T. C. バンフォード	准教授	—	—	—	海外駐在、平成20年度で退職
食物学科	村松 陽治	教授	6	6	—	平成20年度で退職
	高木 真基子	教授	6.5	0	—	平成20年度で退職
	堀江 信之	教授	—	—	5.5	平成21年度採用
	久留戸 涼子	准教授	6.5	7	—	平成20年度で退職
	金田 一秀	教授	6.5	7	6.25	学科長
	高橋 令子	准教授	7	7	7.25	
	五藤 泰子	准教授	—	5	5.5	平成20年度採用
	木下 ゆり	講師	6.5	6.5	7	

\* 職名及び備考欄については、平成22(2010)年4月現在



(6) 助手、副手、補助職員、技術職員等を十分に、あるいは可能な限り配置しているか、また助手等が教育研究活動等において適切に機能しているかを学長等が現状を記述して下さい。

助手はコンピュータ教室に1名、食物学科の実験実習に2名と教務職員1名（管理栄養士3名）が配置されていて、教育研究活動において適切に機能している。情報担当助手として、コンピュータ機器およびソフトウェアの使用法の指導や教育、コンピュータの構造やネットワークの仕組みの理解を促進する活動を行っている。また、情報倫理の啓蒙に努めている。

上記の助手等は、専門的知識を有し、学生に適切な助言を与えているが、授業以外のことも相談に応じている。

(7) 2以上の校地（校地が隣接はしていないものの極めて近接しており、学生に対する日常的な学習相談、進路指導、厚生補導等が支障なく行うことができる体制にある場合など例外的な場合以外）において教育研究を行う場合においては、それぞれの校地の専任教員の配置状況について記述してください。

該当なし。

- ◇参考資料 20 教員の個人調書
- ◇参考資料 21 「静岡英和学院大学短期大学部教員の任用に関する規程」
- ◇参考資料 22 「静岡英和学院大学短期大学部人事委員会規程」
- ◇参考資料 23 「静岡英和学院大学短期大学部人事委員会内規」
- ◇参考資料 24 「静岡英和学院大学短期大学部教員任用基準」

【教育環境について】

(1) 校舎・校地一覧表を下の表を例に作成して下さい。

校舎について、まず短期大学設置基準第31条（通信教育学科を置く短期大学通信教育設置基準第10条を含む）の規定による短期大学全体の基準面積（基準面積を算出する計算式を含む）を示して下さい。また校舎を法人が設置する他の学校等と共用している場合は、他の学校の校舎の基準面積も記載して下さい。さらに校舎の配置図、用途（室名）、専用・共用の別を示した各階の図面を準備しておいて下さい。なお主要校舎については訪問調査の際にご案内いただきます。

本学の校舎面積、校地面積等は下表のとおりである。 (平成22年5月1日現在)

区分	収容定員	校舎			校地		
		基準面積	現有面積 (共有)	差異	基準面積	現有面積 (共有)	差異
静岡英和学院大学短期大学部	360人	3,650m <sup>2</sup>	15,748.0m <sup>2</sup>	6,412m <sup>2</sup>	3,600m <sup>2</sup>	28,150m <sup>2</sup>	14,363m <sup>2</sup>
静岡英和学院大学	1,020人	5,686m <sup>2</sup>			10,200m <sup>2</sup>		
計	1,380人	9,336m <sup>2</sup>	15,748.0m <sup>2</sup>		13,800m <sup>2</sup>	28,150m <sup>2</sup>	

\* 差異の面積については、併設大学との合計基準面積から現有面積を差し引いた面積で算出

基準面積算出計算式

1 校舎（本学分）

	学科	収容定員	面積
別表イ（学科別最大）	食物学科	160名	2,350 m <sup>2</sup>
別表ロ	現代コミュニケーション学科	200名	1,300 m <sup>2</sup>
①合計最低基準面積			3,650 m <sup>2</sup>

②静岡英和学院大学（共用）の基準面積

$(1,020-800) \times 1,322 \div 400 + 4,958 = 5,685.1 \text{ m}^2$  改め 5,686 m<sup>2</sup>

合計 ①+② 9,336 m<sup>2</sup>

2 ①校地(本学分)  $10 \times 360 = 3,600 \text{ m}^2$

②静岡英和学院大学（共用） $10 \times 1,020 = 10,200 \text{ m}^2$

合計 ①+② 13,800 m<sup>2</sup>

**（2）校地・校舎について、他の学校等との共有部分がある場合は、教育研究上の支障が生じないように、どのような措置をとっているかについても記述して下さい。**

短期大学部の校地・校舎は、静岡英和学院大学人間社会学部と共有している。授業における教室等施設の利用については、時間割作成時に学務課と教務委員により調整を行ったうえ、履修登録後には履修人数による再調整を行って、授業の実施に支障のないようにしている。また授業以外のイベントについても、会場の調整は学務課において行っている。

教育研究上、施設の利用について特に支障が生じたことはない。

**(3) 教育研究に使用する情報機器を設置するコンピュータ教室、学内LAN、LL教室及び学生自習室の整備状況(機種、台数等を含む)について記述して下さい。またその使用状況(使用頻度等)についても記述して下さい。なお、2以上の校地において教育研究を行う場合においては、校地ごとに記述してください。**

〈パソコン室等の整備状況〉

本学のパソコン室の整備状況を下表に示す。

情報関連機器の整備状況

(平成22年5月1日現在)

区分	機種	台数	使用頻度
コンピュータ教室	Windows XP	62	授業やそれ以外の時間帯で、よく使われている
コンピュータ教室 (ノートパソコン用教室)	Windows XP	2	
学内LAN	Linux、Windows NT、 Windows 2000 Windows Server 2003	7	無線LANアクセスポイントも多数用意されており授業時やその他の時間帯でよく使用されている。
LL教室	Windows XP	1	

パソコン等の設置状況

(平成22年5月1日現在)

区分	機種	台数	使用頻度
W201教室 (ノートパソコン用教室)	Windows XP	1	大学と共用 W201、W202教室において、学生はノートパソコンを持参し有線でLANに接続して使用。学生席は各30席。当該1台は教卓に設置され、学内LANに接続されている。
W202教室 (ノートパソコン用教室)	Windows XP	1	
W203教室	Windows XP	31	大学と共用 1台は、教卓にあり、他の30台が学生用。すべて学内LANに接続。
W205教室	Windows XP	31	
LL教室	Windows XP	1	大学と共用

#### ① コンピュータ教室

コンピュータ教室として、W201教室、W202教室、W203教室、W204教室の4つを西館2階に設置している。授業で利用される他、授業時以外には自習用に開放している。

各教室では、RGB分配装置により、教員用パソコン画面を各席のすぐ隣にあるモニター(各教室に16台ずつ)で見ることができる。また、モニターには手書き教材やビデオも映せる。

#### (1) W203教室、W205教室

W203教室、W205教室ともに、31台ずつのデスクトップパソコン(Windows XP Pro 装備)、1台ずつのカラーレーザープリンタを設置している。モノクロレーザープリンタはW203教室に2台、W205教室に3台を備え、すべて学内LANに有線接続している。また各教室ではそれぞれ31台ずつのノートパソコンを学内LANに有線で接続できる。

学内 LAN への無線アクセスポイントも 2 つずつ用意している。

## (2) W201 教室、W202 教室

各教室に学内 LAN に接続された教員用デスクトップパソコン (Windows XP Pro 装備) を 1 台ずつ用意し、さらに各教室でそれぞれ 31 台ずつのノートパソコンを学内 LAN に有線で接続できるようにしている。

## ②学内 LAN

(1) 本学のすべての建物 (本館、東館、西館、南館、北館、図書館、体育館、別館棟、新館、楓会館) を結ぶ学内 LAN を整備し、各コンピュータ教室、各研究室、各事務室、本館学生ホール、図書館、新館全フロアなどから学内 LAN にアクセス可能としている。

(2) 学内 LAN の一部として無線 LAN を整備している。すなわち、EIWA-UNIV ドメインへのアクセスポイントを各所に用意し、新館 (全フロア)、W203 教室、W205 教室、W301 教室、W302 教室、語学センター (LL)、図書館内の 1 階と 2 階、研究棟 1 階と 2 階、東棟 1 階、学生ホール、別館棟 1 階と 2 階、南館 3 階等で利用可能である。

(3) 学内 LAN は、商用プロバイダを通じてインターネットに接続されており、学内 LAN に接続した各パソコンからインターネットを利用できる。

## ③LL 教室

N505 教室を語学学習用に専用の機器を導入している。54 人の学生を収容できる座席 (ブース) を持ち、教室前方には各ブースの親機となるコンソールが配置されている。このコンソールからはカセットテープ、CD、DVD、ベータ・VHS のビデオなどのメディアが再生可能となっている。また、教室天井にはプロジェクターを設置しており、コンソールに置いたノート型パソコンからの映像を映し出すことができる。さらに、教室内には EIWA-UNIV ドメインへのアクセスポイントを用意し、学生各自が学内 LAN に接続できる環境が整っている。

N505 教室に隣接して、LL 教室準備室が置かれ、語学教材を中心とした資料が保存されている。またこの準備室には、カセットテープ、CD、DVD、ベータ・VHS のビデオ、レーザーディスクなどが再生可能なハード機器が用意されている。

(4) 授業用の機器・備品の整備状況及び整備システム（管理の状況、整備計画等を含む）について、その概要を記述して下さい。2以上の校地において教育研究を行う場合においては、校地ごとに記述して下さい。なお機器・備品の整備状況については訪問調査の際に校舎等をご案内いただく際にご説明いただきます。

平成22年度 授業用の機器・備品の整備状況一覧

教室等	収容定員	放送機材		使用可能な視聴覚機材						その他	備考
		有線	無線	VHS	DVD	書画カメラ	TVモニタ	プロジェクター	スクリーン		
W201	30	◎		◎	◎	◎	◎			デスクトップPC 1台	マルチメディア室
W202	30	◎		◎	◎	◎	◎			デスクトップPC 1台	マルチメディア室
W203	30		◎	◎	◎	◎	◎			デスクトップPC 31台	パソコン室
W205	30		◎	◎	◎	◎	◎			デスクトップPC 31台	パソコン室
W301	202		◎	◎	◎			◎	◎		
W302	202		◎	◎	◎	◎		◎	◎		
W303	99			◎	◎			◎	◎	電子ビーム 2台	
N101	120			◎	◎	◎		◎	◎		
N201	107			◎	◎			◎	◎		
N202	24			◎			◎				
N302	30			◎	◎		◎			電子ビーム 2台	福祉実習室
N303	30			◎	◎		◎				福祉実習室
N304	30			◎	◎		◎				
N402	58			◎	◎		◎				
N403	60			◎	◎		◎		◎		
N404	58			◎	◎		◎				
N505	54		◎	◎	◎	◎		◎	◎		LL教室
S203	174			◎				◎	◎		
S303	15		◎								
B101	18			◎	◎		◎				
B102	12			◎	◎		◎				
B105	18			◎	◎		◎				
B106	12			◎	◎		◎				
B201	21			◎	◎		◎				
B202	20			◎	◎		◎				
B204	17			◎	◎		◎				
合同研究室	10			◎			◎				
A201	42		◎	◎	◎		◎		◎		
A202	50		◎	◎	◎		◎		◎		
A203	50		◎	◎	◎		◎		◎		
A204	50		◎	◎	◎		◎		◎		
A205	50		◎	◎	◎		◎		◎		
A206	50		◎	◎	◎		◎		◎		
A301/302	66		◎	◎	◎		◎		◎		
A303/304	90		◎	◎	◎		◎	◎	◎		
A305	99		◎	◎	◎		◎	◎	◎		
A306	99		◎	◎	◎		◎		◎		
A405	50		◎	◎	◎		◎		◎		
A406	50		◎	◎	◎		◎		◎		
A407	50		◎	◎	◎		◎		◎		
講堂	525		◎	◎	◎			◎	◎	ハイビジョン1台	
S104	80									実験用備品一式	化学実験室
S201	80									実習用備品一式	食品加工実習室
S202	80									調理用備品一式	調理実習室
給食管理 実習室										実習用備品一式	給食管理 実習室

学務課等で管理し、貸出可能な視聴覚機材

液晶プロジェクター 4台、 スライドプロジェクター 1台、 OHP 1台、 書画カメラ 1台、 レーザーポインター 1本、 ノートテイク用PC 1台、  
CDラジカセ 3台、 CD+MDラジカセ 1台、 テープレコーダー 2台

整備管理は学務課が行い、備品の点検を実施して授業に支障をきたさないようにしている。備品の購入は、教育の必要性を第一に考え、各学科や教員からの要望も考慮しながら主に学務課が責任を持って購入している。

**(5) 校地、校舎の安全性、障害者への対応、運動場、体育館、学生の休息場所等について記述して下さい。訪問調査の際にご案内いただき、ご説明願います。**

校舎の安全性については、耐震診断の結果、要補強となった建物（本館管理棟、北館校舎、南館校舎）は補強工事済みである。アスベストについては、調査の結果安全性が確保されている。

障害者への対応については、北館及び新館にエレベータを設置し、障害者用便所も必要個所に整備してある。本学の校地は立地上高低差があるので、バリアフリー化には更に努力していく必要がある。

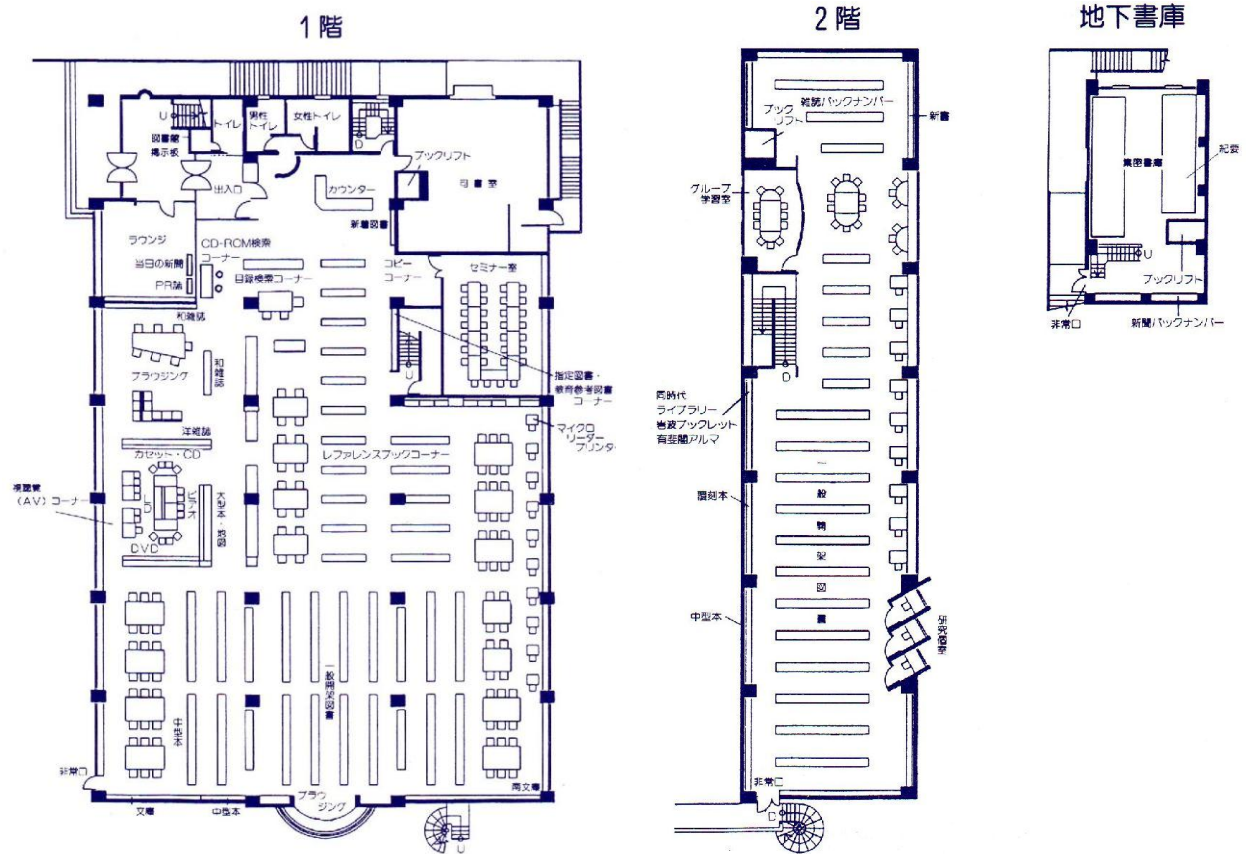
運動場はないがサークル活動等で必要なときは近隣の小学校などの運動施設を借用している。体育館、テニスコート2面を有し授業、サークル活動等で活用している。学生の休憩場所については、新校舎1階に学生ラウンジを設置し施設の充実を図った。その他西館旧食堂、図書館や北館2階ラウンジ等を活用している

- ◇参考資料 25 校舎・校地に関する図面  
(①全体図②校舎等の配置図、室名と各階の図面)

【図書館・学習資源センター等（以下「図書館」という。）について】

(1) 図書館等の概要について、全体の配置図、座席数、年間図書館予算、購入図書等選定システム、図書等廃棄システム、司書数、情報化の進捗状況等を含めて記述して下さい。なお図書館等には訪問調査の際にご案内いただきます。

①全体の配置図



②座席数等

形態	併設
床面積	1,702㎡
収容可能冊数	108,000冊
閲覧座席数	219席
机1脚あたりの学生数	1人・4人・6人用・他
AVコーナー	7台
AV機器	16台
その他	—

※閲覧座席数には、図書館セミナー室33席、視聴覚コーナー19席が含まれている。

③年間図書予算

単位：千円

年度	図書	学術雑誌	A V 資料
平成19年度	1525冊	950種	250点
平成20年度	1182冊	769種	100点
平成21年度	873冊	489種	91点

\*雑誌は一般雑誌も含む。



#### ④購入図書等選定システム

本学図書館では、学生の利用のための資料を中心に選書している。学科・授業に関連している資料は教員が選び、各学科から1名ずつ選出されている図書委員が取りまとめ、学科内で調整して購入を決定している。図書館での選書は、図書館長および図書館員で検討して選定している。学生の購入希望図書は、学科に関連しているものは各学科の図書委員に諮り、その他の図書は図書館で検討して購入している。

#### ⑤図書等廃棄システム

破損・汚損した資料、および内容が古く利用に適しない資料は廃棄している。利用に適しているかどうかについては、関連分野の教員に依頼して、廃棄すべきかどうかを確認してから処理を行っている。

#### ⑥司書数（平成21年度）

専任3名（有資格者）

#### ⑦情報化の進捗状況

平成14（2002）年度より富士通 iLiswave を導入し、図書検索を OPAC に移行した。平成16（2004）年度よりシステムによる貸出を開始する。現在、雑誌・紀要類のデータを入力中である。なお OPAC の公開は、学内からのみ検索可能となっている。学外への公開は現在準備中である。

**（2） 図書館に備えられている蔵書数（和書、洋書、学術雑誌数、AV資料数等）を下表を例にして作成して下さい。**

図書館蔵書数一覧

（平成22年度5月1日現在）

年度	蔵書数	和書	洋書	学術雑誌	AV資料
21年度	93,560冊	81,451冊	12,109冊	134種	3,032点

※図書・雑誌・AV資料は併設大学と共有している。  
※雑誌は一般雑誌も含む。

**（3） 図書館等には学生が利用できる授業に関連する参考図書、その他学生用の一般図書等は整備されているか。また学生の図書館等の利用は活発かを、図書館等の責任者（図書館長等）が現状をどのように捉えているかを記述して下さい。**

学生の図書館の利用実態（平成19年度～21年度）

	入館者数	開館日数	貸し出し冊数			貸出人数 学生
			図書	雑誌	視聴覚	
19年度	—	273	5,669	317	612	—
20年度	—	268	6,401	250	710	—
21年度	42,996	263	5,400	142	422	3,454

※平成20（2008）年度までは入館者数および貸出人数は統計をとっていない。

本学図書館は学生に対する教育図書館としての機能を優先した運営を心がけている。選書についても、学生のための資料を中心に選び、整理・配架している。

授業に関連する資料やレポート・ゼミ発表などに必要な資料は、それぞれの教員が選定している。これによって学生に対するきめ細かな教育に対応できる。

「教育参考図書・指定コーナー」を設け、教員が指定した「授業に関連する図書や必読図書」を配架している。

図書館では授業に関連する資料だけではなく、一般書、教養を深めるための基本図書や入門書、就職・進学関連図書などを選定している。学生の学習支援やキャリア支援に役立てるためである。

特に一般書の充実には力を入れるようにしている。また、できる限り学生の希望図書の購入にはこたえるようにしている。これらは学生の活字離れ・図書館離れに対する対応策のひとつとして取り組んでいることである。

図書館が学生の学習・調査・研究の場所としてあることは当然であるが、その他に学生の多様な大学生活の場としても活用できるようにしている。セミナー室やグループ学習室を学生の自主活動・グループ活動・サークルなどの場として開放している。またフロント脇のラウンジを閉館中でも利用できる部屋として開放し、学生同士の語りや待ち合わせの場としても活用できるようにしている。

平成 21（2009）年度の学生の図書貸出数は 5,400 冊で、学生 1 人当たり 5 冊程度の貸し出しとなる。貸し出し数自体はまだまだ少ないものの、図書館は学生の学習・調査・研究の場だけではなく、様々な活動の場としてもよく利用されている。

#### **（４） 図書館等からの学内外への情報発信、他の図書館等との連携等、現在の図書館活動について、図書館長等がどのように受け止めているかを記述して下さい。**

学外への情報発信は、「学報」の中に図書館の頁を設け、大学ホームページから閲覧できるようにしている。また大学のホームページに図書館のページを設け、学内のみならず、地域住民の図書館利用を促している。

平成 21（2009）年度の学外者の人数は、61 人（延べ人数）であった。地理的な要因もあり、学外者の利用は多くはないが、リピーターもおり、図書館を利用した人々から高い評価を得ている。

他の図書館等との連携は、学外文献複写サービス、閲覧の依頼・受付などを行っている。

学内への情報発信は、毎年 4 月に、新入生への図書館オリエンテーションを実施している。これはすべての新入生を 20 人程度の小グループに分け、利用案内と館内ツアーを行うもので、図書館という施設を身近なものと認識し、その後の図書館利用につなげてもらうためである。

また教員の求めに応じ、クラスやゼミの学生に対し、図書館利用法、文献収集の基礎などのガイダンスを行っている。おもにレポートの作成、ゼミの発表など、学生の学習支援のために実施している。なおこれらのガイダンスの内容は、学生個人のレファレンス時にも、可能な限り伝えるようにしている。

学外のみならず、学内への情報発信は重要である。特に学内においては、図書館員による学生へのきめ細かな取り組みが、現在の活発な図書館利用につながっている。

本学図書館は建築準備の段階から、利用者にとって精神的安らぎ、心の余裕を得られるような空間を提供したいと心がけて設計・配置されている。清掃等も充分配慮しており、小規模ながら清潔で明るく快適な図書館として、学内外から高い評価を得ている。

◇参考資料 26 「静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部附属図書館規程」

◇参考資料 27 「静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部附属図書館利用規程」

◇参考資料 28 『英和ユニバース』No2

◇参考資料 29 本学ホームページ「図書館」

#### 【特記事項について】

**(1) この《Ⅲ教育の実施体制》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば外国人教員の採用、授業の公開、学習評価活動等、努力していることがあれば記述して下さい。**

本学現代コミュニケーション学科ではカナダ人専任教員と日本人の英語教員がチームティーチング形式で一つのゼミ（英語の優秀な学生 15 名）を担当し、授業を英語で行い、学年末には授業の締めくくりとしてゼミのすべての学生の記事を載せた英字新聞を発行した。

**(2) 特別の事由や事情があり、この《Ⅲ教育の実施体制》の評価項目や評価の観点**  
**が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。**

◇参考資料 30 英字新聞

《Ⅳ教育目標の達成度と教育の効果》の記述及び資料等について

【単位認定について】

(1) 次の「単位認定の状況表」を例に、単位認定の方法と評価の実態を記載して下さい。なお、この表は平成21(2009)年度卒業生が入学時より卒業までに履修した科目について作成してください。

現代コミュニケーション学科の単位認定の状況表(1年次)

(平成21年度卒業生)

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終の評価(%)			
					本試	再試等	計	優	良	可	不可
基礎・必修	キリスト教学入門	講義	85	定期試験	88	0	88	26	25	38	12
基礎・必修	キリスト教と現代	講義	83	定期試験	93	0	93	18	29	48	5
基礎・選択	人間関係の心理学	講義	33	レポート	100	0	100	91	0	9	0
基礎・選択	文学と人間Ⅰ	講義	48	レポート	90	0	90	38	42	10	10
基礎・選択	文学と人間Ⅱ	講義	19	定期試験	79	5	84	26	26	32	16
基礎・選択	音楽と文化	講義	20	定期試験	55	0	55	15	15	25	45
基礎・選択	国際社会と日本	講義	24	定期試験	92	0	92	58	33	0	8
基礎・選択	自然科学	講義	31	小テスト	77	0	77	39	19	19	23
基礎・選択	生活と法律	講義	20	定期試験	95	0	95	60	20	15	5
基礎・選択	静岡の経済	講義	7	定期試験	71	0	71	57	14	0	29
基礎・選択	外国の言語と文化(フランス語)	演習	12	定期試験	100	0	100	25	33	42	0
基礎・選択	外国の言語と文化(ドイツ語)	演習	11	定期試験	91	0	91	18	27	46	9
基礎・選択	外国の言語と文化(中国語)	演習	6	定期試験	67	0	67	17	33	17	33
基礎・選択	外国の言語と文化(ハンガール)	演習	1	定期試験	0	0	0	0	0	0	100
基礎・必修	コンピュータ基本演習	演習	85	定期試験	92	0	92	49	22	20	8
基礎・選択	スポーツ実技(卓球)	実習	11	出席、授業態度	73	0	73	46	9	18	27
基礎・選択	スポーツ実技(テニス)	実習		開講せず							
基礎・選択	スポーツ実技(エアロビクスⅠ)	実習	31	出席、授業態度	100	0	100	90	10	0	0
基礎・選択	スポーツ実技(エアロビクスⅡ)	実習	16	出席、授業態度	100	0	100	100	0	0	0
基礎・選択	スポーツ実技(バレーボール)	実習	4	出席、授業態度	100	0	100	50	50	0	0
基礎・選択	スポーツ実技(バドミントン)	実習	14	出席、授業態度	86	0	86	29	50	7	14
基礎・選択	健康余暇論	講義	14	定期試験	71	14	86	36	7	43	14
基礎・選択	健康行動学	講義	4	定期試験	75	0	75	75	0	0	25
基本・必修	現代コミュニケーション論	講義	84	定期試験	96	0	96	38	54	5	4
基本・必修	コミュニケーション心理学	講義	83	レポート	93	0	93	53	23	17	7
基本・必修	現代社会論	講義	64	定期試験	95	0	95	67	27	2	5
基幹・選択	日本語Ⅰ	実習	9	定期試験	89	0	89	56	33	0	11
基幹・選択	日本語Ⅱ	実習	5	レポート	100	0	100	80	20	0	0
基幹・選択	日本語文章表現演習Ⅰ	演習	46	レポート	98	0	98	63	35	0	2
基幹・選択	日本語文章表現演習Ⅱ	演習	10	課題提出	90	0	90	70	10	10	10
基幹・選択	日本語コミュニケーションⅠ	講義	22	定期試験	95	0	95	27	59	9	5
基幹・選択	日本語コミュニケーションⅡ	講義	41	小テスト	100	0	100	56	41	2	0
基幹・選択	メディア読解演習Ⅰ	演習	15	レポート	87	0	87	53	33	0	13
基幹・選択	メディア読解演習Ⅱ	演習	9	課題提出	100	0	100	33	44	22	0
基幹・必修	基礎英語Ⅰ	実習	68	定期試験	91	0	91	54	22	15	9
基幹・必修	基礎英語Ⅱ	実習	13	定期試験	85	0	85	54	31	0	15
基幹・選択	TOEIC英語	演習	4	定期試験	100	0	100	50	50	0	0
基幹・選択	英検英語	講義	22	定期試験	91	0	91	55	18	18	9
基幹・選択	Hospitality English	講義	17	定期試験	100	0	100	71	18	12	0
基幹・選択	コミュニケーション技法Ⅰ	講義	19	レポート	95	0	95	53	26	16	5
基幹・選択	コミュニケーション技法Ⅱ	講義	9	定期試験	89	0	89	56	33	0	11
基幹・選択	異文化コミュニケーション	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
基幹・必修	プレゼンテーション演習	演習	82	出席、プレゼンテーション	93	0	93	48	39	6	7
基幹・選択	心理学入門	講義	36	レポート	94	0	94	47	42	6	6
基幹・選択	キャリアカウンセリング論	講義	28	レポート	96	0	96	57	18	21	4
基幹・選択	ヒューマンリレーション	講義	10	小レポート	100	0	100	60	40	0	0
基幹・必修	キャリアデザイン演習	演習	85	レポート	95	0	95	59	31	6	5
基幹・必修	総合演習	演習	0	出席、活動への取り組み	0	0	0	0	0	0	0
ビジネス・リテラシー、必修	教養と常識	講義	83	小レポート	89	0	89	37	31	21	11
ビジネス・リテラシー、必修	情報社会論	講義	0	課題提出	0	0	0	0	0	0	0
ビジネス・リテラシー、必修	コンピュータ演習	演習	83	定期試験	87	3	90	51	28	12	10

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終の評価(%)			
					本試	再試等	計	優	良	可	不可
キャリア・選択	ビジネス社会と常識	講義	48	定期試験	79	19	98	35	27	35	2
キャリア・選択	ビジネス実務演習	演習	51	定期試験	84	2	86	61	20	6	14
キャリア・選択	ビジネス英会話	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	ビジネス英語文書	講義	0	出席、課題提出	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	上級コンピュータⅠ	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	上級コンピュータⅡ	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	簿記Ⅰ	講義	41	定期試験	100	0	100	76	20	5	0
キャリア・選択	簿記Ⅱ	講義	40	定期試験	93	2	95	60	23	13	5
キャリア・選択	経営概論	講義	11	定期試験	100	0	100	64	27	9	0
キャリア・選択	マーケティング	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	会計学	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	経済学	講義	15	定期試験	100	0	100	87	7	7	0
キャリア・選択	民法	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	商法	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	ホスピタリティ論	講義	18	定期試験	100	0	100	56	33	11	0
キャリア・選択	観光総論	講義	0	レポート	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	Everyday English Ⅰ	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	Everyday English Ⅱ	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	観光英語	講義	1	定期試験	100	0	100	100	0	0	0
キャリア・選択	日本の観光地誌	講義	1	定期試験	100	0	100	0	0	100	0
キャリア・選択	トラベル実務論	講義	7	定期試験	100	0	100	0	43	57	0
キャリア・選択	海外文化研究	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	テーマパーク研究	講義	8	レポート	100	0	100	75	25	0	0
キャリア・選択	日本文化研究	講義	10	レポート	100	0	100	60	40	0	0
キャリア・選択	ホテル英会話	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	ホテル・サービス論	講義	13	定期試験	100	0	100	62	23	15	0
キャリア・選択	ホテル・マネジメント	講義	13	定期試験	100	0	100	69	15	15	0
キャリア・選択	エアライン・サービス論	講義	6	定期試験	100	0	100	50	50	0	0
キャリア・選択	航空産業入門	講義	6	定期試験	100	0	100	33	33	33	0
キャリア・選択	フライトアテンダント作法	講義	6	定期試験	100	0	100	83	17	0	0
キャリア・選択	医療事務基礎・コンピュータⅠ	講義	22	レポート	96	0	96	32	14	50	5
キャリア・選択	医療事務基礎・コンピュータⅡ	講義	22	レポート	64	0	64	18	9	36	36
キャリア・選択	医療事務基礎・コンピュータⅢ	講義	22	レポート	36	0	36	18	5	14	64
キャリア・選択	調剤事務基礎	講義	0	レポート	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	介護事務基礎	講義	0	レポート	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	健康心理学	講義	23	レポート	91	0	91	65	13	13	9
キャリア・選択	カウンセリング論	講義	0	レポート	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	交流分析	講義	0	レポート	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	グループエクササイズⅠ	実技	23	出席、授業態度	100	0	100	96	4	0	0
キャリア・選択	グループエクササイズⅡ	実技	20	出席、授業態度	90	0	90	85	5	0	10
キャリア・選択	グループエクササイズ理論	講義	16	定期試験	88	0	88	75	13	0	13
キャリア・選択	アロマセラピー	講義	24	定期試験	83	13	96	33	38	25	4
キャリア・選択	音楽セラピー	講義	18	定期試験	67	11	78	22	39	17	22
キャリア・選択	カラー・コーディネート	講義	31	定期試験	100	0	100	84	13	3	0
キャリア・選択	ファッション文化論	講義	14	定期試験	86	0	86	36	29	21	14
キャリア・選択	ファッションビジネス論	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	メイクアップ基礎概論	講義	15	定期試験	100	0	100	20	60	20	0
キャリア・選択	メイク・テクニック	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	ネイルケア・ネイルアートⅠ	演習	16	定期試験	44	50	94	25	25	44	6
キャリア・選択	ネイルケア・ネイルアートⅡ	演習	13	定期試験	77	8	85	0	54	31	15
キャリア・選択	ブライダル・ビジネスⅠ	講義	開講せず								
キャリア・選択	ブライダル・ビジネスⅡ	講義	0	レポート	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	ブライダル・ミュージック	講義	0	レポート	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	フラワー・コーディネート	演習	0	レポート	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	上級コンピュータⅢ	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	上級コンピュータⅣ	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	フィールドワーク(国内研修)	実習	5	研修態度、レポート	100	0	100	100	0	0	0
キャリア・選択	フィールドワーク(海外研修)	実習	0	研修態度、レポート	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	フィールドワーク(インターシップⅠ)	実習	6	研修態度、レポート	100	0	100	100	0	0	0
キャリア・選択	フィールドワーク(インターシップⅡ)	実習	0	研修態度、レポート	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	フィールドワーク(インターシップⅢ)	実習	0	研修態度、レポート	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	Peace Studies	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	Canadian Culture	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0

現代コミュニケーション学科の単位認定の状況表（2年次）

（平成21年度卒業生）

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終の評価(%)				
					本試	再試等計		S	A	B	C	F
基礎・必修	キリスト教学入門	講義	8	定期試験	75	0	75	0	38	25	13	29
基礎・必修	キリスト教と現代	講義	5	定期試験	75	0	75	0	0	50	25	25
基礎・選択	人間関係の心理学	講義	18	レポート	100	0	100	22	11	44	22	0
基礎・選択	文学と人間Ⅰ	講義	15	レポート	100	0	100	0	40	60	0	0
基礎・選択	文学と人間Ⅱ	講義	18	定期試験	94	0	94	0	17	44	33	6
基礎・選択	音楽と文化	講義	30	定期試験	90	0	90	10	17	17	47	10
基礎・選択	国際社会と日本	講義	18	定期試験	67	0	67	0	6	22	39	33
基礎・選択	自然科学	講義	22	小テスト	73	0	73	9	27	18	18	27
基礎・選択	生活と法律	講義	33	定期試験	79	0	79	15	21	21	21	21
基礎・選択	静岡の経済	講義	51	定期試験	98	0	98	4	37	33	24	2
基礎・選択	外国の言語と文化（フランス語）	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	外国の言語と文化（ドイツ語）	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	外国の言語と文化（中国語）	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	外国の言語と文化（ハンガール）	演習	2	定期試験	100	0	100	50	0	50	0	0
基礎・必修	コンピュータ基本演習	演習	7	定期試験	43	14	57	0	14	0	43	43
基礎・選択	スポーツ実技（エアロビクスⅠ）	実習	14	出席、授業態度	100	0	100	8	54	31	8	0
基礎・選択	スポーツ実技（エアロビクスⅡ）	実習	4	出席、授業態度	100	0	100	50	50	0	0	0
基礎・選択	スポーツ実技Ⅰ	実習	11	出席、授業態度	100	0	100	27	18	18	36	0
基礎・選択	スポーツ実技Ⅱ	実習	30	出席、授業態度	93	0	93	3	27	57	7	7
基礎・選択	健康余暇論	講義	2	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	100
基礎・選択	健康行動学	講義	8	定期試験	88	0	88	0	25	38	25	13
基本・必修	現代コミュニケーション論	講義	2	定期試験	100	0	100	0	0	0	100	0
基本・必修	コミュニケーション心理学	講義	6	レポート	67	0	67	0	0	0	67	33
基本・必修	現代社会論	講義	82	定期試験	98	0	98	13	33	28	23	2
基幹・選択	日本語Ⅰ	実習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
基幹・選択	日本語Ⅱ	実習	0	レポート	0	0	0	0	0	0	0	0
基幹・選択	日本語文章表現演習Ⅰ	演習	12	レポート	92	0	92	8	8	42	33	8
基幹・選択	日本語文章表現演習Ⅱ	演習	3	課題提出	100	0	100	0	33	67	0	0
基幹・選択	日本語コミュニケーションⅠ	講義	1	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	100
基幹・選択	日本語コミュニケーションⅡ	講義	14	小テスト	100	0	100	36	14	14	36	0
基幹・選択	メディア読解演習Ⅰ	演習	8	レポート	100	0	100	13	13	0	75	0
基幹・選択	メディア読解演習Ⅱ	演習	13	課題提出	100	0	100	8	31	31	31	0
基幹・必修	基礎英語Ⅰ	実習	6	定期試験	83	0	83	0	0	17	67	17
基幹・必修	基礎英語Ⅱ	実習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
基幹・選択	TOEIC英語	演習	16	定期試験	94	0	94	19	13	31	31	6
基幹・選択	英検英語	講義	1	定期試験	100	0	100	0	0	100	0	0
基幹・選択	Hospitality English	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
基幹・選択	コミュニケーション技法Ⅰ	講義	2	レポート	50	0	50	0	0	50	0	50
基幹・選択	コミュニケーション技法Ⅱ	講義	8	定期試験	100	0	100	13	25	25	38	0
基幹・選択	異文化コミュニケーション	講義	7	定期試験	71	0	71	14	29	29	0	29
基幹・必修	プレゼンテーション演習	演習	3	出席、プレゼンテーション	100	0	100	0	67	0	33	0
基幹・選択	心理学入門	講義	3	レポート	100	0	100	0	0	33	67	0
基幹・選択	キャリアカウンセリング論	講義	3	レポート	100	0	100	67	33	0	0	0
基幹・必修	キャリアデザイン演習	演習	1	レポート	100	0	100	0	0	0	100	0
基幹・必修	総合演習	演習	79	出席、活動への取り組み	99	0	99	24	22	38	15	1
ビジネス・ベーシック ス、必修	教養と常識	講義	7	小レポート	100	0	100	0	17	17	67	0
ビジネス・ベーシック ス、必修	情報社会論	講義	20	課題提出	95	0	95	30	50	10	5	5
ビジネス・ベーシック ス、必修	コンピュータ演習	演習	6	定期試験	34	33	67	0	0	17	50	33
キャリア・選択	ビジネス社会と常識	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	ビジネス実務演習	演習	3	定期試験	67	0	67	0	33	33	0	33
キャリア・選択	ビジネス英会話	演習	14	定期試験	86	0	86	0	7	21	57	14
キャリア・選択	ビジネス英語文書	講義	24	出席、課題提出	92	0	92	4	63	17	8	8
キャリア・選択	上級コンピュータⅠ	演習	22	定期試験	91	0	91	23	36	14	18	9
キャリア・選択	上級コンピュータⅡ	演習	16	定期試験	100	0	100	31	19	25	25	0

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終の評価(%)				
					本試	再試	等計	S	A	B	C	F
キャリア・選択	簿記Ⅰ	講義	8	定期試験	88	0	88	13	38	0	38	13
キャリア・選択	簿記Ⅱ	講義	4	定期試験	100	0	100	0	50	50	0	0
キャリア・選択	経営概論	講義	11	定期試験	73	0	73	18	27	9	18	27
キャリア・選択	マーケティング	講義	20	定期試験	70	0	70	10	20	35	5	30
キャリア・選択	会計学	講義	19	定期試験	95	0	95	16	42	26	11	5
キャリア・選択	経済学	講義	11	定期試験	91	0	91	0	27	45	18	9
キャリア・選択	民法	講義	24	定期試験	84	4	88	4	25	29	29	13
キャリア・選択	商法	講義	13	定期試験	100	0	100	8	31	31	31	0
キャリア・選択	ホスピタリティ論	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	観光総論	講義	9	レポート	89	0	89	0	44	44	0	11
キャリア・選択	Everyday English I	演習	9	定期試験	100	0	100	33	33	0	33	0
キャリア・選択	Everyday English II	演習	9	定期試験	75	0	75	13	0	13	50	25
キャリア・選択	観光英語	講義	12	定期試験	67	0	67	25	33	8	0	33
キャリア・選択	日本の観光地誌	講義	22	定期試験	77	0	77	9	9	32	27	23
キャリア・選択	トラベル実務論	講義	8	定期試験	100	0	100	0	57	29	14	0
キャリア・選択	海外文化研究	講義	17	定期試験	94	0	94	0	59	29	6	6
キャリア・選択	テーマパーク研究	講義	3	レポート	33	0	33	33	0	0	0	67
キャリア・選択	日本文化研究	講義	1	レポート	100	0	100	0	100	0	0	0
キャリア・選択	ホテル英会話	演習	9	定期試験	78	0	78	11	11	44	11	22
キャリア・選択	ホテル・サービス論	講義	3	定期試験	100	0	100	33	0	33	33	0
キャリア・選択	ホテル・マネジメント	講義	1	定期試験	100	0	100	0	0	0	100	0
キャリア・選択	エアライン・サービス論	講義	1	定期試験	100	0	100	0	0	0	100	0
キャリア・選択	航空産業入門	講義	2	定期試験	50	0	50	0	0	50	0	50
キャリア・選択	フライトアテンダント作法	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	医療事務基礎・コンピュータⅠ	講義	2	レポート	50	0	50	0	50	0	0	50
キャリア・選択	医療事務基礎・コンピュータⅡ	講義	2	レポート	50	0	50	0	0	0	50	50
キャリア・選択	医療事務基礎・コンピュータⅢ	講義	2	レポート	0	0	0	0	0	0	0	100
キャリア・選択	調剤事務基礎	講義	14	レポート	100	0	100	57	21	21	0	0
キャリア・選択	介護事務基礎	講義	14	レポート	57	0	57	7	7	21	21	43
キャリア・選択	健康心理学	講義	2	レポート	0	0	0	0	0	0	0	100
キャリア・選択	カウンセリング論	講義	15	レポート	93	0	93	33	20	13	27	7
キャリア・選択	交流分析	講義	9	レポート	88	0	88	38	0	38	13	13
キャリア・選択	グループエクササイズⅠ	実技	0	出席、授業態度	0	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	グループエクササイズⅡ	実技	0	出席、授業態度	0	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	グループエクササイズ理論	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	アロマセラピー	講義	4	定期試験	75	0	75	0	50	25	0	25
キャリア・選択	音楽セラピー	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	カラー・コーディネート	講義	10	定期試験	90	0	90	0	20	10	60	10
キャリア・選択	ファッション文化論	講義	1	定期試験	0	100	100	0	100	0	0	0
キャリア・選択	ファッションビジネス論	講義	16	定期試験	100	0	100	19	13	38	31	0
キャリア・選択	メイクアップ基礎概論	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	メイク・テクニク	演習	15	定期試験	100	0	100	40	47	13	0	0
キャリア・選択	ネイルケア・ネイルアートⅠ	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	ネイルケア・ネイルアートⅡ	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	ブライダル・ビジネスⅠ	講義	20	レポート	85	0	85	15	55	10	5	15
キャリア・選択	ブライダル・ビジネスⅡ	講義	16	レポート	88	0	88	6	19	63	0	13
キャリア・選択	ブライダル・ミュージック	講義	16	レポート	88	6	94	6	19	31	38	6
キャリア・選択	フラワー・コーディネート	演習	6	レポート	100	0	100	50	17	33	0	0
キャリア・選択	上級コンピュータⅢ	演習	9	定期試験	33	0	33	22	0	11	0	67
キャリア・選択	上級コンピュータⅣ	演習	7	定期試験	86	0	86	57	14	0	14	14
キャリア・選択	フィールドワーク(国内研修)	実習	0	研修態度、レポート	0	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	フィールドワーク(海外研修)	実習	0	研修態度、レポート	0	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	フィールドワーク(インターシップⅠ)	実習	0	研修態度、レポート	0	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	フィールドワーク(インターシップⅡ)	実習	0	研修態度、レポート	0	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	フィールドワーク(インターシップⅢ)	実習	0	研修態度、レポート	0	0	0	0	0	0	0	0
キャリア・選択	Peace Studies	演習	1	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	100
キャリア・選択	Canadian Culture	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0

食物学科の単位認定の状況表（1年次）

（平成21年度卒業生）

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)		最終の評価(%)				
					本試	再試等計	優	良	可	不可	
基礎・必修	キリスト教学入門	講義	47	定期試験	96	0	96	30	51	15	4
基礎・必修	キリスト教と現代	講義	43	定期試験	100	0	100	49	42	9	0
基礎・選択	人間関係の心理学	講義	23	レポート	96	0	96	91	0	4	4
基礎・選択	文学と人間Ⅰ	講義	13	レポート	77	0	77	23	39	15	23
基礎・選択	文学と人間Ⅱ	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	音楽と文化	講義	5	定期試験	60	0	60	60	0	0	40
基礎・選択	国際社会と日本	講義	7	定期試験	57	0	57	14	0	43	43
基礎・選択	自然科学	講義	23	小テスト	91	0	91	61	22	9	9
基礎・選択	生活と法律	講義	2	定期試験	50	0	50	50	0	0	50
基礎・選択	静岡の経済	講義	9	定期試験	100	0	100	78	22	0	0
基礎・選択	日本語表現力Ⅰ	演習	40	定期試験	100	0	100	58	43	0	0
基礎・選択	日本語表現力Ⅱ	演習	14	定期試験	93	0	93	79	14	0	7
基礎・選択	英語表現力	演習	47	定期試験	87	2	89	34	28	28	11
基礎・選択	外国の言語と文化（フランス語）	演習	16	定期試験	81	0	81	6	31	44	19
基礎・選択	外国の言語と文化（ドイツ語）	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	外国の言語と文化（中国語）	演習	14	定期試験	62	0	62	15	15	31	39
基礎・選択	外国の言語と文化（ハンガール）	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	コンピュータ基本演習	演習	43	定期試験	93	2	95	35	40	21	5
基礎・選択	スポーツ実技（卓球）	実習		出席、授業態度	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	スポーツ実技（テニス）	実習	開講せず								
基礎・選択	スポーツ実技（エアロビクスⅠ）	実習	10	出席、授業態度	90	0	90	80	10	0	10
基礎・選択	スポーツ実技（エアロビクスⅡ）	実習	0	出席、授業態度	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	スポーツ実技（バレーボール）	実習	4	出席、授業態度	100	0	100	75	25	0	0
基礎・選択	スポーツ実技（バドミントン）	実習	5	出席、授業態度	100	0	100	20	60	20	0
基礎・選択	健康余暇論	講義	37	定期試験	90	5	95	30	43	22	5
基礎・選択	健康行動学	講義	13	定期試験	100	0	100	62	15	23	0
基礎・選択	コミュニケーション技法Ⅰ	講義	4	レポート	100	0	100	25	75	0	0
専門・必修	公衆衛生学概論	講義	47	定期試験	36	43	79	17	15	47	21
専門・必修	生理学	講義	47	定期試験	64	30	94	17	26	51	6
専門・必修	生化学	講義	43	定期試験	72	26	98	30	19	49	2
専門・必修	食品学総論	講義	47	定期試験	68	26	94	19	17	57	6
専門・必修	食品衛生学総論	講義	47	定期試験	49	36	85	30	6	49	15
専門・必修	食品学実験	実験	47	定期試験	75	19	94	38	17	38	6
専門・必修	基礎栄養学	講義	47	定期試験	94	0	94	62	26	6	6
専門・必修	栄養指導論Ⅰ	講義	47	定期試験	94	0	94	40	34	19	6
専門・必修	調理学	講義	47	定期試験	94	0	94	94	0	0	6
専門・必修	調理学実習Ⅰ	実習	47	定期試験	94	0	94	94	0	0	6
専門・必修	調理学実習Ⅱ	実習	43	定期試験	100	0	100	100	0	0	0
専門・必修	食物学基礎実験	実験	47	定期試験	81	13	94	40	21	32	6
専門・必修	基礎科学Ⅰ	講義	47	定期試験	26	68	94	15	9	70	6
専門・選択必修	基礎科学Ⅱ	講義	47	定期試験	28	66	94	19	9	66	6
専門・選択必修	基礎科学Ⅲ	講義	47	定期試験	34	60	94	11	11	72	6
専門・選択必修	校外実習	実習	0	課題、実習先評価	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択必修	運動生理学	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択必修	データ解析論	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択必修	食品加工学	講義	43	定期試験	40	34	74	19	7	49	26
専門・選択必修	食品衛生学各論	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択必修	消費生活論	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択必修	食料経済学	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択必修	食文化論	講義	開講せず								
専門・選択	公衆衛生学各論	講義	43	定期試験	42	44	86	12	9	65	14
専門・選択	食品学各論	講義	43	定期試験	56	42	98	2	23	72	2
専門・選択	応用栄養学	講義	43	定期試験	88	12	100	30	37	33	0
専門・選択	社会福祉概論	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択	解剖学	講義	47	定期試験	94	0	94	9	40	45	6
専門・選択	病理学	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択	解剖生理学実験	実験	43	定期試験	79	19	98	35	30	33	2
専門・選択	生化学実験	実験	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0



種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終の評価(%)				
					本試	再試等	計	優	良	可	不可	
専門・選択	食品衛生学実験	実験	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択	臨床栄養学概論	講義	43	定期試験	96	2	98	56	19	23	2	2
専門・選択	臨床栄養学各論	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択	応用栄養学実習	実習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択	臨床栄養学実習	実習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択	栄養指導論Ⅱ	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択	公衆栄養学概論	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択	栄養指導実習Ⅰ	実習	43	定期試験	98	0	98	67	26	5	2	2
専門・選択	栄養指導実習Ⅱ	実習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択	給食計画論	講義	43	定期試験	44	51	95	5	14	77	5	5
専門・選択	給食実務論	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択	調理学実習Ⅲ	実習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択	調理学実習Ⅳ	実習	0	実習態度、レポート	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択	給食管理実習Ⅰ	実習	0	実習態度、レポート	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択	給食管理実習Ⅱ	実習	0	課題、実習先評価	0	0	0	0	0	0	0	0

食物学科の単位認定の状況表（2年次）

（平成21年度卒業生）

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終の評価(%)					
					本試	再試等	計	S	A	B	C	F	
基礎・必修	キリスト教入門	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・必修	キリスト教と現代	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	人間関係の心理学	講義	0	レポート	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	文学と人間Ⅰ	講義	3	レポート	100	0	100	0	67	33	0	0	0
基礎・選択	文学と人間Ⅱ	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	音楽と文化	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	国際社会と日本	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	自然科学	講義	0	小テスト	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	生活と法律	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	静岡の経済	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	日本語表現力Ⅰ	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	日本語表現力Ⅱ	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	英語表現力	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	外国の言語と文化（フランス語）	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	外国の言語と文化（ドイツ語）	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	外国の言語と文化（中国語）	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	外国の言語と文化（ハンガール）	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	コンピュータ基本演習	演習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	スポーツ実技（エアロビクスⅠ）	実習	0	出席、授業態度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	スポーツ実技（エアロビクスⅡ）	実習	0	出席、授業態度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎・選択	スポーツ実技Ⅰ	実習	4	出席、授業態度	100	0	100	25	75	0	0	0	0
基礎・選択	スポーツ実技Ⅱ	実習	4	出席、授業態度	100	0	100	25	75	0	0	0	0
基礎・選択	健康余暇論	講義	1	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	100	0
基礎・選択	健康行動学	講義	1	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	100
基礎・選択	心理学入門	講義	1	定期試験	100	0	100	0	0	0	100	0	0
専門・必修	公衆衛生学概論	講義	7	定期試験	71	29	100	14	0	29	57	0	0
専門・必修	生理学	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・必修	生化学	講義	1	定期試験	100	0	100	0	0	0	100	0	0
専門・必修	食品学総論	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・必修	食品衛生学総論	講義	4	定期試験	25	75	100	0	0	25	75	0	0
専門・必修	食品学実験	実験	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・必修	基礎栄養学	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・必修	栄養指導論Ⅰ	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・必修	調理学	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・必修	調理学実習Ⅰ	実習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・必修	調理学実習Ⅱ	実習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・必修	食物学基礎実験	実験	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・必修	基礎科学Ⅰ	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択必修	基礎科学Ⅱ	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択必修	基礎科学Ⅲ	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択必修	校外実習	実習	1	課題、実習先評価	100	0	100	0	0	100	0	0	0
専門・選択必修	運動生理学	講義	43	定期試験	82	16	98	21	23	21	33	2	2
専門・選択必修	データ解析論	講義	13	定期試験	92	0	92	15	23	39	15	8	8
専門・選択必修	食品加工学	講義	1	定期試験	0	100	100	0	0	0	100	0	0
専門・選択必修	食品衛生学各論	講義	43	定期試験	77	23	100	47	12	16	26	0	0
専門・選択必修	品質管理学	講義	42	定期試験	100	0	100	71	21	2	5	0	0
専門・選択必修	微生物学	講義	43	定期試験	51	42	93	33	12	5	44	7	7
専門・選択必修	消費生活論	講義	開講せず										
専門・選択必修	食料経済学	講義	43	定期試験	100	0	100	14	14	40	33	0	0
専門・選択必修	食文化論	講義	開講せず										

	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終の評価(%)				
					本試	再試等	計	S	A	B	C	F
専門・選択	公衆衛生学各論	講義	4	定期試験	25	75	100	0	0	25	75	0
専門・選択	食品学各論	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択	応用栄養学	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択	社会福祉概論	講義	42	定期試験	77	21	98	0	0	21	76	2
専門・選択	解剖生理学実験	実験	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択	生化学実験	実験	43	定期試験	100	0	100	21	42	30	7	0
専門・選択	食品衛生学実験	実験	42	定期試験	86	14	100	14	17	36	33	0
専門・選択	臨床栄養学概論	講義	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択	臨床栄養学各論	講義	43	定期試験	67	26	93	16	14	14	49	7
専門・選択	応用栄養学実習	実習	43	定期試験	93	5	98	26	28	30	14	2
専門・選択	臨床栄養学実習	実習	43	定期試験	100	0	100	70	23	7	0	0
専門・選択	栄養指導論Ⅱ	講義	43	定期試験	98	0	98	56	30	7	5	2
専門・選択	公衆栄養学概論	講義	43	定期試験	91	7	98	26	28	30	14	2
専門・選択	栄養指導実習Ⅰ	実習	0	定期試験	0	0	0	0	0	0	0	0
専門・選択	栄養指導実習Ⅱ	実習	42	定期試験	100	0	100	79	17	2	2	0
専門・選択	給食計画論	講義	1	定期試験	100	0	100	0	0	100	0	0
専門・選択	給食実務論	講義	43	定期試験	86	12	98	28	23	19	28	2
専門・選択	調理学実習Ⅲ	実習	43	定期試験	93	7	100	9	33	40	19	0
専門・選択	調理学実習Ⅳ	実習	43	実習態度、レポート	100	0	100	0	98	2	0	0
専門・選択	給食管理実習Ⅰ	実習	43	実習態度、レポート	100	0	100	42	35	19	5	0
専門・選択	給食管理実習Ⅱ	実習	41	課題、実習先評価	100	0	100	15	42	37	7	0

①上記の表に示したように、授業形態には、講義、演習、実験・実習がある。現代コミュニケーション学科は、教室での講義、演習を主として授業が実施されるが、科目の内容によっては地域研究のためにフィールドワークに校外に出かけることもある。食物学科は上記の講義、演習、学内での実験・実習および校外実習も併せて実施している。

②主な単位認定の方法は、『履修要項・講義内容』に各教員が明記して、事前に学生に周知、徹底をしている。具体的には、年度当初のオリエンテーションの時、前期、後期の履修登録以前の授業時に教員が説明することによって学生に周知をしている。なお成績の評価は定期試験の得点のみで評価するのではなく、担当教員が『履修要項・講義内容』に明示してある判定基準に基づき、準備学習、発表の折のレジメ、小テスト、授業時、あるいは時期を決めてのレポート提出の有無、その内容、日常の授業に取り組む姿勢、聞く態度、応答、発言、ノートのと리카たを総合的に判断して、GPA表のSからFまでの評価をする。教員によっては試験、レポート以外に面接を実施する教員もいる。

③最終の成績評価については、『履修要項・講義内容』p. 12に明記してある。以下それを示す。

GPA制度の採用—成績評価をより明確にし、学生自身が自らの学習の進捗を把握することにより、授業に対する意識を高め、学生の学修に役立てることを目的として、平成21(2009)年度より従来の優、良、可並びに不可の評価方法に代わるGPA制度を導入した。

GPA=科目の単位数に成績評価グレードポイントを掛けたものの総和を履修登録科目の総単位数で割った数値

評価	成績	判定	GPA	内容
S	100点～90点	合格	4	特に優秀な成績
A	89点～80点	合格	3	優れた成績
B	79点～70点	合格	2	その科目の要求を満たす成績
C	69点～60点	合格	1	合格と認められる最低限の成績
F	59点以下 及び 履修放棄	不合格	0	合格ラインに達していない成績 期間内に履修の手続きを取らなかったもの 出席数不足などで受験資格を喪失したもの
T	単位認定	GAPの 対象外	—	留学や他大学での単位修得（GPに換算しない）
P	成績評価しない	合格/ 不合格	—	合格すれば単位を認定するがGPに換算しない

### GPAの利用

短期大学部ではGPAが低い学生に対し、ゼミ担任あるいはクラス担任によってきめ細かな指導を行っている。現代コミュニケーション学科ではGPAが1.25以下、食物学科では1.3以下で面談を行っている。

### 成績不服の場合

成績通知書を受け取ってから1週間以内に[成績評価に関する不服申立書](所定用紙)に必要な事項を記入のうえ、学務課に提出する制度を設けている。平成21(2009)年度前期成績評価が学生に配布されたあと、この制度を活用した学生は現代コミュニケーション学科では4名、食物学科では0名であった。担当教科の教員はその内容を把握し、各学生に文書または面談により評価判定の理由を説明している。

**(2) 学科長等がそれぞれの学科について、単位認定の方法、単位の取得状況及び担当教員による評価の現状についてどのように受け止めているかを記述して下さい。**

#### [現代コミュニケーション学科]

平成20(2008)年度より『履修要項・講義内容』に「評価の方法・基準」を記載することが徹底され、期末試験の成績のみによるのではなく、提出課題、出席状況、受講態度等を総合的に判断して評価することが教員・学生全体に理解されている。各授業の形態や、各担当教員の判断によって違いが生じることもあるが、評価は適正に行われている。

#### [食物学科]

単位認定方法としては、定期試験だけではなく、授業態度並びに出席状況等を総合的に評価しており、栄養士資格の養成、授業科目の講義内容及び授業形態から考えて、概ね妥当であると考えている。資格養成という観点から、専門科目において定期試験

で不可をとる学生が散見されるが、概ね再試験により合格している事から、ある一定の基準に達していると理解している。

**(3) 学長等は、単位認定の方法、単位の取得状況及び担当教員による評価の現状について、短期大学全体の状況をどのように受け止めているかを記述して下さい。**

昨年度から導入した GPA 制度により、きめ細やかな評価が可能となり、その結果が現われている。全体的には、総合的な評価のあり方はバランスがとれており、また、講義、演習、実習科目でのそれらの使い分けにもおおむね良好である。

なお、今後さらに、評価分布のバランスに対する配慮や、成績評価の基準について教員の共通認識を深めるなどの改善の余地もある。

また、学生の学習意欲や学力の向上に向けて、授業内容や展開の工夫を図る方向で、FD などを通して教員側の努力を促す方を講じていく。

◆添付資料 4 『履修要項・講義内容 2010』 p.12・13

◇参考資料 11 「学生による授業改善のためのアンケート」

**【授業に対する学生の満足度について】**

**(1) 各授業について、終了後に「学生の満足度」の調査を実施していればその調査の概要を記述して下さい。また調査票の様式等を訪問調査の際にご準備下さい。**

学生がどれだけ授業に関心を持ち、理解しているか現状を把握するために、平成 21(2009)年度はすべての専任教員が担当科目すべてについて「学生による授業改善のためのアンケート」(調査票の様式は訪問時に提示)を実施した。このアンケートには、「授業の進め方は丁寧で、わかりやすかったと思うか」「教員は学生の質問に適切に対応、回答していると思うか」「学生の私語が多いとき、教員が注意したか」など教員の教え方に関する問いが 9 問設けられている。アンケート集計後は、アンケート結果が個々の教員に戻される。教員はアンケート集計結果を分析し、来年度の授業に向けて反省すべき点、改善すべき点などをまとめて学務課にレポートを提出し、よりよい授業を行う努力をしている。

教員の報告書を通して全体的に共通している点は一方向的な授業にならないよう、学生とのコミュニケーションを重視していることである。学生の理解が足りないと思うときには教員が繰り返し説明したり、ポイントをまとめるなどして、学生が授業への関心を失わないように配慮している。また学生の満足が得られるよう、各教員は 1 年ごとに個々の授業を見直し、マンネリにならないよう新たな気持ちで臨んでいる。

**(2) 担当教員が授業終了後の学生の満足度に配慮しているかについて、学科長等が現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。**

**[短期大学部]**

本学では、毎年卒業生対象に卒業時の 3 月に大学生活に関するアンケートを実施し、総合的観点から、授業、学校生活、友人関係、就職などにおいて満足度が高まるよう

に配慮している。

#### [現代コミュニケーション学科]

「学生による授業改善のためのアンケート」の結果は、各授業担当者に報告され、授業担当者の授業改善のために活用されている。それ以外にも、授業担当者は総じて学生からのさまざまな意見をよく聴いており、学生の満足度を上げるための努力はよくなされている。

#### [食物学科]

担任、科目担当教員並びに非常勤講師と学生とのやり取りを通して、学生の満足度について、間接的ながら各担当教員が情報収集を行っている。また、科目によっては、授業の開始と終了時にアンケートを取り、学生の率直な意見を聞く試みを始めている。今後、満足度調査を継続的に実施していく。

### **(3) 学長等は短期大学全体の現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。**

各年度、前後期にわたり、継続的に実施している「授業改善のためのアンケート」結果は、教員の授業改善のために活用されるだけでなく、その結果が授業に反映され、学生の教員に対する満足度を高めるうえで大きく機能している。

学生による授業アンケートは、総じて比較的良好な授業評価が認められるが、さらなる授業改善を求める点も随所に見られるので、この点については一層の努力が必要となる。

個々の授業担当教員は、アンケートの評価項目ごとの学生による回答結果を踏まえ、授業の進行を工夫しつつ、学生の満足に向けて授業展開に努め、学生の満足度形成に大いに貢献している。

◇参考資料 11 「学生による授業改善のためのアンケート」

◇参考資料 31 「学生生活に関する卒業生アンケート」

**【退学、休学、留年等の状況について】**

**(1) 過去3ヶ年（平成19年度～21年度）の退学、休学、留年等の数を、次の表を例にして学科等ごとに記載し、学科等の状況を明らかにして下さい。**

現代コミュニケーション学科の退学者等一覧表 (平成22年3月31日現在)

区分	19年度入学	20年度入学	21年度入学	備考
入学者数	71人	85人	88人	
うち退学者数	4人	8人	5人	
うち休学者数	2人	0人	0人	
休学者のうちの復学者数	2人	0人	0人	
うち留年者数	5人	4人	0人	
卒業生数	62人	77人		

食物学科の退学者等一覧表 (平成22年3月31日現在)

区分	19年度入学	20年度入学	21年度入学	備考
入学者数	64人	47人	33人	
うち退学者数	0人	3人	1人	
うち休学者数	0人	1人	0人	
休学者のうちの復学者数	0人	0人	0人	
うち留年者数	0人	0人	0人	
卒業生数	64人	43人		

**(2) 退学者の退学理由割合、退学理由の最近の傾向及び退学者、休学者（復学者を含む）及び留年生に対する指導（ケア）の現状について学科等ごとに記述して下さい。**

現代コミュニケーション学科

理由	19年度	20年度	21年度
成績不良(意欲低下)	0人	1人	0人
進路変更(進学)	1人	0人	2人
進路変更(就職)	0人	1人	0人
経済的事情	1人	5人	3人
健康上	1人	0人	0人
その他(結婚など)	1人	1人	0人
計	4人	8人	5人

**[現代コミュニケーション学科]**

平成20(2008)年度から「経済的事情」によって退学するケースが見られるようになった点が顕著である。「進路変更」による退学者は、進学、就職とも以前から見られたが、過去5年程度で見ると減少傾向にある。全体的にも退学者は減少傾向にあり、「経済的事情」によって在学が困難になったケースには保護者への面接を行い、対応している。

## 食物学科

理由	19年度	20年度	21年度
成績不良(意欲低下)	0人	0人	0人
進路変更(進学)	0人	0人	0人
進路変更(就職)	0人	1人	1人
経済的事情	0人	2人	0人
健康上	0人	0人	0人
その他(結婚など)	0人	1人	0人
計	0人	4人	1人

### [食物学科]

退学者は、平成 19（2007）年度はなく、平成 20（2008）年度は、就職、進路変更、経済的な理由による 3 名、平成 21（2009）年度は、1 名となっている。休学者は、平成 19（2007）年度はなく、平成 20（2008）年度に、一身上の都合による 1 名となっている。休学者については、担任が連絡をとり、ケアに努めている。また、留年者を出さないように、担任並びに教務委員がケアに努めており、過去 5 年間は留年者を出していない。

### (3) 退学、休学、留年等の現状を、学科長等がどのように受け止めているかを学科等ごとに記述して下さい。

#### [現代コミュニケーション学科]

退学、休学、留年とも、担任が窓口になり、丁寧に対応しており、最小限の数に引き止めていると認識している。留年した学生の中で、退学に傾きかけていた気持ちを、励まししながら、卒業にまで持って行った事例が何件かあった。

#### [食物学科]

退学・休学・留年にかかわる指導は主としてクラス担任が窓口となり、学生一人一人に対してきめ細やかな指導を行っており、退学、休学及び留年のいずれにおいても、非常に少ないと認識している。

### (4) 学長等は、短期大学全体の現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

退学者を減少させることは短期大学部にとって重要な課題である。現状でも努力はしているが、個々の学生の指導に、より一層力を注ぐことが必要である。留年者についても、本人の不注意で単位数が卒業要件を満たさないようなケースについて、担当教員がより細かく継続的に指導するなどの対策を進め、効果を上げている。

## 【資格取得の取組みについて】

(1) 《Ⅱ 教育の内容》の【教育課程について】(3)で報告頂いた取得が可能な免許・資格、また教育課程とは別に取得の機会を設けている免許・資格の取得状況(取得をめざした学生数、取得者数、取得割合等)を学科等ごとに示して下さい。

### 〔現代コミュニケーション学科〕

現代コミュニケーション学科では、専門教育科目に4つのステージを配置し、それぞれのステージ(ユニットを各2つずつ設定)において、具体的な資格や検定試験が取得・受験できるようカリキュラムを組んでいる。さらに、専門教育科目の基幹科目においても、例えば、「日本語コミュニケーションⅡA」では、漢字検定2級を目指すため、漢字検定2級の問題に取り組む等、勉学の目標を具体的に見据えられるよう配慮している科目も少なくない。

#### 免許・資格の取得状況一覧

現代コミュニケーション学科	19年度			20年度			21年度		
卒業生数	62人			77人			77人		
資格・免許	希望者	取得者	取得割合	希望者	取得者	取得割合	希望者	取得者	取得割合
日商PC検定(Word)3級	9人	7人	77.8%	14人	11人	78.6%	10人	7人	70.0%
メンタルヘルスマネジメントⅢ種	48人	26人	54.2%	20人	10人	50.0%	10人	5人	50.0%
医療事務認定試験	11人	2人	18.2%	22人	6人	27.3%	21人	2人	9.5%
色彩検定	24人	21人	87.5%	27人	24人	88.9%	30人	23人	76.7%
メイクアップ技術検定4級	13人	7人	53.9%	15人	12人	80.0%	7人	5人	71.4%
ネイルスペシャリスト技能検定A級	8人	5人	62.5%	5人	5人	100.0%	9人	5人	55.6%
ファッションビジネス能力検定3級	0人	0人	0.0%	13人	4人	30.8%	2人	2人	100.0%
アシスタント・ブライダル・コーディネート	0人	0人	0.0%	7人	2人	28.6%	5人	1人	20.0%

\*平成22(2010)年度より「お茶インストラクター検定」の資格認定を支援する「お茶アドバイザー」の科目を導入した。

### 〔食物学科〕

食物学科では、専門教育科目を必修科目、選択科目並びに展開科目に分けて配置している。栄養士資格については、厚生労働省から栄養士養成施設として認可されており、栄養士資格取得に必要な科目を配置している。フードスペシャリスト認定資格受験資格取得に関する科目として18科目及びフードサイエンティスト認定取得に関する科目17科目を食物学科専門教育科目の中に配置し、栄養士資格とともにフードスペシャリスト受験資格あるいはフードサイエンティスト認定資格を同時に取得できるように配慮されている。

#### 免許・資格の取得状況一覧

食物学科	19年度			20年度			21年度		
卒業生数	56人			66人			43人		
資格・免許	希望者	取得者	取得割合	希望者	取得者	取得割合	希望者	取得者	取得割合
栄養士	56人	54人	96.4%	66人	56人	84.4%	40人	38人	95.0%

\*平成22(2010)年度よりフードスペシャリスト・フードサイエンティストの資格認定を導入した。



**(2) 今後導入を検討している免許・資格があれば記述して下さい。**

**[現代コミュニケーション学科]**

フィナンシャルアドバイザー検定

**[食物学科]**

現在のところ、導入を検討している免許・資格なし。

◆添付資料 4 『履修要項・講義内容 2010』 p.22

◇参考資料 16 現代コミュニケーション学科リーフレット

◇参考資料 17 食物学科リーフレット

**【学生による卒業後の評価、卒業生に対する評価について】**

**(1) 学科等ごとに専門就職(当該学科等で学習した分野に関連する就職)の状況(専門就職数、割合等)について記述して下さい。また学科等ごとに専門就職先からの卒業生に対する評価について何か文書や資料があれば参考資料として準備して下さい。**

**[現代コミュニケーション学科]**

現代コミュニケーション学科		19年度		20年度		21年度	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
ビジネス・マネジメント・ステージ	金融	2	5.7	1	2.4	1	2.6
ヒューマン・ヘルスケア・ステージ	医療事務	1	2.9	2	4.9	3	7.7
コンシェルジュ・ステージ	客室乗務員	0	0	0	0	0	0
	空港地上職	0	0	2	4.8	0	0
	ホテル	2	5.7	3	7.3	2	5.1
	旅行会社	3	8.6	0	0	0	0
アート・コーディネーター・ステージ	結婚式場	0	0	0	0	1	2.6
その他		27	77.1	33	83.0	32	82.1

選択する学生の多いユニットはビジネス・ユニットとマネジメント・ユニットであるが、就職先としても企業の事務職が多いので、その点では専門就職数は多い。その他のユニットでも、学習分野と関連した就職をしている卒業生はいるが、ユニットによっては専門就職の比率があまり高くないものもある。

## [食物学科]

食物学科		19年度		20年度		21年度	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
栄養士	病院	1	2.1	2	3.7	3	8.3
	給食センター	4	8.5	0	0	0	0
	学校	0	0	1	1.8	0	0
	保育園	4	8.5	8	14.8	4	11.1
	企業	15	31.9	5	9.3	4	11.1
	受託業者	11	23.4	21	38.9	13	36.1
	老人ホーム	2	4.3	0	0	2	5.6
その他		10	21.3	17	31.5	10	27.8

ほとんどの学生が栄養士免許を取得して卒業をしている。栄養士資格を生かした専門職先としては、食品関連企業、受託業者並びに保育園に就職する傾向が見受けられる。専門就職先の評価については、校外実習巡回の折りに、施設長や現場の栄養士から直接話を聞く機会があるが、全体的に良い評価を得ている。

**(2) 卒業生に対する就職先(専門就職に限らない)及びその他の進路先(編入先等)からの評価をどのように受け止めているかについて、短期大学全体については学長等が、学科等については学科長等が記述して下さい。**

## [短大全体]

短期大学部として、就職先からの評価はおおむね高い。毎年一定数の採用が続いている企業があることも、そのことを示している。編入先としては、静岡英和学院大学人間社会学科への編入が人数も一番多く、かつ同じキャンパスで授業を履修しているが、おおむね勉学の成績もよく、よい成果を上げている。

## [現代コミュニケーション学科]

厳密な意味での専門就職はごく少数だが、ビジネス・マネジメント・ステージは、一般事務職への就職を想定したステージであり、本学科の卒業生は、事務職への就職がほとんどであるので、実質的には、学んだステージを生かした就職をしている。

## [食物学科]

主として、静岡県内で採用されている。栄養士として勤務する態度は多くのところで高い評価を得ている。また、栄養士資格を生かした専門職へ就職後3年を経て管理栄養士資格を目指して、管理栄養士国家試験を受験する者もあり、年数名ではあるが合格している。食物学科では、卒業生を対象とした管理栄養士国家試験準備講座を毎年実施し、卒業生に対するサポートも行っている。

**(3) 卒業生に対して「学生時代についてのアンケート（卒業後評価等）」等を実施している場合はその概要とその結果を記述して下さい。また教育の実績や効果を確認するための卒業生との接触、同窓会等との連携等を行っている場合もその取組みの概要と結果について記述して下さい。**

卒業生に対しては実施していないが、同窓会総会等に大学の学長などが参加し、卒業生の声を積極的に取り入れている。なお、平成22（2010）年度からは同窓会会長が食物学科の教員として在校生の指導にあたっている。

**(4) 卒業生が社会からどのように評価されているか、学科長等、学長等は現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。**

**[短大全体]**

静岡英和女学院は静岡の女子教育において確固たる地位を占めている存在である。本短期大学部についても、創設以来 40 年を超える歴史があり、その間有為の人材を多く送り出してきた。卒業生は地域社会から信頼され、またその働きを期待されている。

短期大学開学以来、数多くの卒業生を輩出してきたが、2 代目、3 代目の息女、姉妹で入学していることも本学の実績が認められている証であると認識している。

**[現代コミュニケーション学科]**

現代コミュニケーション学科の卒業生に対する社会からの評価は、静岡市において 120 年の長きにわたり女子教育に努めてきた静岡英和女学院の伝統、その伝統の上に昭和 42（1967）年以来短期大学教育を行ってきた静岡英和女学院短期大学の歴史と結びついたものであろう。さらに現在は、その伝統にさらに新しい色合いを加える存在として、一生の職業を求める女子のための教育機関としての本学科の教育内容がよく理解されてきている。コミュニケーション能力と実務能力の養成という本学科の教育目標とともに、卒業生も一定の評価を得ている。

**[食物学科]**

食物学科では昭和 44（1969）年の開設当初より栄養士養成施設として厚生省（現厚生労働省）から認可されており、静岡県内における施設、病院並びに保育園等の第一線で活躍している卒業生も多く、幅広い分野で地域に貢献できている。また、毎年継続して採用して頂いている企業等もあり、卒業生が評価されている。

◇参考資料 4 『静岡英和女学院百年史』 p. 859～p. 885

◇参考資料 31 「学生生活に関する卒業生アンケート」

**【特記事項について】**

**(1) この《IV教育目標の達成度と教育の効果》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、教育目標の達成度と教育の効果について努力していることがあれば記述して下さい。**

現代コミュニケーション学科では1年次の「プレゼンテーション演習」の授業において、学生全員にレポートを書かせ、それをパワーポイントにまとめプレゼンテーションさせている。さらに各ゼミでプレゼンテーションがもっとも良くできていた学生を1名選び、プレゼンテーション・コンテストを行っている。最優秀者には図書券と賞状が与えられる。これは教育目標がどれだけ達成されたかを見る上で大変有意義なものとなっている。

食物学科では「給食管理実習Ⅱ」において、5月末から6月中旬まで毎週火曜日と金曜日、食券を全教職員、全学生に販売している。献立作成はもとより、調理、食券販売まですべて学生が行っている。また料理を食べ終わった人々から、食事の量、味、彩りなどについてアンケートを取り、今後の調理に対する反省材料としている。この給食実習は食物学科の学生に実践的な勉強となるだけでなく、全教職員、全学生が食物学科の学生の研究成果を知る上でとても良い機会となっている。

**(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。**

特になし。

## 《V学生支援の記述及び資料等について》

### 【入学に関する支援について】

**(1) 入学志願者に対し、短期大学は建学の精神・教育理念や設置学科等の教育目的・教育目標、求める学生像をどのような方法、手段で明示しているかを記述して下さい。なおそれらが記載されている短期大学案内等の印刷物を添付して下さい。**

本短期大学部の建学の精神、教育の理念は「愛と奉仕の精神」に集約され、『大学案内パンフレット』p.34において学長が分かりやすく明記している。教育方針は、①キリスト教精神に基づく人間教育 ②小規模ながら個性をもった大学 ③地域社会に貢献する大学 ④学問研究・教育の一本化と明記されている。

望ましい学生像については、『大学案内パンフレット』短期大学部の現代コミュニケーション学科についてはp.12・13、食物学科についてはp.22・23に両学科毎の特色を明記し、授業や短大生活の望ましい典型を例示し、入学者が短大生活のイメージを具体的に持つことができるように配慮している。

なお、同じ内容について、本学のホームページでも公開している。

さらに平成22(2010)年度より、短期大学部の3つのポリシーを公開するようにしている。

**(2) 入学志願者に対し、入学者選抜の方針、選抜方法（推薦、一般、AO入試等）をどのような方法、手段で明示しているかその概要を簡潔に記述して下さい。なおそれらが記載されている募集要項等の印刷物を参考資料としてご準備下さい。**

選抜方法が多様なため、『入学試験要項』p.1に表形式でそれぞれの選抜名を明記し、わかりやすいように配慮している。

それぞれの選抜方法について、出願資格の記述の中で、それぞれの方針が読み取れるようにしているが、特に、自己推薦（面談型）入学試験には趣旨と教育理念、スカラシップ選考については趣旨の項目を立て、それらを明記することとした。

入学試験要項については、まず現役高校生を対象とした試験の要項と、帰国子女・社会人・留学生のための特別入学試験の要項を、混同されないよう分冊とし、表紙の色も変えている。現役高校生を対象とした試験については、指定校推薦、公募推薦、自己推薦面談型、一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験の5種類について、それぞれの特徴や試験内容、日程等がわかりやすいように記述している。

なお、同じ内容について、本学のホームページでも公開している。

**(3) 広報及び入試事務についての体制（組織等）の概要を記述して下さい。また入学志願者、受験生等からの問い合わせにはどのような体制で応じているかを記述して下さい。**

広報及び入試事務に関しては、入試広報委員会が組織され、担当事務は入試・広報課が行っている。また、広報に関しては、学院本部とも連携をとりながら学院全体、大学・短期大学部の広報業務を行っている。

受験生の問い合わせに対する対応は、選抜方法多様化の中、大変な業務ではあるが、入試・広報課では手分けして対応している。

なお、地区ごとに高等学校からの問い合わせ等に直接対応するためにベテランの嘱託を配置し、高等学校との連絡を密にしている。

**(4) 願書受付から合否通知にいたる入学試験の流れについて、選抜方法ごとにその概要を記述して下さい。また多様な選抜を公正かつ正確に実施しているかどうか、入試事務の責任者は現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。入学願書等を参考資料としてご準備下さい。**

指定校推薦、公募推薦、一般入学試験（A日程、B日程、C日程）、スカラシップ選考（A、B）、大学入試センター試験利用入学試験、特別入学試験（帰国子女・社会人・留学生）については、願書受付、試験、合否通知という流れで行われる。自己推薦（面談型）については、説明会、本面談、出願許可判定、最終面接、合否通知という流れで行われる。

このように、選抜方法は多様化しているが、各学科で精査した後、全学の各責任者が集まり、大学・短期大学部合同で、他の学科の教員が参加する選抜の是非が検討されている。さらに、大学、短期大学部それぞれの教授会を経るという3度の討議・検討を経て選抜されており、不公正や不正確の問題は生じていない。

**(5) 合格者もしくは入学手続き者に対し、入学までの間、授業や学生生活についてどのような方法、手段で情報の提供を行っているかを記述して下さい。なおそのための印刷物等があれば参考資料としてご準備下さい。**

入学手続き者には、新入学に向けての資料を送付し、入学までの間に心構えができるように配慮している。本学は地方の短期大学部であり、大半の受験生が、入学試験以前に、オープンキャンパス、一日体験入学、学校訪問・見学、説明会への来訪など、何らかの形で、本学にアクセスしている上に、インターネットでホームページを閲覧している。また、高等学校の教諭や、先輩、母、親戚、姉等から本学について聞いている学生も少なくない。

**(6) 入学後（入学直前を含む）、入学者に対して行っている学業や学生生活のためのオリエンテーション等の概要を示して下さい。**

入学者に対しては、毎年、オリエンテーション期間を設けて、『履修内容・講義内容』、『キャンパスガイド』を用いて学科の内容、授業の履修方法や内容、学生生活上の諸注意、奨学金の説明、サークル紹介等が行われる。平成21（2009）年度の初めには、静岡県警より講師を招き、薬物汚染の恐ろしさについての講演を実施した。このように、その時節に必要な諸問題に対する啓発活動も行っている。

さらに、スチューデント・リトリートを場所を移して行い、学生同士の交流の機会を提供しつつ、短期大学生活への心構えを醸成させるようにしている。

詳しくは、『キャンパスガイド』に記載されている。

- ◆添付資料 2 『大学案内 2011』パンフレット
- ◆添付資料 3 『キャンパスガイド 2010』
- ◇参考資料 32 『入学試験要項 2011』
- ◇参考資料 33 『募集要項・入学願書 2011』
- ◇参考資料 34 各課からの資料

### 【学習支援について】

#### **（１）入学時もしくは学期ごとに行っている学習や科目選択のためのガイダンス等の概要を示して下さい。**

本学では前期後期の2学期制をとっているが、前期と後期の初めに、学科ごとにオリエンテーション期間を設け、授業の履修方法や授業の内容について詳しく説明している。

特に、新入生に対しては、入学後に、数日間かけて、それぞれの学科の授業の仕組みや内容を丁寧に説明している。その後、質問の時間も多くとり、毎年、各教員に種々の細かな質問がなされている。

#### **（２）学習や科目選択のための印刷物（学生便覧等を除く）があれば参考資料としてご準備下さい。**

#### **（３）基礎学力不足の学生に対し補習授業等の取組みを行っている場合は、その概要を記述してください。**

両学科とも、ほぼ毎週開催される学科会において、問題を抱えている学生の報告があり、それについての対策等が話し合われるが、そこで、基礎学力が不足する学生についての報告も行われる。全体的なカリキュラムよりは、個々の科目が、それぞれの資格に直接結びついているため、両学科とも、別立ての補習授業ではなく、簡単な課題を与えたり、できなかった小テストを再び行うなどの工夫により対処している。それらについても、個別に行うのではなく、学科に報告、調整しながら行っている。

#### **（４）学生の学習上の問題、悩み等に対し指導助言のための取組みや体制があれば記述して下さい。**

現代コミュニケーション学科ではゼミ、食物学科ではクラスを単位とする授業が設定されていて、担任教員に相談がしやすいように配慮している。電子メールをとおして相談をうけることもある。

それらについて、学科会で、学生のプライバシーに配慮しつつ報告し合い、対応の不均衡がないよう努めている。精神的な問題や家庭の問題を抱えていて、単に叱責すれば良いというケースは減少し、より個別且つデリケートな対応を要する学生が増えている。

必要な場合には、学務課とも連携し、兼任講師も含めた担当教員にも対応をお願い

する場合もある。

**(5) 進度の早い学生や優秀学生に対する学習上の配慮や学習支援を行ってれば、記述して下さい。**

現代コミュニケーション学科では、英語の能力が優秀な学生に対して、2年次の専門演習で、英語クラスへ入ることを勧めていて、大半はそのゼミに所属する。

食物学科では、高校において理科科目を学習していない学生を対象にした総合学習科目である「基礎科学Ⅰ」、「基礎科学Ⅱ」並びに「基礎科学Ⅲ」をカリキュラムの中に設置している。既に高校において、学習済みの学生においては、これら科目の中で、発展問題を課題として示し、さらなる学習効果を高めるための支援を行っている。

両学科とも、優秀な学生に対しては、インターンシップを勧めたり、より難しい課題に挑戦させるなどしている。また、学内外の行事への参加等も勧めている。

- ◆添付資料 3 『キャンパスガイド 2010』
- ◆添付資料 4 『履修要項・講義内容 2010』
- ◇参考資料 7 現代コミュニケーション学科 履修登録指導用プリント (2年)
- ◇参考資料 8 現代コミュニケーション学科 履修登録指導用プリント (1年)
- ◇参考資料 9 食物学科 履修登録指導用プリント (2年)
- ◇参考資料 10 食物学科 履修登録指導用プリント (1年)

**【学生生活支援体制について】**

**(1) 学生生活を支援するための組織や体制（教員組織、事務組織のいずれも）の現状を示して下さい。**

短期大学部のみの学生委員会もあり、そこで、短期大学部の学生の諸問題を扱うが、規模の比較的小さな学院であるので、学生委員会は4年制の学生委員会と合同で開催することも多い。大学ならびに短期大学部全体で見た方が、学生の生活支援が的確に行われると判断しているためである。学務課に関しても、特に4年制・短大部と担当を分けているわけではない。学内・学外生活の学生指導や厚生補導に関しては、市内の各大学と定期的に会合を持ち、警察の協力も得て、学生が犯罪に巻き込まれた事例（詐欺、性犯罪など）や交通事故、薬物汚染、新型インフルエンザへの対応など、その年度に応じた情報を交換している。

それに基づき、また本学独自の問題を適宜あげながら、上記の問題や学内のマナー（挨拶、ゴミ、喫煙、授業態度、違法駐車）について、教職員が協力して、指導したり、マナー強化月間を設けるなどして対策に取り組んでいる。



(2) クラブ活動の現状、学友会の現状、学園行事(学園祭、短大祭等)の実施の状況を、その指導体制及び学生の活動状況を含めて記述して下さい。

平成21年度クラブ一覧

	クラブ名	部員数 (短大)	主な活動内容
1	バスケットボール部	4	練習・対外試合・合宿等
2	バレーボール部	7	練習・対外試合・合宿等
3	サッカー部	0	練習・対外試合・合宿等
4	バドミントン部	4	練習・対外試合等
5	硬式テニス部	1	練習・対外試合・合宿等
6	弓道部	1	練習・大会参加等
7	ダンスサークル	7	練習・合宿・施設訪問・イベント参加等
8	卓球部	3	練習・文化祭出店等
9	プラ	0	アウトドアを主とし、各種レクリエーションを通して親睦を深める
10	女子フットサル	2	練習・対外試合・合宿等
11	ソフトテニス	0	練習・対外試合
12	スポーツ愛好会	8	スポーツ各種を楽しむ
13	I♡S(エス)	4	サーフィン・スノーボードの練習・合宿等
14	軽音楽部	3	練習・定期演奏会等
15	吹奏楽団	5	練習・施設訪問等
16	日本文化部(茶道)	0	茶道の稽古
17	日本文化部(華道)	2	稽古・学園祭展示・合宿
18	日本文化部(箏曲)	1	練習・施設演奏・合宿等
19	イラストサークル	3	イラスト冊子作成・展示
20	PHOTOキャラメル	1	個々の撮影活動・写真展出展
21	メイプルHand's	1	手話の練習・ボランティア参加
22	文芸工房筆先	0	文芸活動・楓祭での本の配布
23	ミリュウ	0	学内の古紙回収
24	カラフルパンチ	0	練習・各種施設でのコンサート・パネルシアター等
25	超常現象研究会	1	UFO・UMAなどの調査・レポート作成
*26	チーズ	0	各種イベント開催(フリーマーケット等)
*27	書道同好会	0	練習・書の作品作り・古典勉強
人数合計		58	

(注) 複数の団体へ所属する者あり  
(注) 人数が0のクラブは短大生の所属なし  
(注) \*は同好会

楓祭の実施状況

回	年度	実施日	テーマ
44	平成21(2009)	11/7・8	ENJOY
43	平成20(2008)	11/8・9	smile
42	平成19(2007)	11/10・11	freedom
41	平成18(2006)	11/4・5	TRY 新たなる想い
40	平成17(2005)	11/5・6	JOY
39	平成16(2004)	11/6・7	キョウ 楓祭

クラブ活動(本学では「サークル活動」)は、同じ敷地内の4年制の学生と混在して行っているため、短期大学部独自のサークルはない。

4年制が設置される前は、テニスサークルと日本文化関係(茶道など)のサークルが細細と行われているにすぎなかったが、平成14(2002)年度に4年制が開設され、4年制に男子も入学するようになって一気に盛んになり、その中から、県内で有名になったボランティアバンドのコンソメWパンチなども生まれた。全体的には、主体は

4年制の学生ではあるが、ここ数年、短期大学部の学生も、音楽関係やダンスサークルなどに積極的に参加するようになってきている。

本学では、学友会を通じて、各サークルに活動費を分配している。また、平成20(2008)年12月に竣工した新校舎の地下2階を中心に、サークル室を提供している。

学生が主体的に参画する学園行事は、学友会活動と楓祭(大学祭)だが、学務課において、これらの諸活動について、的確に報告を受け、また、介入しすぎないようにしながら種々の相談に乗っている。教員も、学生委員会内で担当を決め、大学・短期大学部とも担当教員を中心に、相談に乗る等の対処をしている。

**(3) 学生の休息のための施設・空間、保健室、食堂、売店の設置の概要について記述して下さい。なお訪問調査の際にご案内いただきます。**

平成20(2008)年12月に新校舎が竣工し、その1階のフロア全体を学生が自由に使える場所として提供したが、整然と使われており、談笑したり、パソコンを使って調べものをしたりする学生が多い。それまでは、授業の空き時間に学生の居場所が少なかったが、新校舎建築により、それは解消された。

保健室は、旧校舎の1階学生ホールの奥にあり、行きやすくかつ比較的静かな場所を確保している。

適応	19年度	20年度	21年度
応急処置			
内科的症状	43人	33人	34人
外科的症状	15人	11人	17人
その他：精神的・居場所・婦人科	59人	33人	78人
合計	117人	77人	129人

食堂は新校舎の地下1階全体である。テレビを2台設置し、学生が現在のニュース等も見られるようにしている。料金は近隣の大学の食堂より安く設定している。

売店は、旧校舎の食堂の厨房を利用し、食堂の椅子等はそのままにしてあるので、売店で買った軽食等を食べたり、学生が談話したりするなど、食堂とは別に、学生の新たな休息場所になっている。以前にあった売店に比べて明るく広い空間が隣接しているので学生には好評である。その他、コンピュータ室、図書館とも、学生の勉学に適した状態を保つように配慮している。

**(4) 短期大学が設置する学生寮の状況、下宿・アパート等の宿舍の斡旋の体制、通学のための便宜(通学バスの運行、駐輪場・駐車場の設置等)の概要を示して下さい。**

本学の学生のほとんどは、静岡県内出身者で、自宅通学者がほとんどである。留学生は、本学入学前に日本語学校に通学していて、その時に借りたアパートに引き続き住んでおり、本学に入学する時に、転居してくる留学生は少ない。

学生寮は、県内の通学の不便な所からの学生用のもので、以前は比較的利用されて

いたが、このところ入居者が少なく、平成 22（2010）年度をもって閉鎖することとなった。本学を挟むように、静岡大学と静岡県立大学があり、両者は県外からの学生も比較的多く、近隣には学生用のアパートが多く存在する。

通学に関しては、静鉄電車の県総合運動場駅からは徒歩 25 分ほど要し、女子のみの短期大学時代（昭和 41（1966）～平成 13（2001）年度）には、人通りが少ないこともあり、静鉄電車は利用しにくかった。通学バスの少なさは、以前は大きな問題であったが、JR 東静岡駅ができてから、そこから発着するバスができ、静鉄ジャストラインバスの本数の少なさも改善された。JR 東静岡駅から本学まで徒歩では 30～40 分ほどかかるが、平成 14（2002）年度に男女共学の 4 年制大学が開設されてから、帰りは友人と徒歩で JR 東静岡駅まで歩く学生も見られる。

学生には、障害がある場合等を除いて、車での通学は認めていないが、バイクは許可制で認めている。学内にバイク置き場を確保し、保険に加入することが許可の条件である。

駐輪場も学内及び学外近くに設置している。

**（5）平成 21 年度の日本学生支援機構等の外部奨学金の取得状況を記述して下さい。また短期大学独自の奨学金等があればその概要を記述して下さい。**

奨学金	学科	19年度	20年度	21年度
日本学生支援機構奨学金	現代コミュニケーション	20人	26人	24人
	食物	27人	36人	25人
静岡英和学院大学短期大学部奨学金	現代コミュニケーション	2人	2人	2人
	食物	2人	2人	2人
私費外国人留学生授業料減免制度	現代コミュニケーション	14人	17人	20人
スカラシップ生（授業料全額）	現代コミュニケーション	2人	1人	2人
	食物	1人	1人	1人
スカラシップ生（授業料半額）	現代コミュニケーション	2人	2人	1人
	食物	2人	4人	3人

入学時に、日本学生支援機構の奨学金について、学生に説明し、高校時より継続している学生、新規申込の学生について、それぞれ対応している。また、緊急に必要な学生についても、日本学生支援機構では対応しているので、それについて、各学科の学生委員を通じて広報している。

他に、留学生については、県をはじめ、何点かの奨学金の募集があるので、その都度、広報し、学生を選抜している。

本学独自の奨学金制度もあり、短期大学部の場合は、一年時の成績や、活動状況、家庭の経済状況等を考慮し、各学科 2 名について、奨学金として、授業料の半額を授与している。それらの学生は、一日体験入学やオープンキャンパス等で活躍してもらっている。

**(6) 学生の健康管理、メンタルケアやカウンセリングの体制の概要を示して下さい。**

本学の保健室は、身体のみならず、精神的な問題を抱えている学生が訪れる。看護師の資格を持つ職員が常駐し、気軽な相談等も行っている。校医も指定している。

平成14(2002)年度に4年制が開設されたが、その完成年度頃から、学生のメンタルケアやカウンセリングの必要性を痛感し、本学の心理学担当の教員数名が、対応していた。しかし、よりしっかりした体制をとるために、学外より専門の相談員(臨床心理士)を招き、当初は月曜と金曜、その後変更し、火曜と金曜の昼を中心とした時間帯に、予約制で行っている。学生相談室という名称である。相談はほぼ満杯の状態である。守秘義務があるので、相談員とは、頻繁には話し合いは行っていないが、生命の危険のある場合には、連絡してもらおうようにしている。現在のところは、そのような相談例はない。

学生相談室は、楓会館2階に部屋を確保し、静かな環境で学生が相談できるように配慮している。

1年に1度は学務課に、概要の報告がなされている。

**(7) 学生支援のために学生個々の情報等を記録していれば、それらはどのように保管・保護されているかを記述して下さい。**

入学時に提出された学生記録簿は厳重に保管している。担任が、学生の保護者宅に電話する場合も、学務課において、必要な部分のみ閲覧し、プライバシーの保護に配慮している。

◆添付資料3 『キャンパスガイド 2010』

◇参考資料35 「学生記録簿」

**【進路支援について】**

**(1) 下の進路状況表を例に、過去3ヶ年(平成19年度～21年度)の就職状況を学科等ごとに記載して下さい。また進路一覧表等の印刷物があれば参考資料としてご準備下さい。**

平成19年度～21年度 現代コミュニケーション学科の進路状況表 (各年3月31日現在)

区分	19年度		20年度		21年度	
a 卒業者数	53人		62人		77人	
b 就職希望者数 (b/a)	43人	81.1%	46人	74.2%	50人	64.9%
c うち学校で斡旋した就職者数 (c/b)	18人	41.9%	15人	32.6%	18人	36.0%
d うち自己開拓分の就職者数 (d/b)	17人	39.5%	26人	56.5%	21人	42.0%
e 就職未定者 (e/b)	8人	18.6%	5人	10.9%	11人	22.0%
f 進学・留学希望者数 (f/a)	6人	11.3%	7人	11.3%	7人	9.1%
g その他 (g/a)	4人	7.5%	9人	14.5%	20人	26.0%

平成19年度～21年度 食物学科の進路状況表

(各年3月31日現在)

区分	19年度		20年度		21年度	
	a 卒業者数	56人		66人		43人
b 就職希望者数 (b/a)	49人	87.5%	59人	89.4%	40人	93.0%
c うち学校で斡旋した就職者数 (c/b)	32人	65.3%	35人	59.3%	25人	62.5%
d うち自己開拓分の就職者数 (d/b)	15人	30.6%	19人	32.2%	11人	27.5%
e 就職未定者 (e/b)	2人	4.1%	5人	8.5%	4人	10.0%
f 進学・留学希望者数 (f/a)	2人	3.6%	2人	3.0%	1人	2.3%
g その他 (g/a)	5人	8.9%	5人	7.6%	2人	4.7%

**(2) 学生の就職を支援する組織や体制(教員組織、事務組織のいずれも)の現状を記述して下さい。**

就職センターから名称変更したキャリア支援課を中心に、各学科の就職委員が、各学科の状況を把握して、全学的にまとめた活動をしている。就職委員会は、大学・短期大学部を別個に開くのではなく、全学の状況を知るために、定期的に必ず合同で行っている。

それぞれに性格の異なる学科として、短期大学部では、現代コミュニケーション学科と食物学科では、就職先や就職のピーク時が異なる。それぞれの学科会で、ゼミやクラス毎の状況を把握し、キャリア支援課と連携して、学生の就職のサポートができるような体制をとっているし、問題点はその都度改善するようにしている。

なお、理事会の責任者も交えた就職対策特別委員会を定期的で開催し、学院全体として、就職の底上げに力を入れている。

**(3) 就職支援室、就職資料室等の現状を示し、学生にどのように就職情報等を提供しているかを記述して下さい。**

上記のように、キャリア支援課が設置され、そこに情報が集約される。またこれまでの資料もそこに保管され、閲覧できる。そして、キャリア支援課には、求人情報が掲示され、個々の学生に適した求人を個別に紹介する場合もある。

近年は、大学を通さず、インターネットによるエントリーを行う企業も増えてきた。その場合でも、適切なエントリーの方法を指導している。

学科ごとに就職委員がキャリア支援課からの情報を即座にゼミ・クラス担任にメール等で連絡し、それを学生に伝達することも行っている。

**(4) 過去3ケ年(平成19年度～21年度)の就職状況について、就職率及び就職先を学長等、学科長等はどのように受け止めているかを記述して下さい。**

**【短大全体】**

短期大学部全体としては全国平均並みの就職率である。平成20(2008)年度には、秋口にリーマン・ショックによる世界同時不況があり、大学・短大・高校卒業予定者の就職内定率が大幅に下がった。現代コミュニケーション学科もその影響を強く受け、前年の内定率を下回った。翌平成21(2009)年度にも景気回復とはならず、内定率もさらに下がった。反対に食物学科は、栄養士資格を生かした就職には一定数の求人があり、不況時にも堅調という特徴がよく出ている。しかし現代コミュニケーション学科については不況の問題に加えて、全体に就職希望者が減少傾向にあるなど、就職についての意識づけに改善

の余地があり、その面での学科の努力が必要である。また就職先についても、従来の事務職の門戸が狭まりつつあり、さらに開拓を進めていく必要がある。

#### [現代コミュニケーション学科]

長引く不況の中では健闘した数値である。

就職に対する意識の低い学生が毎年一定数存在することは事実だが、学科とキャリア支援課と連絡を密にして、学生と連絡をとったり、学生を励ましたりしながら、当初は就職活動をする気のなかった学生を就職へと導く努力を、教職員が連携して行っている。

平成 21 (2009) 年度には、未定者や「その他」の人数が増加しているが、初期の段階からアルバイトで充分としていた学生、就職を希望していると言いながら全く活動しなかった学生、進学や日本での就職を希望しなかった留学生がそれぞれ増加したためである。また、精神的問題や家庭の問題を抱えて、就職には至らなかった事例も何件か存在した。

今後は学生の就職意識を高めていくことが課題となり、そのための方策を検討している。

#### [食物学科]

卒業後、管理栄養士資格取得を目指して進学を希望する学生に対しては、担任が中心となって個別相談や学習指導を行っている。進路実績においては、栄養士資格を生かして、保育園及び委託業者に就職する学生が多く見受けられる。更に、卒業生を対象とした管理栄養士国家試験受験準備講座を毎年実施して、卒業後の資格取得の支援を行っている。

<b>(5) 過去3ヶ年(平成19年度～21年度)の進学(四年制大学、専門学校等)及び海外留学の実績についてその支援はどのような方法、体制で行ったかを記述して下さい。</b>
---

現代コミュニケーション学科からの進学は、以前に比べて減少傾向である。それは、4年制大学が初めから入りやすくなり、4年制志望の受験生は、初めから4年制大学に行ってしまう傾向があるからであろう。現在の進学を中心は留学生になっている。ゼミ担任より、その学生の進学の方角性を引き出すために面接等を行い、的確な方向性を探る支援を行っている。

食物学科は年に1、2名が、4年制大学や専門学校等に進学している。ごく少数であるので、クラス担任が面接を重ねて対応している。

また、進学・編入説明会は、学務課で主催して毎年2回行っている。各大学からの指定校推薦の一覧も掲示し、担任が、学生の志望を把握し、適切に指導を行っている。

留学に関しては、静岡英和女学院短期大学時代以来の、カナダバンクーバー神学院との提携に加え、同じくカナダのオンタリオ州にあるウォータールー大学セントポールズ・ユニバーシティ・カレッジとの提携が、平成 21 (2009) 年 6 月 2 日に提携された。

留学に関しては、国際交流委員会が中心となって進めている。

◆添付資料 2 『大学案内 2011』

◇参考資料 36 「就職先一覧」

### 【多様な学生に対する支援について】

(1) 過去3ヶ年(平成19年度～21年度)の留学生・社会人・帰国子女・障害者・長期履修学生・科目等履修生の受け入れ状況を示し、その学習支援、生活支援はそれぞれどのような方法、体制で行っているかを記述して下さい。なお、学生数はいずれの年度も5月1日時点とします。

#### 多様な学生の受け入れ状況

現代コミュニケーション学科

(各年5月1日現在)

種別	19年度	20年度	21年度	計
留学生(人)	14	19	21	54
社会人(人)	0	0	0	0
帰国子女(人)	0	0	0	0
障害者(人)	0	0	0	0
長期履修学生(人)	-	-	-	-
科目等履修生(人)	0	0	0	0

食物学科

種別	19年度	20年度	21年度	計
留学生(人)	0	0	0	0
社会人(人)	3	3	2	8
帰国子女(人)	0	0	0	0
障害者(人)	0	0	0	0
長期履修学生(人)	0	0	0	0
科目等履修生(人)	2	1	2	5

(平成21(2009)年度)

#### 社会人の定義

以下のいずれかに該当する者で社会人としての経験を有し、平成21(2009)年4月1日までに短期大学部は満21歳に達している者。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者、および平成21(2009)年3月卒業見込みの者。
- ② 特別支援学校の高等部又は高等専門学校3年次を修了した者、および平成21(2009)年3月卒業見込みの者。
- ③ 外国において、学校教育および国際的な評価団体の認定を受けた外国人学校における12年の課程を修了した者、および平成21(2009)年3月修了見込みの者。
- ④ 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者、および平成21(2009)年3月合格見込みの者。
- ⑤ 我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校を修了した者、および平成21(2009)年3月修了見込みの者。
- ⑥ 高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了した者、および平成21(2009)年3月修了見込みの者。
- ⑦ 指定された専修学校の高等課程を修了した者、および平成21(2009)年3月修了見込みの者。
- ⑧ 国際バカロレア、アビトウア、バカロレアなど、外国の大学入学資格の保有者。
- ⑨ 高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者、および平成21(2009)年3月合格見込みの者。
- ⑩ 大学において個別の入学資格審査により認められた者。

#### 帰国子女の定義

1. 外国において、その教育課程に基づく高等学校段階で最終学年を含めて2年以上継続して在籍し、かつ平成21(2009)年3月末までに卒業見込みの者、または卒業後1年未満の者。(日本の高等学校を含む)
2. 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を平成21(2009)年3月末までに修了見込みの者、または修了後1年未満の者。
3. 国際バカロレア資格を平成19(2007)年または平成20(2008)年に取得し、平成21(2009)年3月末までに年齢満18歳に達する者。

学務課に担当者を置き、入国管理局と連絡を取り合ったり、留学生の相談に乗っている。担当の各学科の学生委員も各学科の留学生の状況を把握するよう努めている。

近年、食物学科には留学生はほとんどないが、現代コミュニケーション学科には全体の1割強の留学生が入っている。留学生に対しては、英語必修の代わりに、「日本語Ⅰ」と「日本語Ⅱ」という科目を置き、日本語力を伸ばせるよう、カリキュラム上でも配慮している。短期大学部では、入学時に日本語能力試験が一定以上の基準であることを必須条件としているため、極端に日本語能力の低い学生は入学してくることはないが、多少、能力的に不安な留学生もいるため、学科会において、情報を交換し合い、かみくだいて説明したり、質問を受けたり、担任が話をするなどして対処している。

外国人留学生の授業料等については減免する制度を設けている。

昨年度まで、学生にはパソコン購入を義務づけていたが、留学生で購入が困難な学生には貸し出す制度も行われていた。生活面については、アルバイト等で生活費や学費をまかなっている留学生もみられる。

学務課の担当職員や担任が、気を配り、様子を聞くなどしている。

現代コミュニケーション学科は、現在のユニット制を敷いて以来、社会人学生は入学していない。それ以前には、中高年にあたる年齢の学生が数名在籍していた。そのうち1名は、英語の学習に難儀しており、英語担当の教員が助言や援助するなど、個別に対応した。それ以外の科目については、特に社会人学生が学習困難という事例はない。ユニット制以前の社会人学生については、その他の学生へのよい刺激となっていた。

食物学科では、栄養士の資格を得るため、社会人学生が若干名入学する年度がある。年齢がさほど高くない学生であるため、特に学習に支障をきたしたという話を聞かない。むしろ、目的意識が高く、周囲の学生の学習意欲に良い影響を与えているように見受けられる。

両学科とも帰国子女は現在のところ入学者がいない。

静岡英和女学院短期大学の時代（昭和41（1966）～平成13（2001）年）の最後の頃に、国文学科に、極度に視力が弱く、目の前の大きな活字程度しか見えない学生が志願し、学内で、障害者の受入れについて種々検討されたことがあった。

さらに、平成14（2002）年度に短期大学部と同じキャンパス内に人間社会学科と地域福祉学科（4年制）が開設され、手すりが設置されたり、難聴の学生に対するノートテイク制度が確立されるなど整備された。

短期大学部単独ではなく、4年制大学・短期大学部一体の大学であるため、福祉の支援体制は整っているうえに、さらに改善が図られ、暗い地下通路を明るくしたりするなどの整備が行われている。

現在のところ、短期大学部の在学年限の4年の年限を超える履修期間の学生を受け入れる制度にはなっていない。

留学生・社会人で留年した学生については、学務課と教務委員が中心となり、学生の出席状況を随時把握し、必要があれば、本人や保護者に連絡する体制をとっている。



また、各学科において、ほぼ毎週開催される学科会において、留年した学生も含めて、欠席が多かったり、問題を抱えている学生についての情報交換を行っている。

長期履修制度については、実年の学生を募集する案が提示された時に、検討課題として議論されたことがあるが、現在のところ実現していない。地域貢献ということ掲げ、学生の確保ばかりではなく、生涯教育に寄与するという観点からも、再検討が必要と考える。

科目等履修生は、現代コミュニケーション学科では開設以来入学者がいないが、食物学科では、栄養士に必要な単位を落とした学生の中から、栄養士の資格を取得するため卒業後に科目等履修生として受講する学生が散見される。

### ◆添付資料 3 『キャンパスガイド 2010』

#### 【特記事項について】

**(1) この《V学生支援》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば、学生の個人情報保護への取組み、成績不良者への支援、長期欠席者への援助、学生に対する表彰制度等、学生支援について努力していることがあれば記述して下さい。**

個人情報保護についての規程が制定され、規程の公表方法については『キャンパスガイド』やホームページに公表している。個人情報の管理体制について、成績、住所、電話番号を学務課で一元管理し、ゼミ担当者はその責任において管理している。

成績不良者への支援については、平成 21 (2009) 年度の 1 年生より GPA 制度を導入し、成績不良者の判別がしやすくなった。しかし、そうした数値にのみ頼るのではなく、単に怠惰なのか、健康や精神的な問題を抱えていないか、家庭の状況によるものか、経済的不安によるものか、良く見極めるように努めている。その上で学科の教員や職員の協力も得て、勉学が継続されるよう、対処している。

また、日本学生支援機構では、突発的な経済的困難に対応した募集も行っている旨、学生には伝えている。

長期欠席者に対する援助については、ほぼ毎週開催される学科会において、特に念入りに報告、検討がなされる。必要があれば、本人や保護者と連絡を取り、状況を把握するよう努めている。

学生に対する表彰制度については、各学科の成績最優秀者を卒業式の時に、表彰する制度が、短期大学のみ時代から、初代学長の名を冠した「松本奨学金」後に「松本賞」と改称し、行われている。

4 年制大学が開設された平成 14 (2002) 年度から順次それを整備し、現在は、学問や諸活動に顕著な成果をあげた者に対して、静岡英和学院大学短期大学部賞各学科 1 名の表彰を行っている。また、食物学科においては、全国栄養士養成施設協議会会長表彰を 1 名に対して行っている。

(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点を求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし。

- ◆添付資料 3 『キャンパスガイド 2010』
- ◇参考資料 37 個人情報保護について（本学ホームページ）

《VI研究の記述及び資料等について》

【教員の研究活動全般について】

(1) 次の「専任教員の研究実績表」を例にして 過去3ヶ年（平成19年度～21年度）の専任教員の研究状況を記載し、その成果について記述して下さい。

平成19年度～21年度 専任教員の研究実績表

学科等名	氏名	職名	研究業績				国際的活動の有無	社会的活動の有無	備考
			著作数	論文数	学会等発表数	その他			
現代コミュニケーション学科	柴田 敏	教授	0	2	0	0	無	有	
	小嶋 善行	教授	0	2	0	0	無	有	平成21年度退職
	菊池 みち子	教授	0	0	0	2	有	有	
	大洋 和俊	教授	0	18	3	0	無	有	
	高橋 清隆	教授	0	3	0	0	無	有	
	芦澤 久江	教授	2	2	1	1	無	有	
	磯部 隆	准教授	1	7	3	0	無	有	
	K. M. アイザット	准教授	0	1	0	0	無	無	
	T. C. バンフォード	准教授	0	0	0	0	無	無	平成20年度退職
食物学科	村松 陽治	教授	0	1	0	0	無	無	平成20年度退職
	高木 真基子	教授	0	0	0	0	無	無	平成19年度退職
	堀江 信之	教授	0	1	3	0	無	有	
	久留戸 涼子	准教授	0	8	11	0	無	有	平成20年度退職
	金田 一秀	教授	0	0	0	0	無	有	
	高橋 令子	准教授	0	0	0	0	無	有	
	五藤 泰子	准教授	0	2	0	1	無	有	
	木下 ゆり	講師	0	0	12	3	有	有	

(2) 教員個人の研究活動の状況を公開していれば、その取組みの概要を記述し、公開している印刷物等を訪問調査の際にご準備下さい。

教員個人の研究活動の状況については、各年度の終わりに発行される『静岡英和学院大学・静岡英和学院大学短期大学部紀要』によって公開されてきたが、平成22(2010)年度からはホームページ上で公開することになっている。大学ホームページでは、教員の主な研究分野も公開されている。

**(3) 過去3ヶ年（平成19年度～21年度）の科学研究費補助金の申請・採択等、外部からの研究資金の調達状況（件数）を一覧表にして下さい。**

外部研究資金の申請・採択状況(平成19年度～21年度)

外部資金調達先等	19年度		20年度		21年度	
	申請	採択	申請	採択	申請	採択
科学研究費補助金	1件	0件	1件	0件	2件	1件
その他の外部研究資金 調達先・資金名等	0件	0件	0件	0件	0件	0件

**(4) 学科等ごとのグループ研究や共同研究・短期大学もしくは学科等の教育に係る研究の状況について記述してください。**

現代コミュニケーション学科と食物学科の両学科とも過去2回共同研究が行われ、その成果は、本学紀要に掲載された。

また、それとは別に、参考資料18に示したように、平成21年（2009）年3月7日には、兼任教員との会合において、現代コミュニケーション学科の教員が発題者となり、キャリア教育に関する共同研究が実施された。

食物学科では、平成21年度と平成22年度に、兼任教員と食物学科教職員による説明会を開催し、資格養成に関わる事案に対して、種々議論を行っている。

- ◇参考資料 18 現代コミュニケーション学科共同研究会
- ◇参考資料 20 教員の個人調書
- ◇参考資料 38 「静岡英和学院大学短期大学部研究紀要規程」
- ◇参考資料 39 『紀要』6・7・8号
- ◇参考資料 40 「静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部共同研究規程」
- ◇参考資料 41 「科学研究補助金の採択一覧」

**【研究のための条件について】**

**(1) 研究費（研究旅費を含む）についての支給規程等（年間の支出限度額等が記載されているもの）を整備していれば訪問調査時に拝見します。なお規程等を整備していない場合は、過去3カ年（平成19年度～21年度）の決算書から研究にかかる経費を項目（研究費、研究旅費、研究に係る施設、機器、備品等の整備費、研究に係る図書費等）ごとに抽出し一覧表にして参考資料として準備してください。**

**(2) 教員の研究成果を発表する機会（学内発表、研究紀要・論文集の発行等）の確保について、その概要を説明して下さい。なお過去3ヶ年（平成19年度～21年度）の研究紀要・論文集を訪問調査の際に拝見いたしますのでご準備下さい。**

毎年度4年制の静岡英和学院大学人間社会学部と共同で、『静岡英和学院大学・静岡英和学院大学短期大学部研究紀要』を発行している。

**(3) 教員の研究に係る機器、備品、図書等の整備状況について、平成21年度の決算よりその支出状況を記述して下さい。また訪問調査の際の校舎等案内時に教員の研究に係る機器、備品、図書等の状況を説明して下さい。**

研究に係る機器、備品、図書等の整備状況（平成21年度決算）

機器	1,559千円	
内訳	研究図書・AV資料	566千円
	試薬関係	402千円
	その他消耗品	591千円

本学では、平成21年度研究費を教員1人あたり360,000円（個人研究費225,000円、研究旅費135,000円）支給し、研究のための物品購入等に充てている。

平成21年度の研究費決算は3,295,258円（個人研究費2,251,718円、研究旅費1,043,540円）である。

静岡英和女学院経理規定により5万円以上の物品を備品計上しているが、研究費で購入した書籍については金額にかかわらず、すべて消耗品扱いとしている。その決算額は1,559千円であった。

**(4) 教員の教員室、研究室または研修室、実験室等の状況を記述して下さい。なお訪問調査の際に研究室等をご案内願います。**

職員室、研究室、研修室、実験室等の状況

名称	室数	面積
研究室	13室	169.5 m <sup>2</sup>
合同研究室	1室	35.8 m <sup>2</sup>
実験実習室	11室	754.7 m <sup>2</sup>

専任教員の研究室は、図書館2階および南館にあり、1部屋約13.0 m<sup>2</sup>あり個人研究・学生指導・オフィスアワー等で使用されている。インターネット環境も整備されている。

**(5) 教員の研修日等、研究時間の確保の状況について記述して下さい。**

教員には週1日の研究日が与えられている。研究日にはなるべく授業を配置しないようにし、研究時間を確保するように配慮している。

- ◇参考資料 38 「静岡英和学院大学短期大学部研究紀要規程」
- ◇参考資料 39 『紀要』6・7・8号
- ◇参考資料 42 「研究費経費一覧」
- ◇参考資料 43 「個人研究費取扱要領第8条」

**【特記事項について】**

**(1) この《VI研究》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、教員の研究について努力していることがあれば記述して下さい。**

平成 19 年度は 1 件採択され、総額 215,392 円、平成 20 年度は 2 件採択され、総額 500,582 円が交付された。平成 19 年度の代表者は大洋和俊教授、平成 20 年度の代表者は、大洋和俊教授、柴田敏教授である。

**(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。**

特になし。

◇参考資料 40 「静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部共同研究規程」

## 《Ⅶ社会的活動》の記述及び資料等について

### 【社会的活動（国際的活動は別項で記述）への取組みについて】

**（１） 社会的活動への取組みについて、その理念や方針等、教育・研究における位置づけについて、短期大学ではどのように考え、また今後どのように取組む予定かを記述して下さい。**

本学は建学の精神としてキリスト教を掲げ、社会的活動を「愛と奉仕の実践」として重視している。また、社会的活動は、そこで展開するさまざまな人間関係や生活体験をとおして、学生の豊かな人間性の涵養と人格の形成を図ることに主眼を置いて、積極的に取り組むべきものと位置づけ、活動を支援している。

また大学のもつ人的、物質資源を活用した社会的活動、即ち、教員の専門的知識や能力を生かした社会的活動や、大学の施設等の物質資源を活用した社会的活動をとおして地域社会との連携を図り、また地域への貢献をすることを本学の重要な役割・使命としている。

**（２） 社会人受け入れの状況について、生涯学習の観点から短期大学では社会人の受け入れを今後どのように考えているかを記述して下さい。**

本学では、特別入学試験の中の社会人入試を実施し、社会人を受け入れている。入学した社会人は社会を経験した学生として、他の学生と交流し、良い影響を与えている。なお、高齢化時代における生涯学習の観点から、満60歳に達しているシニア対象の社会人入試もあわせて実施している。

**（３） 過去3ヶ年（平成19年度～21年度）に短期大学が行った地域社会に向けた公開講座、生涯学習授業、正規授業の開放等の実施状況を記述して下さい。**

本学では開学以来、大学との共催の形で、公開講座を行っている。毎年、春季・秋季の2回、生涯学習の場を提供とし、市民の関心のあるテーマを、本学の教員の研究テーマに基づく視点から解説している。受講者は年間で延べ600人ほど[平成21(2009)年度の実績]になり、好評を得ている。

過去3ヶ年の公開講座の実施状況

				平成19(2007)年度
名称	回	実施日	参加人数	タイトル
2007年度前期公開講座 〈テーマ：豊かに生きる〉	第1回	6月2日(土)	45	障がいの理解
	第2回	6月9日(土)	24	音楽を感じて身体を動かしてみよう。
	第3回	6月16日(土)	51	歌舞伎の醍醐味 お軽勘平のものがたり -忠臣蔵にみる日本人の精神史-
	第4回	6月23日(土)	49	絵を見て考える教育学
	第5回	6月30日(土)	59	生まれる前の話
	第6回	7月7日(土)	42	ホームページの作成からアップまで ~解説と実演~
2007年度後期公開講座 〈テーマ：豊かに生きる〉	第1回	10月6日(土)	44	マンガを通して民法を見る
	第2回	10月20日(土)	55	変わり者と呼ばないで! -発達障害を持つ人たちの理解と支援-
	第3回	10月27日(土)	40	「里」という思想 -見失われた社会軸を求めて-
	第4回	11月17日(土)	67	食べ物と食べ方から健康を考える
	第5回	11月24日(土)	38	英単語のしくみ -形態論から視る語彙の成りたち-
	特別野外講座	10月13日(土)	45	富士山西麓をたどる

名称	回	実施日	参加人数	タイトル
2008年度前期公開講座 〈テーマ：生活と健康〉	第1回	6月 7日 (土)	69	生活に運動が必要なわけ
	第2回	6月14日 (土)	92	人生の午後とこころの発達 -心理テストを通して見る自分-
	第3回	6月21日 (土)	74	心のエネルギーとコミュニケーション
	第4回	6月28日 (土)	88	時間とコミュニケーション
	第5回	7月 5日 (土)	69	ライフステージに沿った食と健康
	第6回	7月12日 (土)	61	病院との上手なつき合い方
2008年度後期公開講座 〈テーマ：現代社会とモラル〉	第1回	10月 4日 (土)	59	現代社会におけるモラルと言語 -日本語学的知見を教育にいかす-
	第2回	10月18日 (土)	44	科学者はなぜ複数比較をするのか？ -科学的研究モラルの基本-
	第3回	10月25日 (土)	69	残虐行為の心理学-非人間化について-
	第4回	11月 1日 (土)	40	モラルを守らせる存在としての消費者とは？
	第5回	11月22日 (土)	38	食のモラル-食品偽装と外国産食品問題-
	特別野外講座	10月11日 (土)	40	第1級の日本文化を旅する

名称	回	実施日	参加人数	タイトル
2009年度公開講座 (春期) 〈テーマ：「家族」について考える〉	第1回	5月23日 (土)	56	バッハとその一族の音楽
	第2回	5月30日 (土)	59	家族とは何か
	第3回	6月 6日 (土)	54	「ごめんなさい」と「ありがとう」が言いあえる家族関係を大切に
	第4回	6月13日 (土)	58	社会学からみる現代の家族
	第5回	6月20日 (土)	53	コミュニティ音楽療法(ミニワークショップ)
	第6回	6月27日 (土)	29	番外・英語の話し
2009年度公開講座 (秋季) 〈テーマ：人生を「楽しむ」ヒント〉	第1回	9月26日 (土)	43	「ヘリクツ」のすすめ-法学入門-
	第2回	10月 3日 (土)	43	文学の豊かさを楽しむために
	第3回	10月10日 (土)	36	英語を楽しむ-「マイフェアレディ」を英語学的な視点で-
	第4回	10月17日 (土)	71	赤ちゃんと高齢者の「みる」世界
	第5回	10月31日 (土)	58	男子厨房に入ろう
特別野外講座	10月24日 (土)	20	江戸の旅人と街道観光	

**(4) 過去3ヶ年(平成19年度～21年度)の短期大学と地域社会(自治体、商工業、教育機関、その他団体等)との交流、連携等の活動について記述して下さい。**

本学の教員が、有識者の立場から地域社会(自治体、商工業、教育機関、その他団体等)の場で、講師あるいは委員として次ページの表に示す活動を行ってきた。

なお、現代コミュニケーション学科では、平成22(2010)年4月20日に、静岡県中小企業家同友会を訪問し、今後の産学連携に向けて、具体的な話し合いの場が持たれた。

また、本学では、研究活動を通じた地域の産業との協働をはじめ、大学のもつ人的・物質的資源の地元への貢献や還元などを目的にして、「地域協働推進機構」の委員会を設置している。規約の4項目に次のような事業を企画実施することが定められている。

- 1) 地域社会の形成及び地域活性化と学生の活動参加を推進する事業
- 2) 本学教員の専門性を根底に、学生参加を含む、地域総合相談を推進する事業
- 3) 高まる地域学習活動の実現を、学生の参加のもとに推進する事業
- 4) その他、推進機構が必要と認める事業

以上の事業は、併設の大学と共同で平成20(2008)年から開始されているが、本学短期大学部としては、事業は申請がなく行っていない。

それ以外にも静岡県と連携し、「学術フォーラム」の企画を行い、地域との連携をはかっている。



平成19年度 講師派遣等の実施について

短大	派遣者	派遣日	依頼元	内容
1	大洋 和俊	4/13～7/27	独立法人静岡大学学長	日本の古典文学に関する講師
2	河野 真人	11/26	静岡県私立短期大学協会	第14回静岡県私立短期大学体育大会 第3回実行委員会への職員
3	鍋谷 照	11/26	静岡県私立短期大学協会	第14回静岡県私立短期大学体育大会 第4回実行委員会への職員
4	木下 ゆり	7/18～7/20	国立保健医療科学院・疫学部	研究の遂行
5	高橋 令子	8/1～10/31	静岡市教育委員会	附属機関委員
6	磯部 隆	9/7～11/9	浜松市立五島公民館長 高橋 敦夫	ヒューマンセミナー「コーチングの心理学」講師
7	磯部 隆	7/7・8/4	NPO法人 静岡家庭教育 サポート協会	「心理カウンセリング基礎講座」講師
8	磯部 隆	10/15・ 10/22・ 11/12・ 11/26・ 12/10・	株式会社 静岡新聞社 静岡放送株式会社 SBS学苑長 松井 純	「やさしいカウンセリング心理学」講座の 講師
9	高橋 令子	4/1～ (H21)	静岡市教育委員会	静岡市立学校給食センター運営協議会 附 属機関委員
10	木下 ゆり	2/28・2/29	国立保健医療科学院・疫学部	「食事バランスに関する教室」講師
11	木下 ゆり	(H20) 2/18	岐阜県東白川村長	国保ヘルスアップ事業保健指導にかかる会 議及び講師
12	木下 ゆり	(H20) 1/24・1/25	岩手県東磐井郡藤沢町藤沢 字町裏 藤沢町長 島山 博	「平成19年度国保ヘルスアップ事業の保 健指導」講師

平成20年度 講師派遣等の実施について

短大	派遣者	派遣日	依頼元	内容
1	大洋 和俊	4/14～7/28	独立法人静岡大学学長	日本の古典文学に関する講師
2	磯部 隆	4/29	日本選択理論心理学会 研修 委員長	一日研修会「ポジティブ心理学と選択理 論」講師
3	磯部 隆	4/24	社会福祉法人浜松いのちの 電話	第23期生相談員養成講座「思春期と青年期 の心の問題」講師
4	高橋 清隆	11/7・ (H21) 1/16	静岡済生会看護専門学校 校 長	平成21年度入学試験問題作成および採点 (国語(現代文)、推薦入試と一般入試)
5	高橋 令子	5/19～9/26	静岡市教育委員会	静岡市安東幼保園給食業務委託業者選考委 員会委員
6	高橋 清隆	11/1～ (H21) 1/31	静岡県済生会看護専門学校 校長	入学試験委員会委員
7	木下 ゆり	6/9	国立保健医療科学院疫学部 部長	保健指導に関する派遣
8	磯部 隆	8/2	NPO法人静岡家庭教育サポ ート協会 理事長	心理カウンセリング講座講師
9	磯部 隆	6/15	日本論理療法学会 会長	学会総会講演会「グラッサー博士の選択理 論心理学」講師
10	木下 ゆり	7/7	東京都北区健康福祉部健康 いきがい課長	喫煙による健康被害についての講演(北区 立神谷中学校1年生)
11	高橋 令子	6/1～ (H21) 3/31	静岡市長 小嶋善吉	静岡市立南部学校給食センター建替整備等 事業者選定審査会委員
12	木下 ゆり	7/18～19	国立保健医療科学院 疫学部 部長	「特定保健指導従事者研修会」講師
13	磯部 隆	10/6～11/24	株式会社柳原新開店エムズ 事業部	「静岡県立浜松大平台高校生涯学習講座平 成20年度秋講座心理学講座」講師
14	高橋 令子	9/5	社会福祉法人 愛育会 小百 合キッズホーム 園長	「小百合キッズホーム保護者対象の食育 研修会」講師
15	木下 ゆり	8/19～21	国立保健医療科学院疫学部 部長	保健指導に関する派遣(岩手県東磐井郡藤 沢町)
16	五藤 泰子	8/21～22	高知県老人福祉施設協議会 会長	「第57回四国老人福祉施設関係者研究大会 第3研究部会」講師・助言者
17	五藤 泰子	9/26	西豆地域教育研究協議会 会 長	「平成20年度西豆地区幼保小中高PTA合同 研修会」講師
18	木下 ゆり	11/22	(社)北方圏センター帯広 国際センター 館長	平成20年度JICA(集団)「健康と栄養改善の ための女性指導者研修」講師
19	木下 ゆり	12/22	東京都北区健康福祉部健康 いきがい課長	喫煙による健康被害についての講演(北区 立神谷中学校1年生)
20	高橋 清隆	(H21) 3/1～ 3/31	静岡済生会看護専門学校 校 長	入学試験委員会委員

平成21年度 講師派遣等の実施について

短大	派遣者	派遣日	依頼元	内容
1	磯部 隆	4/1～ (H22)3/31	学校法人ミズモト学園 理事長	科目「カウンセリングと人間関係Ⅰ・Ⅱ」非常勤講師
2	大洋 和俊	4/13～7/27	独立法人静岡大学学長	日本の古典文学に関する講師
3	磯部 隆	6/13	日本学校教育相談学会静岡 県支部 理事長	「平成21年度第1回研究大会」講師
4	木下 ゆり	6/21～22	山口大学医学部長	研究協力者として打ち合わせ及び宇部市の 行うたばこ対策研修会準備会議への参加
5	高橋 令子	7/1～ (H22)3/31	静岡市教育委員会	静岡市学校給食センター給食調理等業務委 託業者選考委員会委員
6	堀江 信之	8/29	静岡市長 小嶋善吉	静岡市と市内各大学のリレー講演会「静岡 を学ぶ」第6回講師
7	磯部 隆	11/14	NPO法人静岡家庭教育サポ ート協会 理事長	県民運動推進モデル事業講座「子どもと関 係を築くコミュニケーション講座」講師
8	木下 ゆり	8/26～27	山口大学医学部地域医療学	研究協力者として打ち合わせ及び宇部市の 行うたばこ対策研修会に講師として参加
9	高橋 清隆	10/29・ (H22)1/8	静岡済生会看護専門学校 校長	平成22年度入学試験問題作成及び採点
10	高橋 清隆	10/1～ (H22)1/31	静岡済生会看護専門学校 校長	入学試験委員会委員
11	磯部 隆	10/22	静岡県立天竜林業高等学校 校長	「平成21年度第2回校内職員研修会」講師
12	金田 一秀	11/7	清見潟セミナー	食の安心と安全 ～食品偽装と外国産食品 問題～
13	木下 ゆり	11/21	(社)北方圏センター帯広 国際センター館長	平成21年度JICA(集団)「健康と栄養改善の ための女性指導者研修」講師
14	木下 ゆり	12/21	東京都北区健康福祉部健康 いきがい課長	喫煙による健康被害についての講演(北区 立桐ヶ丘中学校1年生)
15	木下 ゆり	12/21	東京都北区健康福祉部健康 いきがい課長	喫煙による健康被害についての講演(北区 立堀船中学校1年生)
16	木下 ゆり	(H22)3/4	東京都北区健康福祉部健康 いきがい課長	喫煙による健康被害についての講演(北区 立稲付中学校3年生)

- ◆添付資料 5 社会人受入れについての印刷物『2011年度特別入学試験要項』
- ◆添付資料 6 『公開講座のパンフレット』(3年分)
- ◆添付資料 7 『学術フォーラム』
- ◆添付資料 8 高校への模擬授業、模擬面接実施一覧
- ◇参考資料 44 「地域協働推進機構規約」

【学生の社会的活動について】

(1) 過去3ヶ年(平成19年度～21年度)の学生による地域活動、地域貢献あるいはボランティア活動等社会的活動の状況を記述して下さい。

平成19年(2007)年度

No	活動先・活動団体名等	活動内容	人数	活動日
1	特別養護老人ホームつばさ	夏祭り手伝い	1(4)	7/21
2	介護老人保健施設こみに	納涼祭手伝い	2(2)	8/23
3	双子サークル ツインキッズ	プール遊び協力	3(5)	8/8
4	国際障害者技能五輪	会場案内、選手団付きアシスタント等	3(9)	11/14～18
5	しずおか精神障害者スポーツ交流会	運営補助	1(1)	11/2
6	福祉教育・ボランティア学習学会	学会開催時の運営協力	1(21)	11/24
7	静岡医療福祉センター児童部	クリスマス会運営手伝い	1(3)	12/15
8	めぶき寮	知的障がい者生活寮家事支援	2(2)	12月
9	グリーンボランティア	保育園での花の植栽活動	1(5)	2/28
10	ダウン症児の将来を考える会	「春の合宿」運営協力	1(8)	3/29・30
11	コンソメW パンチ	施設・イベント等での音楽交流	2(16)	通年
12	キャッチ	障がい児のリハビリ活動	2(13)	通年
13	ファイト	障がい児余暇支援活動	2(9)	通年
14	メイプルペアレンツ	国際里親・教育費支援	1(14)	通年

平成20年(2008)年度

No	活動先・活動団体名等	活動内容	人数	活動日
1	トレイルウォーカー	国際支援チャリティイベント協力	1(15)	5/17・18
2	里親連合会	総会での託児	1(8)	6/1
3	静岡県赤十字血液センター	献血キャンペーン手伝い	1(3)	7/6
4	ダウン症児の将来を考える会	総会での会場案内	2(7)	7/6
5	24時間テレビ	チャリティ募金街頭キャンペーン	1(12)	8/30
6	静岡海辺づくりの会	海岸清掃	4(5)	9/27
7	ハピネス!!プロジェクト	子育て支援イベント協力	3(8)	10/11・12
8	ダウン症児の将来を考える会	遠足付き添い	1(4)	11/23
9	ありんこの里をつくる会	聴覚障がい児との交流	3(6)	通年
10	いるかの会	知的障がい児水泳教室手伝い	2(4)	通年
11	絵本を贈る会	アジアの国に絵本を贈る活動	5(11)	通年
12	グリーンボランティア	花の植栽活動	3(12)	通年
13	コンソメW パンチ	施設・イベント等での音楽交流	2(20)	通年
14	特別養護老人ホーム登呂の家	日中活動手伝い	1(2)	通年
15	ファイト	知的障がい児余暇活動	1(10)	通年
16	メイプルペアレンツ	国際里親・教育費支援	1(11)	通年

平成21（2009）年度

No	活動先・活動団体名等	活動内容	人数	活動日
1	沼津のぞみの里	知的障害者施設行事の手伝い	1(10)	4/29
2	チャリティラン	障がい者啓発イベント協力	1(6)	5/5
3	里親連合会	研修会会場での託児	2(2)	6/6
4	ゆりかご保育園	夕涼み会手伝い	2(6)	7/18
5	24時間TV	チャリティ募金街頭キャンペーン	1(4)	8/30
6	静岡県障害者スポーツ協会	障害者スポーツイベント協力	1(4)	9/6
7	静岡県中央児童相談所	研修会会場での託児	1(1)	9/6
8	英和ECO大作戦	地域清掃活動	2(30)	10/17
9	国民文化祭	文化芸術イベント協力	2(7)	10/24～11/1
10	日本文化庁箏曲部	施設での琴演奏会	1(1)	11/26
11	パパママ応援団	子育て支援イベント協力	2(2)	3/14
12	外国人のための無料健康相談と検診会	外国人支援活動協力	2(2)	11/15
13	トレイルウォーカー	国際支援チャリティイベント協力	1(9)	地域
14	グリーンボランティア	花の植栽活動	1(9)	通年
15	特別養護老人ホーム登呂の家	日中活動支援	1(1)	通年
16	絵本を贈る会	アジアの国に絵本を贈る活動	2(12)	通年
17	ありんこの里をつくる会	聴覚障がい児との交流	1(4)	通年

\*人数については延べ人数（実動人数）

**（２） 短期大学では学生の地域活動、地域貢献あるいはボランティア活動等についてどのように考え、どのように評価しているか記述して下さい。**

本学では、建学の精神および教育目標によって、地域社会における自主的・主体的なボランティア活動参加促進を図っており、ボランティア活動は地域社会への貢献と共に、学生の学び・成長においても必要である。

現在ボランティア活動は、一部の限られた学生の参加にとどまりがちであり、また単発的な活動への参加が中心となっているが、今後はより多くの学生の参加に繋がる情報提供や具体的なプログラムを検討するとともに、学びを深められるような学科の特性を活かした魅力ある活動をしていく。

◇参考資料 45 ボランティア関係資料

**【国際交流・協力への取組みについて】**

**（１） 過去3ケ年（平成19年度～21年度）の学生の海外教育機関等への派遣（留学〈長期・短期〉を含む）の状況を記述して下さい。**

	派遣先	19年度	20年度	21年度
現代コミュニケーション学科	バンクーバー 神学院	3名	1名	0名
	セントポールズ・ユニバーシティカレッジ	0名	0名	0名
食物学科	バンクーバー 神学院	0名	0名	0名
	セントポールズ・ユニバーシティカレッジ	0名	0名	0名
計		3名	1名	0名

\*セントポールズ・ユニバーシティカレッジは平成21（2009）年度から、開始した。

本学は、カナダのバンクーバー神学院と、キリスト教信仰に基づく相互の友好を深め、教育上および学術上の交流を行うため、平成 4（1992）年から協定を行っている。平成 19（2007）年に現代コミュニケーション 3 名、平成 20（2008）年に 1 名が参加した。また、平成 21（2009）年からは新たにカナダのウォータールー大学セントポールズ・ユニバーシティカレッジとも協定を結んだが、平成 21（2009）年度は希望者がいなかった。

**（2） 過去 3 ヶ年（平成 19 年度～ 21 年度）の短期大学と海外教育機関等との交流の状況を記述して下さい。**

特に交流していない。

**（3） 過去 3 ヶ年（平成 19 年度～ 21 年度）の教職員の留学、海外派遣、国際会議出席等の状況を記述して下さい。**

平成 20（2008）年度まで、カナダバンクーバー神学院への留学プログラムのために本学の現代コミュニケーション学科の准教授 1 名を現地に駐在させて、本学からの学生のカナダでの学習及び生活全般に対して支援を行っていた。

◇参考資料 15 『日本ーカナダ研修プログラム』

**【特記事項について】**

**（1） この《Ⅶ社会的活動》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば高大連携等の他の教育機関との連携、外国人への日本語教育等、社会的活動について努力していることがあれば記述して下さい。**

静岡英和女学院高等学校との高大連携授業として、「キリスト教文学」（高校 3 年生向け選択授業、週 1 日 2 コマ）に短期大学部から講師を派遣している。

**（2） 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。**

特になし。

◇参考資料 46 高大連携関係資料『英和生のガイダンスノート』

## 《Ⅷ管理運営》の記述及び資料等について

### 【法人組織の管理運営体制について】

**(1) 短期大学を設置する法人のトップである理事長は、短期大学の運営に対して適切にリーダーシップを発揮しているか、また短期大学に係る重要事項はどのような流れで決定し、その流れのなかで理事長はどのように関与しているかを、できれば理事長自身が率直に現状を記述して下さい。**

本学は昭和 42 (1967) 年に設置され、10 数年間は運営も順調であったが、時代が変わるにつれ、4 年制大学への移行が必要となってきた。しかしながら旧教職員の処遇問題があって移行が遅れ、平成 14 年になってようやく、短期大学部を残す形で 4 年制大学の設置となった。前理事長、前事務局長のこれまでの短期大学部の運営に関わる体制では、大学事務局との情報交換が主であったと思われる。

今年度から理事長、学長が交代し、短期大学部の運営については改革が必要であると痛感している。学部の教授陣の意見を聴取することも重要であるが、理事長、学長としてはもっと大局的見地からの運営について検討すべきである。今年度からは現場の意見をふまえ、常任理事会（毎月 1 回）で短期大学部のあり方について集中的に再検討し、理事会（年 6～7 回）に諮り、中・長期的計画の立案、計画実施に踏み出したと考えている。

(2) 過去3ヶ年(平成19年度～21年度)の理事会の開催状況(主な議案、理事の出席状況等を含む)を下表を例に開催日順に記述して下さい。加えて理事会についての寄附行為上の規定を記述して下さい。平成22年5月1日現在の理事・監事・評議員名簿等を準備し、理事の構成に著しい偏りがないことをお示し下さい。また理事会議録は必要に応じて閲覧いたします。

①理事会開催状況

(平成19年度～21年度)

年	月	日	主な議案	出席者数	定数
19	5	24	平成18年度決算の認定 平成19年度補正予算 役員等の選任	12	15
	12	13	大学新校舎建設資金の借入金について	10	15
20	3	21	平成19年度補正予算 平成20年度予算 大学・短期大学部の学則変更	13	15
	5	22	平成19年度決算の認定 平成20年度補正予算 役員等の選任	12	15
	10	20	大学新校舎建設資金の借入金について	12	15
21	3	16	平成20年度補正予算 平成21年度予算 大学・短期大学部の学則変更	11	15
	4	27	学長の辞任の承認について	10	15
	5	25	平成20年度決算の認定 平成21年度補正予算 役員等の選任	9	14
	7	13	平成21年度補正予算	12	14
	10	16	学長の選任について	12	14
	12	14	寄附行為の一部変更	12	14
22	2	24	理事長の辞任の承認について 理事長の選任	12	15
	3	19	寄附行為の一部変更 役員等の選任 大学・短期大学部の学則変更	13	15
	3	30	平成21年度補正予算 平成22年度予算	12	15

②理事会についての寄附行為上の規程

第3章 役員および理事会

(役員等)

第5条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 15人乃至16人

(2) 監事 2人

2 この法人の役員は、キリスト教の信徒であり、かつ、第3条に規定する目的を達成するに適した者でなければならない。ただし、第6条第1項第2号および第6号により選任される理事は、キリスト教の信徒に限らない。

3 理事のうち1人を理事長とし、理事総数の過半数の議決により選任する。理事長の職を解任するときも、同様とする。

4 理事長の任期は4年とする。

5 院長は、理事会において選任する。

6 理事長を補佐するため、常任理事若干名をおくことができる。

(理事の選任)

第6条 理事は、この各号に掲げる者とする。

(1) 院長およびこの法人が設置する学校の長であるもの 2人乃至3人

(2) 法人事務局の事務局長 1人

(3) 在日キリスト教宣教師および日本基督教団の教職で、この法人の評議員である者のうちから、理事会において選任したもの 2人

(4) この法人の設置する学校の教職員であって、この法人の評議員である者のうちから、評議員会において選任した者 2人

(5) この法人の設置する学校、またはその前身校を卒業した者であって、この法人の評議員である者のうちから、評議員会において選任した者 2人

(6) 学識経験者のうちから、理事会において選任した者 6人

2 前項第6号を除く各号の理事は、その選任の条件となっている職を退いたときは、理事の職を失うものとする。

(役員任期)

第8条 役員(第6条第1項第1号、第2号および第3号に掲げる理事を除く。以下この条において同じ。)の任期は、4年とする。ただし、補欠の役員任期は、前任者の残任期間とする。

2 役員は、再任されることができる。

3 役員は、任期満了の後でも、後任の役員が選任されるまでは、なおその職務を行う。

(役員補充)

第9条 理事または監事のうち、その定数の5分の1をこえるものが欠けたときは、1月以内に補充しなければならない。

(役員解任および退任)

第10条 役員が次の各号の1に該当するに至ったときは、理事総数の4分の3以上出席した理事会において、理事総数の4分の3以上の議決および評議員会の議決により、これを解任することができる。

(1) 法令の規定またはこの寄附行為に重大な違反があったとき。

(2) 心身の故障のため職務の執行に堪えないとき。

(3) 職務上の義務に重大な違反があったとき。



(4) 役員たるにふさわしくない重大な非行があったとき。

2 役員は次の事由によって退任する。

(1) 任期の満了

(2) 辞任

(3) 学校教育法第9条各号に掲げる事由に該当するに至ったとき。

(理事会)

第11号 この法人に、理事をもって組織する理事会を置く。

2 理事会は、学校法人の業務を決し、理事の職務の執行を監督する。

3 理事会は、理事長が招集する。

4 理事会は、定例として毎年3月および5月にこれを開会する。ただし、理事長は、必要に応じて臨時理事会を招集することができる。

5 理事長は、理事総数の3分の2以上の理事から会議に付議すべき事項を示して、理事会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から7日以内に、これを招集しなければならない。

6 理事会を招集するには、各理事に対して、会議開催の場所および日時ならびに会議に付議すべき事項を、書面により通知しなければならない。

7 前項の通知は、会議の7日前までに発しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、この限りではない。

8 理事会招集の通知は、監事にも送達しなければならない。

9 理事会に議長を置き、理事長をもって充てる。

10 理事長が第5項の規定による招集をしない場合には、招集を請求した理事全員が連名で理事会を招集することができる。この場合における理事会の議長は、出席理事の互選によって定める。

11 理事会は、この寄附行為に別段の定めがある場合を除くほか、理事総数の3分の2を超える理事の出席がなければ、会議を開き、議決をすることができない。ただし、第14項の規定による除斥のため、3分の2に達しないときは、この限りでない。

12 前項理事の出席は、代理人または委任状をもってしてはならない。ただし、理事会に付議される事項につき書面をもって、あらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。

13 理事会の議決は、法令およびこの寄附行為に別段の定めがある場合を除くほか、理事総数の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

14 理事会の議決について、直接の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。

(業務の決定)

第12条 次に掲げる法人の業務は、理事会の決議に基づいて決定する。

(1) 院長、学長、校長の選任

- (2) 予算および決算
- (3) 資産の管理および処理
- (4) 教職員の任免および俸給に関する事項
- (5) 職制に関する事項
- (6) 学則その他規程に関する事項
- (7) 評議員の選任
- (8) その他法人の業務に関する事項  
(理事会の特別議決)

第13条 次に掲げる事項の議決については、理事総数の3分の2以上の同意をもってしなければならない。

- (1) 借入金（当該会計年度内の収入をもって償還する場合を除く。）、基本財産の処分および不動産の売買処分に関する事項
- (2) 予算外に新たに義務を負担し、または放棄する契約  
(業務の決定の委任)

第13条の2 法令およびこの寄附行為の規定により評議員会に付議しなければならない事項その他この法人の業務に関する重要事項以外の決定であつて、あらかじめ理事会において定めたものについては、理事会において指名した理事に委任することができる。

(理事長および院長の職務)

第14条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

2 院長は、この法人の設置する学校の教育教務を総理する。

(理事の代表権の制限)

第15条 理事長以外の理事は、この法人の業務について、この法人を代表しない。

(理事長職務の代理等)

第16条 理事長に事故があるとき、または理事長が欠けたときは、あらかじめ理事会において定めた順位に従い、理事がその職務を代理し、またはその職務を行う。

(議事録)

第17条 議長は、理事会の開催の場所および日時ならびに議決事項およびその他の事項について、議事録を作成しなければならない。

2 議事録には、議長および議長の指名した理事2人が署名捺印し、常にこれを事務所に備えておかななければならない。

### ③その他

理事は寄附行為第6条に基づいて選任されており、特に偏りは見られない。なお、平成22(2010)年5月1日現在で理事現員が定数15~16名に対し14名となっているが、これは平成22(2010)年3月末で学内理事であった小嶋善行氏が退職したことによって欠員となっているものであり、平成22(2010)年6月にも学内選挙を行い、補充をしていく予定である。

**(3) 理事会の下に理事会の業務を一部委任する常任理事会、幹部会等を置いている場合は、その名称と根拠規程、理事会との関係、構成メンバー等を記述して下さい。**

理事会の包括的授権に基づいて、法人の日常の業務を決定するため、常任理事会を置いている。

①常任理事会について

名称	根拠規定	理事会との関係	構成員	開催状況
常任理事会	常任理事会規程	理事会の包括的授権に基づいて法人の日常の業務を決定する	理事長、常勤理事	8月を除き毎月開催

常任理事会規程

(目的)

第1条 この規程は、学校法人静岡英和女学院の常任理事会について必要な事項を定めることを目的とする。

(構成)

第2条 常任理事会は、理事長及び常勤理事をもって構成する。

(決定事項)

第3条 常任理事会は、理事会の包括的授権に基づいて、この法人の日常の業務を決定する。ただし、重要又は異例にわたる事項については、この限りではない。

2 常任理事会で決定した事項は、次の理事会に理事長から報告しなければならない。

(議事及び運営)

第4条 常任理事会は、理事長が招集し、その議長となる。ただし、理事長が欠席又は事故あるときは、理事長があらかじめ定めた理事がこれに代わる。

2 常任理事会は、原則として毎月1回開くものとする。ただし、必要がある場合は、臨時に開くことができる。

(その他)

第5条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、常任理事会で決定する。

**(4) 監事の業務についての寄附行為上の規定、平成21年度における監事の業務執行状況について、できれば監事自身が率直に現状を記述して下さい。**

①監事の業務についての寄附行為上の規程

(監事の業務)

第16条の2 監事は、次の各号に掲げる職務を行う。

(1) この法人の業務を監査すること。

(2) この法人の財産の状況を監査すること。

(3) この法人の業務または財産の状況について、毎会計年度、監査報告書を作成し、当該会計年度終了後2月以内に理事会および評議員会に提出すること。

- (4) 第1号又は第2号の規定による監査の結果、この法人の業務または財産に関し不正の行為または法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実があることを発見したときは、これを文部科学大臣および知事に報告し、または理事会および評議員会に報告すること。
- (5) 前号の報告をするために必要があるときは、理事長に対して評議員会の招集を請求すること。
- (6) この法人の業務または財産の状況について、理事会に出席して意見を述べること。

### ②平成21年度における監事の業務執行状況

年	月	日	業務執行状況	出席者
21	4	27	臨時理事会に出席	三森、滝浪
	5	15	平成20年度決算に係る財務諸表及び会計計算書類について監査を実施 監査報告書を作成	三森、滝浪
	5	25	定例理事会・評議員会に出席 監査報告を行う	三森、滝浪
	7	13	臨時理事会・評議員会に出席	三森、滝浪
	10	16	臨時理事会に出席	三森
	11	11	文部科学省による「学校法人運営調査」に出席 調査委員の質疑応答にて、意見を述べる	三森
	11	16	公認会計士との打ち合わせに出席	三森、滝浪
	11	24	文部科学省主催の「学校法人の監事研修会」に出席	滝浪
	12	14	臨時理事会・評議員会に出席	三森、滝浪
22	2	24	臨時理事会に出席	三森
	3	19	定例理事会・評議員会に出席	三森
	3	30	臨時理事会・評議員会に出席	三森、滝浪

### ③監事の所見

以上のとおり、全ての理事会・評議員会に出席し、適正に法人の業務を監査した。また、公認会計士とも意見交換をしながら、適正に法人の財産の状況を監査した。

**(5) 平成21年度の評議員会の開催状況（主な議案、評議員の出席状況等を含む）を開催日順に記述し、評議員会についての寄附行為上の規定を記述して下さい。**

### ①評議員会の開催状況

年	月	日	主な議案	出席者数	定数
21	5	25	平成20年度決算の認定 平成21年度補正予算 役員の選任	18	30
	7	13	平成21年度補正予算	25	32
	12	14	寄附行為の一部変更	23	33
22	3	19	寄附行為の一部変更 理事の選任	24	33
	3	30	平成21年度補正予算 平成22年度予算	21	33

## ②評議員会についての寄附行為上の規程

### 第4章 評議員会および評議員

(評議員会)

第18条 この法人に、評議員会を置く。

2 評議員会は、33人乃至34人の評議員をもって組織する。

3 評議員会は、理事長が招集する。

4 評議員会は、定例として毎月3月および5月にこれを開会する。ただし、理事長は、必要に応じて臨時評議員会を招集することができる。

5 理事長は、評議員総数の3分の1以上の評議員から会議に付議すべき事項を示して評議員会の招集を請求された場合には、その請求があった日から20日以内に、これを招集しなければならない。

6 評議員会を招集するには、各評議員に対して、会議開催の場所および日時ならびに会議に付議すべき事項を、書面により通知しなければならない。

7 前項の通知は、会議の7日前までに発しなければならない。ただし、緊急を要する場合はこの限りでない。

8 評議員会に議長を置き、議長は評議員の互選で定める。

9 評議員会は、評議員総数の過半数の出席がなければ、その会議を開き、議決をすることができない。

10 前項の場合において、評議員会に付議される事項につき書面をもって、あらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。

11 評議員会の議事は、出席評議員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

12 前項の場合において、議長は評議員として議決に関わるることができない。

(議事録)

第19条 第17条の規定は、評議員会の議事録について準用する。

(諮問事項)

第20条 次の各号に掲げる事項については、理事長において、あらかじめ評議員会の意見を聞かなければならない。

(1) 予算、借入金（当該会計年度内の収入をもって償還する一時の借入金を除く。）および基本財産の処分ならびに運用財産中の不動産および積立金の処分

(2) 事業計画

(3) 予算外の重要な業務の負担または権利の放棄

(4) 寄附行為の変更

(5) 合併に関する事項

(6) 目的たる事業の成功の不能による解散

(7) 寄附金品の募集に関する事項

(8) その他この法人の業務に関する重要事項で、理事会において必要と認めるもの（評議員会の意見具申等）

第21条 評議員会は、この法人の業務もしくは財産の状況または役員の業務執行の状

況について、役員に対して意見を述べ、もしくはその諮問に答え、または役員から報告を徴することができる。

(評議員の選任)

第 22 条 評議員は、次の各号に掲げる者とする。

- |   |           |
|---|-----------|
| (1) 院長およびこの法人が設置する学校の長であるもの   | 2 人乃至 3 人 |
| (2) 法人事務局の事務局長  | 1 人       |
| (3) 在日キリスト教宣教師および日本基督教団の教職で、この法人の評議員である者のうちから、理事会において選任したもの               | 3 人       |
| (4) この法人の設置する学校の教職員であって、理事会において選任した者                                      | 6 人       |
| (5) この法人の設置する学校、またはその前身校を卒業した者で、年齢 25 才以上の者のうちから、理事員会において選任した者            | 4 人       |
| (6) この法人の理事のうちから、理事会において選任した者   | 6 人       |
| (7) この法人の教育に理解があり、協力する者のうちから、理事会において選任した者                                 | 7 人       |
| (8) この法人の設置する学校の学院維持協力会、大学後援会および高等学校・中学校 P T A のそれぞれの役員のうちから、理事会において選任した者 | 4 人       |

2 第 1 項第 1 号から第 4 号まで、第 6 号および第 8 号に規定する評議員は、院長、学校の長、法人事務局の事務局長、宣教師、日本基督教団の教職、教職員、理事、学院維持協力会役員、大学後援会役員および高等学校・中学校 P T A 役員の地位を退いたときは、評議員の職を失うものとする。

3 評議員はキリスト教の信徒であり、かつ、第 3 条に規定する目的を達成するに適した者でなければならない。ただし、第 1 項第 2 号、第 4 号に規定する評議員のうち大学から選任されるうちの 1 人ならびに第 6 号、第 7 号および第 8 号に規定する評議員は、キリスト教徒に限らない。

(評議員の任期)

第 23 条 評議員の任期は、4 年とする。ただし、補欠の評議員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 評議員は、再任されることができる。

(評議員の解任および退任)

第 23 条の 2 評議員の次の各号の一に該当するに至ったときは、評議員総数の 3 分の 2 以上の議決により、これを解任することができる。

- (1) 心身の故障のため職務の執行に堪えないとき。
- (2) 評議員たるにふさわしくない重大な非行があったとき。

2 評議員は次の事由によって退任する。

- (1) 任期の満了
- (2) 辞任

**(6) 法人の管理運営について今後改善や変更をしたいと考えている事項があれば記述して下さい。また法人が抱えている問題あるいは課題について差し支えのない範囲で記述して下さい。**

平成 21 (2009) 年 11 月に行われた文部科学省の学校法人運営調査にて、学内理事が少ないのではないかとの意見があったため、平成 21 (2009) 年 12 月 14 日の臨時理事会・評議員会にて学内理事の増員について、平成 22 (2010) 年 3 月 19 日の定例理事会・評議員会にて学内評議員の増員について、それぞれ「寄附行為の一部変更について」を上程し、議決されたので、文部科学省の認可の日から施行する予定である。このことによって、大学・短大部と中学校・高等学校から選任される学内理事兼評議員が各 1 名ずつ 2 名の増員となり、法人の管理運営をする上で理事会・評議員会と現場との連絡・調整がより緊密になることが期待される。

また、監事の監査体制についても、文部科学省主催の「学校法人の監事研修会」に毎年交代で監事に出席していただき、より万全の体制をとる努力をしているところであるが、なお一層の努力が必要である。

- ◆添付資料 1 学則第 1 条
- ◆添付資料 3 『キャンパスガイド 2010』
- ◇参考資料 47 「理事・監事・評議員名簿」
- ◇参考資料 48 「理事会議事録」
- ◇参考資料 49 「評議員会議事録」

#### **【教授会等の運営体制について】**

**(1) 短期大学の教育・研究上のトップである学長は、短期大学の教育活動全般について適切にリーダーシップを発揮しているか、また短期大学に係る教育・研究上の事項はどのような流れで決定し、その流れのなかで学長はどのように関与しているかを、できれば学長自身が率直に現状を記述して下さい。なお学長選考規程等があれば訪問調査の際に拝見することがありますのでご準備下さい。**

本学の学長は、法人の理事、評議員、静岡英和学院大学の学長を兼ねている。学長は、短期大学部について、このような組織全体を把握する立場を踏まえ、リーダーシップを発揮して適切な運営が行われるよう配慮している。

短期大学の運営に当たっては、学長は、短期大学部部長、各学科長と常に協議しながら進めており、教授会の議題等についてあらかじめ協議する等リーダーシップを発揮している。

また特に、学長諮問機関として、大学経営会議（静岡英和学院大学経営会議規程）を設け、本学（大学・短大）の、経営に関して必要と認める事項、各学科の経営及び改善に関する必要な事項について定例的に会議を開催し、検討している。

教育・研究上の事項については、主として本学に設置する各委員会、学科会で審議され、重要事項については、学長の判断を得た後、教授会で審議し、決定されている。

**(2) 教授会についての学則上の規定（教授会で議すべき事項等を含む）、平成 21 年度における開催状況（主な議案、構成メンバー、出席状況等を含む）を年月日の順に記述して下さい。なお、学則を添付して下さい。**

**①教授会に関する学則規程**

静岡英和学院大学短期大学部学則

第 4 章 教授会

第 7 条 本学に教授会を置く

- 2 教授会は学長、教授、准教授、専任の講師及び助教をもって組織する。
- 3 教授会に関し、必要な事項は別に定める。

静岡英和学院大学短期大学部教授会規則

第 4 条

- (1) 学則その他の学内諸規程の制定改廃に関する事項
- (2) 学長、部長、学科長、委員長及び各種委員の選出に関する事項
- (3) 教員の人事に関する事項
- (4) 教育及び研究に関する事項
- (5) 教育課程の編成に関する事項
- (6) 学科間の調整に関する事項
- (7) 学生の入学、退学、休学、留学、復学、転学、転学科、除籍及び卒業に関する事項
- (8) 学生の試験に関する事項
- (9) 学生の指導および賞罰に関する事項
- (10) その他、教授会は必要と認めた事項



②教授会開催状況

平成21(2009)年度

年	月	日	主な議案	出席者数	定数
21	4	22	学生の退学について 学生の休学について	14	14
	4	28	今後の短期大学の運営体制について 避難訓練の実施について 私費外国人留学生の授業料等減免について	13	14
	5	20	特になし	13	14
	6	17	短期大学部奨学金受給候補者について 短期大学部危機管理規定の制定について 研究倫理規定の制定について	13	14
	7	15	学生の復学について 学長選考規定の1部改正について	14	14
	7	29	学長候補者選考委員会委員の選出について 学長選挙管理委員会委員の選出について	14	14
	9	16	学生の除籍について 学生の退学について	12	14
	10	14	合否判定について	11	14
	10	21	学生の退学について 学則の一部改正について	13	14
	10	28	合否判定について(推薦入試) 2009年度非常勤講師の任用について 2010年度非常勤講師の任用について	14	14
	11	18	短期大学部への男子学生入学について	12	14
	12	10	合否判定について	12	14
	12	16	専任教員の任用人事について (現代コミュニケーション学科、食物学科) 静岡英和学院大学短期大学部学則の一部改正について	12	13
	22	1	20	短期大学部への男子学生入学について 非常勤講師の任用について 短期大学部部長候補者の選出について	13
2		10	合否判定について 2010年度私費外国人留学生授業料等の減免について	13	13
2		17	専任教員の任用人事について (現代コミュニケーション学科、食物学科) 教員の昇任人事について 短期大学の男女共学化について 短期大学の教育目標と3つのポリシーについて 合否判定について	12	13
2		26	合否判定について 非常勤講師の任用について 学則の1部改正について	10	13
3		10	卒業判定について 非常勤講師の任用について 学生の除籍について	12	13
3		16	合否判定について	13	13

(3) 学長もしくは教授会の下に教育・研究上の各種の委員会等を設置している場合は、その名称と根拠規程、主な業務、構成メンバー、平成21年度の開催状況等を記述して下さい。

本学では4年制大学と同一キャンパスにあるため、全体の意思統一を図るべく評議会を置いている。

年	月	日	主な議案
21	4	28	臨時大学評議会 学長の辞任に伴う法人臨時理事会の開催結果について
	5	27	第1回大学評議会 危機管理規定の制定について 研究倫理規定の制定について
	7	1	臨時大学評議会 学長選考規程の一部改正について
	7	15	第2回大学評議会 危機管理規定の制定について 研究倫理規定の制定について 学長選考規程の一部改正について
	9	30	第3回大学評議会 学長の選任について 学生の処分について 学則の1部改正について
	11	25	第4回大学評議会 短期大学の学則の一部改正について
22	1	25	第5回大学評議会 学則の一部改正について
	3	24	第6回大学評議会 学則の一部改正について 経営会議規則の制定について

平成21(2009)年度 学科別委員等一覧

		短期大学部		根拠規定	主な業務	H21年度開催状況
		現代コミュニケーション学科	食物学科			
宗教委員会	主任	伊勢田(人間社会学科)・学長		学校法人 静岡英和女学院 規程集 P249	礼拝等宗教行事に関する事	10回
	委員	小嶋 菊池 柴田 アイザット	木下	静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部宗教委員会規程		
学生委員会	学生部長	高橋清		学校法人 静岡英和女学院 規程集 P432	学生の在籍・賞罰に関する事	12回
	委員	磯部	高橋令	静岡英和学院大学短期大学部学生委員会規程		
教務委員会	教務部長	大洋		学校法人 静岡英和女学院 規程集 P434	授業・教室に関する事	17回
	委員	柴田	金田	静岡英和学院大学短期大学部教務委員会規程		
ボランティア委員会	委員長	白山(地域福祉学科)			ボランティアに関する事	3回
	委員	大洋	木下			
カリキュラム検討委員会	委員長(教務部長)	大洋			カリキュラム作成に関する事	1回
	委員	柴田	金田			
図書委員会	図書館長	沢田		学校法人 静岡英和女学院 規程集 P252	図書の選定・運用に関する事	2回
	委員	菊池	木下	静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部図書委員会規程		
入試・広報委員会	本部長	副学長		学校法人 静岡英和女学院 規程集 P435	学生募集に関する事	11回
	委員	岩澤		静岡英和学院大学短期大学部入試・広報委員会規程		
	委員	小嶋 磯部	五藤 木下			
	委員長	菊池		学校法人 静岡英和女学院 規程集 P436		
就職委員会	委員	高橋清	五藤	静岡英和学院大学短期大学部就職委員会規程	学生のキャリア・就職に関する事 就職支援講座の内容と日程 業界勉強会開催 就職に関する保護者会開催	11回
	委員長	高橋元(人間社会学科)				
財務委員会	委員	菊池	高橋令		予算の編成・執行に関する事	1回
	委員長	若林(地域福祉学科)				
国際交流委員会	委員	小嶋 アイザット		学校法人 静岡英和女学院 規程集 P250	国際交流・留学に関する事	4回
	委員長	鈴木恵		静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部国際交流委員会規程		
公開講座委員会	委員	大洋			公開講座に関する事	8回
	委員長	中原(地域福祉学科)				
情報システム委員会	委員	柴田	堀江	学校法人 静岡英和女学院 規程集 P251	情報教育・PCルームに関する事	12回
	委員長	若林(地域福祉学科)		静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部情報システム委員会規程		
英語教育センター	センター長	若林(地域福祉学科)			英語教育に関する事	0回
	担当教員	小嶋				
紀要委員会	委員長	磯部(現代コミュニケーション学科)		学校法人 静岡英和女学院 規程集 P446	紀要の作成	3回
	委員	五藤		静岡英和学院大学短期大学部研究紀要規程		
学報委員会	委員長	柴田			学報の作成	2回
	委員	大洋	堀江			

(4) 短期大学の運営全般について抱えている問題あるいは課題について差し支えない範囲で記述して下さい。

短期大学部は、現代コミュニケーション学科 8 名、食物学科 6 名の専任教員で委員を分担しているため、両学科とも過重な負担となっている。教員の研究時間を確保しつつ、業務も十全に行っていくことが課題である。

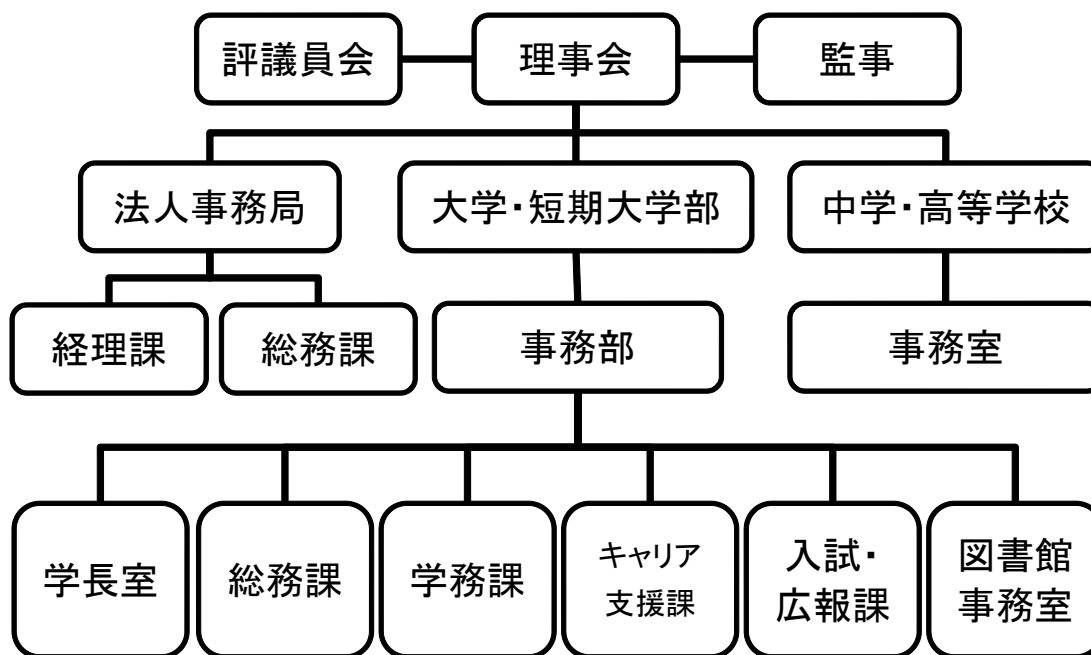
◆添付資料 1 学則

- ◇参考資料 50 「静岡英和学院大学短期大学部の学長について」
- ◇参考資料 51 「静岡英和学院大学学長選考規程」
- ◇参考資料 52 「静岡英和学院大学経営会議規程」
- ◇参考資料 53 「静岡英和学院大学短期大学部教授会規則」
- ◇参考資料 54 「教授会議事録」
- ◇参考資料 55 「静岡英和学院大学評議会規則」
- ◇参考資料 56 「静岡英和学院大学評議会議事録」

【事務組織について】

(1) 現在の法人全体の事務組織図を記載し、その中に短期大学の事務部門を記入して下さい。また組織図には短期大学の事務部門の役職名(課長、室長相当者以上。兼職の有無を含む)、各部門の人員(専任・兼任の別を含む)、各部門の主な業務を含めて記入して下さい。また事務組織が使用している部屋等は、機器・備品を含めて訪問調査の際にご案内いただきます。

法人全体の事務組織図－短期大学の事務部門



課室名	役職名	職員数	左の内訳		主な業務
			専任	非常勤等	
事務部長	事務部長	1	1	—	事務部の総括
学長室	学長室長	2	1	1	学長秘書、将来構想、自己点検評価等
総務課	総務課長	6	5	1	学内庶務、予算経理、人事給与等
学務課	学務課長	8	7	2	教育課程、成績処理、学籍、学生指導
キャリア支援課	キャリア支援課	4	3	1	学生就職指導等
入試・広報課	入試・広報課長	4	3	3	学生募集、入学試験、広報等
図書館事務室		2	1	1	図書資料収集閲覧等

\*平成22(2010)年度より教務課・学生課は統合し、学務課に名称変更

\*学務課に保健室非常勤職員を含む

**(2) 事務職員の任用(役職者の任免を含む)について現状を訪問調査時にご説明下さい。**

**(3) 事務組織について整備している諸規程名を列記して下さい。なお諸規程等は訪問調査の際に拝見することがありますのでご準備下さい。**

「静岡英和女学院事務組織および事務分掌規程」参照

**(4) 決裁処理の概要と流れ、また公印や重要書類(学籍簿等)の管理、防災の状況、情報システムの安全対策等の現状を記述して下さい。**

本学の文書の起案、保管等については、「静岡英和女学院文書取扱規程」で、文書取扱責任者、文書の收受・発送、文書の起案・決裁、文書の整理及び保管等について必要な事項が規定されており、適正に処理されている。

公印の管守については、「静岡英和女学院公印取扱規程」の規程により、事務部長が保管管理している。

施設の防災管理については、「静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部防災管理規程」および「静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部自衛消防隊要綱」の規定により、防火管理委員会、防火管理者等の設置、自衛消防隊の組織編成、防火訓練・避難訓練を実施している。

情報システムの安全対策等については、「静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部情報システム委員会規程」を定め、情報処理教育の推進とシステム管理を行っている。

**(5) 事務職員は教員や学生から支持され信頼されているか、できれば事務組織の責任者(事務局長等)が現状を率直に記述して下さい。**

本学は小規模校であり、少数の教員及び事務職員により学校運営が行われていることから、相互の信頼に基づいた連携・協力関係は不可欠である。このため、大学経営会議や事務連絡会議などを定期的で開催し、事務部管理職員と学長をはじめとする幹部教員との意思疎通を図っている。

教員の教育研究活動や学生の修学・諸活動に対しては、事務部各部署がそれぞれの所掌分担に則り日常的に支援をしており、概ね円滑に推進されている。

また、入学者確保や就職支援などの全学的な業務についても、委員会組織を設け教員と事務職員が協力しながら、一体となって取り組んでいる。

**(6) 事務組織のスタッフ・ディベロップメント(SD)活動(業務の見直しや事務処理の改善等、授業改善を支援する職員等の研修等、事務職員の能力開発、内部研修、外部への研修等)の現状を記述して下さい。**

本学の事務職員は、小規模校であることから少人数で構成されており、学内において組織的な取り組みができていく面もあるが、日常業務を行う中で、経験者が初任者に業務指導等を行い大学事務職員として求められている専門性の高い業務を遂行できるよう取り組んでいる。また、外部で行う研修会や講習会等への参加を奨め資質向上を図っている。

**(7) 短期大学の事務組織が抱えている問題あるいは課題について差し支えがなければ記述して下さい。**

特になし。

- ◇参考資料 57 「静岡英和女学院事務組織及び事務分掌規程」
- ◇参考資料 58 「静岡英和女学院文書取扱規程」
- ◇参考資料 59 「静岡英和女学院公印取扱規程」
- ◇参考資料 60 「静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部防災管理規程」
- ◇参考資料 61 「静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部自衛消防隊要綱」
- ◇参考資料 62 「静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部情報システム委員会規程」

**【人事管理について】**

**(1) 教職員の就業について、現在、短期大学が抱えている問題あるいは課題について差し支えない範囲で記述して下さい。なお教職員の就業についての規程(就業規則、給与規程等)を訪問調査の際にご準備下さい。**

教職員の就業については、「静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部就業規則」で、人事、勤務時間、休暇、服務、給与、福利等を定め管理している。

日常の勤務等服務は、就業規則に則って行っており、問題等は生じてない。

**(2) 法人（理事長及び理事会等）と短期大学教職員の関係について、できれば理事長及び学長がそれぞれ記述して下さい。**

**<理事長の見解>**

これまでは理事会は年3回ほど開催されただけで、最高決議機関として、常任理事会等で決議したものを承認する程度であった。常任理事会は月1回定期的に開催されている。

常任理事会は理事長、常任理事（中高校長、副校長、大学学長、短期大学部長）および事務局長の6人で構成されている。今年度から8名に増員予定である。（寄附行為変更認可申請中）

短期大学の企画その他は短期大学部で立案され、大学で検討された後常任理事会に上程され審議されてきた。これは昨年度までのやり方であるが、今年度から理事長、学長が交替したため、これを改善し、理事長、理事が短期大学部教職員と少なくとも年3回程度ヒヤリングを行い、より積極的に短大経営に関わる必要があると考えている。

**<学長の見解>**

短期大学の学長（大学と兼務）と法人の事務局長はともに法人の理事であり、定期的に（時には臨時に）開催される常任理事会ならびに法人理事会のいずれにも常時出席し、法人の決定事項や経営管理に関して検討・協議される諸事項については、短期大学の教職員に周知されている。

短期大学の職員に対しては、法人の事務局長から短期大学の事務部長を通じて連絡され、事務連絡会議等を通じて、事務諸機関に周知される。また、教学上の問題は学長から大学評議会でも報告され、短期大学の教授会、諸委員会を通じて全教員に情報が徹底されている。また、短期大学の教学上の問題をはじめ管理・運営上の課題及び事務関係の諸事項、諸課題は、理事長、理事会へフィードバックされ、短期大学と法人相互が常時、情報を共有し、関係を密にしている。

**(3) 教員と事務職員との関係について、できれば学科長等及び事務局長がそれぞれ記述して下さい。**

**[現代コミュニケーション学科]**

教員と事務職員との関係については良好であると考えている。

学務課・キャリア支援課で、学生全員に配付するものがある場合などは、ゼミ担任と連絡を取り合い配付等が円滑に行われている。特にキャリア支援課とは、就職情報をゼミ担任へとEメールで配信し、そこからゼミの学生全員に配信して大きな効果をあげている。一方、教授会での決定事項が、職員に周知徹底されていなかったことが稀にあり、その点においては、互いに連絡を密にし、情報の確認を心がけている。

**[食物学科]**

食物学科において、教員と事務職員は、お互いに良い協力関係を形成し、連携しながら

運用できている。特に、学生と接する事の多い学務課並びにキャリア支援課とは、学生に関する情報を共有し、学生指導・教育の面において十分な効果がえられている。

#### **【事務部長】**

本学では定例的に(毎月1回)事務連絡会を開催している。構成員は、学長、副学長、人間社会学部長、短期大学部長、学内理事と事務部から事務部長、各課室長、係長及びその他の事務部門関係者等が出席し、懸案事項や当面する事務課題等について協議を行っている。大学管理の問題や学生への対応等については、日常的に話し合いができる環境が整っており特に問題はない。

#### **(4) 教職員の健康管理、就業環境の改善、就業時間の順守等の現状を率直に記述して下さい。**

教職員の健康管理については、労働安全衛生法に基づき年1回健康診断を実施している。検診結果では、特に、血中脂質検査の有所見者が43.2%で比率が高いため日常の健康管理の徹底を図りたい。本年度に、保健室前に自動血圧測定器を設置し、教職員、学生の健康管理に配慮した。

就業環境の改善、就業時間の順守等については、就業規則の順守に努めており、問題等は生じていない。

◇参考資料 63 「静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部職員就業規則」

◇参考資料 64 「静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部職員給与規程」

#### **【特記事項について】**

##### **(1) この《Ⅷ 管理運営》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、管理運営について努力していることがあれば記述して下さい。**

本学の運営は、大学と短期大学部が一体となって行われており、学内の相互連携を図ることが重要である。大学経営会議(構成員:学長、副学長、大学学部長、大学学科長、短期大学部長、短期大学学科長、宗教主任、事務部長等)を設置して経営・運営に関し必要な事項や改善に関する事などを協議している。

##### **(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現(達成)できないときはその事由や事情を記述して下さい。**

特になし。

## 《区財務》の記述及び資料等について

### 【財務運営について】

**(1) 学校法人もしくは短期大学において「中・長期の財務計画」を策定している場合は、計画の名称、策定した経緯等を簡潔に記述して下さい。なお中・長期の財務計画は訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備下さい。**

本学校法人は、中学校・高等学校、大学及び短期大学部を設置している。近年の学生志願状況は、定員を満たさない部門が多く、財務上厳しい状況にあったが、平成 22 (2010) 年度入試では大学・短期大学部で定員を満たすことができた。現在、文部科学省より、平成 22 (2010) 年度から平成 26 (2014) 年度まで(5 年)の経営改善計画の提出を求められており、中・長期の財務計画についても 7 月の提出期限に向けて作成中である。今後においては、この計画に沿って経営改善を図っていく。

**(2) 学校法人及び短期大学の毎年度の事業計画及び予算決定に至る過程、手続を簡潔に記述して下さい。**

本学校法人では、毎年度 10 月ないし 11 月に来年度の事業計画・予算編成方針が各所属に示される。本学では、各部署において編成方針に沿って、必要な予算の算出を行っている。各部署から提出された要求内容を、事務局において精査し、法人本部に提出している。提出された要求書を法人本部事務局で調整し、事業計画・予算原案として理事長に上申し、事業計画、予算原案を決定する。原案は、常任理事会、評議員会及び理事会の審議を経て決定される。

**(3) 決定した予算の短期大学各部門への伝達方法、予算執行に係る経理、出納の業務の流れを必要な承認手続きを含めて簡潔に記述して下さい。なお経理規程等の財務諸規程について、整備している規程名を列記して下さい。財務諸規程は訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備下さい。**

決定された予算は、理事長から各所属に予算執行通知とともに配当される。学内では事務局から各部署に伝達され、必要に応じて教職員全体会で説明をしている。

予算執行は、経理規程に則り行われている。支出帳票の確認、決裁とこれに基づく支出は、大学事務局総務課を経由して法人本部で行っており、平成 21(2009)年度には経理システムを導入するなど適性を期している。

**(4) 過去 3 ヶ年（平成 19 年度～ 21 年度）の公認会計士監査状況の概要を開催日順に記述して下さい。公認会計士の監査と監事がどのように連携しているか、また公認会計士から指摘を受けた事項があれば、その対応について記述して下さい。**

公認会計士による監査実施状況

(平成19年度～21年度)

年	月	日	概 要	備 考
19	5	7・9・10	7・10日本部、9日大学で6名にて監査実施	
	11	6・7・8	6日本部で4名、7日本部で6名、8日大学で6名にて監査実施	
20	5	8・9	8日本部、9日大学で6名にて監査実施	
	11	6・7	6日本部、7日大学で6名にて監査実施	
21	5	7・8・13	7日本部、8日大学で7名、13日本部で4名にて監査実施	



**(5) 財務情報の公開は今までどのように行ってきたか、また私立学校法第47条第2項に基づき、財務情報の公開をどのように実施しているか。それぞれの概要を記述して下さい。**

財務の公開については、本学の掲示板に決算書を備え付けており、いつでも閲覧可能となっているほか、学院のホームページ上に決算書の内容を載せている。また、学院広報誌「MAPLE 通信」の「学校法人静岡英和女学院の財政」という項目の中で、資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表を掲載している。この広報誌は、学生、保護者、在学生、卒業生を対象に配布している。

今後は、財務状況の概要も記載する等の、内容がわかりやすくなるような伝達の方法等の改善を進めていく。

また、平成22(2010)年度「学校法人静岡英和女学院財務書類等閲覧規程」を制定し、閲覧時の学院関係者への財務情報の公開に資することとした。

**(6) 寄附行為に基づき、どのような基本方針で資金等の保有と運用を考えているか簡潔に記述して下さい。なお資金等の保有と運用に関する規程等が整備されていれば、訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備下さい。**

学校法人静岡英和女学院寄附行為に基づき、資金等の保有及び運営については、確実な有価証券の購入、または確実な信託銀行への信託、または確実な銀行に定期預金とし、もしくは定額郵便貯金として理事長が保管することとしており、安全な資産管理及び資産運用を行っている。また、資産運用の一層の適正を期するため資産運用取扱規程(仮称)の整備を進めていくこととしている。

**(7) 寄附金・学校債の募集を行っていただければその概要を記述して下さい。なお寄附金・学校債の募集についての印刷物等を訪問調査の際に参考資料としてご準備下さい。**

平成21(2009)年度まで、国際交流事業に対する援助を目的として、国際交流基金の募金活動を行っていた。学校債は募集してこなかった。

- ◆添付資料 9 「学校法人静岡英和女学院寄附行為」  
(財務諸規程)
- ◇参考資料 26 「静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部附属図書館規程」
- ◇参考資料 59 「静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部防火管理規程」
- ◇参考資料 60 「静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部自衛消防隊要綱」
- ◇参考資料 65 「中・長期の経営・財務計画書」
- ◇参考資料 66 「静岡英和女学院経理規程」
- ◇参考資料 67 「静岡英和女学院経理規程施行細則」
- ◇参考資料 68 「静岡英和女学院資産管理規程」

- ◇参考資料 69 「静岡英和女学院固定資産及び物品調達規程」
- ◇参考資料 70 「学校施設の部外者使用について内規」
- ◇参考資料 71 「静岡英和学院大学短期大学部危機管理規定」
- ◇参考資料 72 「静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部情報ネットワークシステム取扱要綱」
- ◇参考資料 73 「静岡英和女学院地球温暖化防止行動計画」
- ◇参考資料 74 『国際交流基金趣意書』

**【財務体質の健全性と教育研究経費について】**

(1) 過去3ヶ年(平成19年度～21年度)の資金収支計算書・消費収支計算書の概要を、別紙様式1にしたがって作成し、添付して下さい。

(2) 学校法人の貸借対照表の概要(平成22年3月31日現在)を、別紙様式2にしたがって作成し、添付してください。

特になし。

(3) 財産目録及び計算書類(資金収支計算書、資金収支内訳表・人件費支出内訳表・消費収支計算書・消費収支内訳表・貸借対照表・固定資産明細表・借入金明細表・基本金明細表)について、過去3ヶ年(平成19年度～21年度)分を訪問調査の際に参考資料としてご準備下さい。

(4) 過去3ヶ年(平成19年度～21年度)の短期大学における教育研究経費比率(消費収支計算書の教育研究経費を帰属収入で除した比率)を、小数点以下第2位を四捨五入し第1位まで求め記述して下さい。

教育研究経費比率	(平成19年度～21年度)		
区 分	19年度	20年度	21年度
教育研究経費支出 (a)	100,874千円	99,889千円	91,905千円
帰属収入 (b)	324,048千円	366,882千円	355,409千円
教育研究経費比率 (a / b)	31.1%	27.2%	25.9%

- ◆別紙様式 1 資金収支計算書・消費収支計画書の概要(過去3ヶ年)
- ◆別紙様式 2 貸借対照表の概要

## 【施設設備の管理について】

(1) 固定資産管理規程、図書管理規程、消耗品及び貯蔵品管理規程等、施設設備等の管理に関する諸規程を、財務諸規程を含めて一覧表として示して下さい。なお整備した諸規程を訪問調査の際に参考資料としてご準備下さい。

項 目	諸 規 程
1 事務関係	静岡英和女学院経理規程 静岡英和女学院資産管理規程 静岡英和女学院固定資産及び物品調達規程
2 図書館関係	静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部附属図書館規程
3 管理関係	静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部防火管理規程 静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部自衛消防隊要綱 学校施設の部外者使用について内規
4 その他	

(2) 火災等の災害対策等、以下の危機管理対策について現状を簡潔に記述して下さい。

本学では、大学において発生し又は発生することが想定される事態に、迅速かつ的確に対処するため、本学に危機管理委員会及び危機管理本部を設置し、本学における危機管理体制を定めることにより、本学の学生、教職員並びに近隣住民等の安全確保を図るとともに、本学の社会的責任を果たすことを目的として、「静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部危機管理規程」を定めている。

### ①火災等の災害対策及び③学生、教職員の避難訓練等の対策

消防法に基づき防火管理者を選任し、定期的に防火施設点検を行っている。学内に教職員で組織する自衛消防隊を設置し、学生の火災避難訓練と併せて訓練を実施している。

また、本県においては、東海地震説が発表されて以来、県下全域で地震防災対策を講じている。地震に関する情報が発令されたとき、地震が発生したときにとる行動をキャンパスガイドに掲載し学生に周知している。また、地震発生を想定した避難訓練を行っている。

### ②防犯対策

正門には、委託警備員が常駐し学内侵入者のチェックを行うとともに、学内巡視を行っている。また、新館地下2階クラブ室及びエレベータ内には、防犯カメラを設置し、事故防止に努めている。

### ④コンピュータのセキュリティ対策

情報ネットワークシステムの管理及び運営に関しては、「静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部情報ネットワークシステム取扱要綱」を定め、安全性、信頼性を確保し、本学の教育、研究、事務処理の充実を図っている。

## ⑤省エネ及び地球環境保全対策

本学院では平成19（2007）年7月に「静岡英和女学院地球温暖化防止行動計画」を定め、排出源別に取り組み内容等を示し、積極的な推進を図っている。

### 【特記事項について】

**（1）この《Ⅸ 財務》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、財務管理について努力していることがあれば記述して下さい。**

本学院の財務状況は、入学志願者の減少により厳しい状況にあるので、経営改善計画に沿って財務健全化に向けて、学院全体でさらなる努力をしていく。

平成 22（2010）年度学生募集が良好であり、回復の兆しがみられる。

**（2） 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。**

特になし。

## 《X改革・改善》の記述及び資料等について

### 【自己点検・評価について】

**(1) 短期大学では自己点検・評価を、短期大学の運営のなかでどのように位置づけているか、また自己点検・評価を実施するための組織、規程等の整備状況を記述して下さい。また今後、自己点検・評価をどのように実施しようと考えているかについても記述して下さい。**

本学ではその教育水準の向上を図り、社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うこと、またそのために自己点検・評価実施委員会を設置することを本学学則第2条に明記している。初回の自己点検・評価は、本短期大学組織改組平成14(2002)年以前に、当時の大曾根学長を委員長として4学科各学科長を含む9名の委員の下で行われ、その結果が報告書(「自己点検・評価報告書」平成12(2000)年11月21日発行)として作成されている。その後、平成14(2002)年の組織改組年に本学4年制大学との整合性を図るために構成委員の変更を行い、学長を委員長として短大部部長、各学科長、宗教主任、図書館長、学生部長、教務部長、事務部長の9名とした。同年、短期大学部自己点検・評価実施委員会は平成15(2003)年度に北陸学院女子短期大学との間で相互評価を実施している。組織改組年度から平成16(2004)年度までの自己点検・評価の結果は、平成18(2006)年2月に「自己点検・評価報告書2005」として発行した。また同年、FD活動の一環として非常勤講師を含めた全教員による「学生による授業改善のためのアンケート」を実施し、その結果報告書を平成17(2005)年3月に発行して銘々の授業改善に役立てている。以後このアンケート調査は毎年行われ、その都度報告書が発行されている。現在は平成22(2010)年度の第三者評価に向けて、全学をあげて精力的に点検・評価活動を行っている。

**(2) 過去3ヶ年(平成19年度～21年度)の自己点検・評価報告書の発行状況を記述して下さい。またその報告書の配付先の概要を記述して下さい。なお過去3ヶ年(平成19年度～21年度)にまとめられた自己点検・評価報告書を訪問調査の際にご準備下さい。**

平成12(2000)年10月発行の「自己点検・評価報告書」と平成18(2006)年2月発行の「自己点検・評価報告書2005」のみである。後者については、平成14(2002)年の組織改組以来形成途上にある本短期大学部が、本来あるべき短期大学としての方向に向かっているのか否かを検証するため、また学内の教職員が本学の現状を正確に認識し、問題点を明確に把握することが第一の目的である自己点検・評価であったため、短期大学基準協会があげている全ての項目に亘った自己点検・評価活動ではなかった。したがって「報告書」の配布は学内のみに留め、各部署の改革・改善に資するものとした。平成22(2010)年度の第三者評価を契機に本短期大学部の実状を正確に公開していく。

◇参考資料6 『相互点検・評価報告書 平成15(2003)年度版』

◇参考資料11 「学生による授業改善のためのアンケート」

### 【自己点検・評価の教職員の関与と活用について】

**(1) 平成 21 年度までに行った自己点検・評価に関わった教職員の範囲を記述して下さい。また今後、どのような教職員の関わり方が望ましいと考えているかを記述して下さい。**

自己点検・評価委員会が主導母体となり、各部署の責任者が中心となって点検・評価を行った。問題点や改善点などは各部署の教職員に相談することもあったが、総じて責任者の任が重かった。特に学長のリーダーシップの効果は大であった。しかし、今後は全教職員に問題意識をもたせる意味からも、更に良い方法を検討する必要がある。

**(2) 平成 21 年度までに行った自己点検・評価結果の活用についてその実績を記述して下さい。また今後、自己点検・評価の結果をどのように活用しようと考えているかについても記述して下さい。**

前年度までに行った自己点検・評価結果は専ら第三者評価のための準備にとらえ、今後は全学的にその総括を行い、改善策を具体化し、実施していく。

### 【相互評価や外部評価について】

**(1) 平成 21 年度までに行った相互評価及び外部評価の概要を示し、評価結果の活用についてその実績を記述して下さい。**

前述のごとく平成 15 (2003) 年度に北陸学院女子短期大学と相互評価を行い、平成 16 (2004) 年 8 月に「相互点検・評価報告書」を発行した。北陸学院女子短期大学は食物栄養学科、英語コミュニケーション学科、人間福祉学科、保育学科、教養学科の 5 学科を有しており、本学と共通する学科を有していること、また、本学とほぼ同規模で同じキリスト教プロテスタント系の短期大学であること等により、相互評価をお願いした。

「教育の理念・教育目標」、「教育課程」、「教育指導」、「学生生活」並びに「その他」の 5 項目に亘る質問を提示し、相互に短大を訪問し合い、5 項目の質問に関して協議し、その結果を報告書としてまとめた。評価結果を具体的に活用してはいないが、相手校を評価することは、即、自校を評価することという意識が強まり、第三者評価に向けた自己点検・評価に組み込んでいきたい。

**(2) 相互評価や外部評価を実施するための組織、規程等の整備状況を記述して下さい。また今後、相互評価や外部評価をどのように実施しようと考えているかについても記述して下さい。**

平成 15 (2003) 年 10 月 1 日に北陸学院女子短期大学と相互評価協定承諾書を取り交わし、それ以後も相互評価を継続することを期待していたが、北陸学院女子短期大学が全学四年制大学に組織改組したため行うことができなくなった。そのため相互評価や外部評価のための組織、規定等については、現在のところまだ整備されていない。今後は自己点検・評価実施委員会の委員が中心となって整備していく。

### 【第三者評価（認証評価）について】

#### **（１） 第三者評価を実施するための学内組織の概要を記述して下さい。**

第三者評価実施に当たっての中心的役割を果たすのは本学４年制大学と短大部合同の自己点検・評価実施委員会である。構成メンバーは副学長、学部長、短大部部長、各学科長、両教務部長、両学生部長、事務部長である。具体的な手順としては、まず各項目の執筆担当者を決定し、関係部署と連携しながら問題点をあぶり出し、その結果を執筆することとした。すべての原稿が出揃った時点でALO、副学長、本部事務局長、学科長、事務部長、学務課長等で原稿の読み合わせ、表現や表記の統一をはかり、最終的に自己点検・評価実施委員会で検討する、といった方法で作業を進めている。

#### **（２） 第三者評価に当たって短期大学の決意を述べて下さい。理事長、学長、各部門の長及びALO（第三者評価連絡調整責任者）がそれぞれ記述されても結構です。**

第三者評価の機会が与えられ、学内各部署における自己点検・評価作業を通して短期大学部の様々な問題点と改善すべき点を明確にすることができた。今後は必要な改善策を決定して、出来るだけ速やかにその実施を進めていく。

### 【特記事項について】

#### **（１） この《X改革・改善》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば評価に関する教職員への研修の実施等、当該短期大学が改革・改善について努力していることがあれば記述して下さい。**

夏期と冬期の年２回、外部講師を招いてFD、SD関連の学内教職員研修会を数年に亘って行っている。

自己点検・評価活動の一環として、平成20（2008）年10月にステーク・ホルダー（近隣教会牧師、後援会会長、同窓会会長、マスコミ関係者、福祉事業関係者）より意見を徴するため有識者懇談会を行った。

平成17（2005）年度以降、毎年度ごとに「事業報告」と「教員報告」を作成して問題点を洗い出し、学内各部署の改革・改善に努めている。

#### **（２） 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。**

### 【将来計画の策定（自由記述欄）】

平成 14（2002）年に本学女子短期大学を改組した時、4 年制大学は男女共学にし、短期大学部はそのまま女子のみの短期大学部とした。現代コミュニケーション学科では、平成 19（2007）年度から高校生のニーズを予想してカリキュラムの中に約 20 単位ほどのキャリア科目を組み入れたところ多くの入学者を得ることができた。食物学科も毎年入学者の減少に苦しみ、平成 21（2009）年度には定員の 4 割ほどしか入学者を得ることができなかったが、栄養士資格の他に 2 つの新たな資格取得の為の履修モデルコースを増設したところ入学者が定員を満たすこととなった。受験者がキャリア科目に関心が高いことから、本短期大学部ではリベラル・アーツ一辺倒の教育から少しずつカリキュラムを改変してきている。更にキャリア科目に関心が高いのは必ずしも女子だけではないと考え、本短期大学部の全学生にアンケート調査をしたところ、7 割程度の学生が男女共学に賛成であった。そこで、それほど多くの男子の入学は期待できないにしても、施設・設備にも十分配慮しながら、平成 23（2011）年度から共学に切り替える決定をした。これによって本学は 4 年制大学も短期大学部も共に男女共学となる。

短期大学の将来は、女子の 4 年制大学の志向の高まりもあって、必ずしも明るいものとは言えないが、景気低迷の社会に於いては短期間で資格を取得でき、しかも短期大学士の称号を得られる短期大学は、十分存在価値があると考えられる。

また、私立短期大学の場合、根底に建学の精神を踏まえるのは当然のことである。その上に立って種々の教育が行われなければならない。

本学の場合は言うまでもなくキリスト教信仰に基づき「愛の実践を伴う信仰」を教育・研究の土台としている。現代の社会が短期大学に求める実務的な教育・研究に対しては、十分にそれを意識して行かねばならないが、本学でなければ得られないものをそこに付与していく必要がある。週に一度行われる礼拝を初め、「キリスト教学入門」、「キリスト教徒と現代」等を通じて、おのずと 123 年の歴史を背景とした校風を身に付けられるよう教育している。

それぞれの専門分野での教育がきちんと行われることは言うまでもないが、社会に出てから人間として愛され、信頼されるような人材を生み出すことが最も大きな目標とされなければならないと考える。キリスト教大学の特長を生かしつつ、今後も社会の要望に応じていきたい。

尚、大学の短期大学部という位置付けを活用して 4 年制大学への編入も活発に行っていきたい。そのことは、学生の勉学意欲を高める効果を齎すと考えるからである。